

第6期大樹町総合計画策定に向けた

**まちづくり町民アンケート調査結果報告書**

令和5年1月

大樹町



## 目次

調査の概要.....	1
1 調査の目的 .....	1
2 調査の方法 .....	1
3 回収結果.....	1
4 本調査報告書の基本的な事項.....	1
アンケート結果.....	4
1 あなた自身について .....	4
2 大樹町の印象などについて .....	8
3 日常的な行動について.....	23
4 新型コロナウイルス感染症について .....	26
5 町のデジタル化の推進について.....	28
6 町政について.....	46
7 SDGs について .....	58
8 これからのまちづくりについて.....	59
自由意見.....	61
【生活・基盤分野】 .....	61
【自然・環境分野】 .....	63
【安全・安心分野】 .....	64
【健康・福祉・子育て分野】 .....	64
【教育・文化分野】 .....	66
【産業・観光・雇用分野】 .....	67
【コミュニティ・行財政分野】 .....	70
【宇宙分野】.....	72
【その他分野】 .....	73



## 調査の概要

### 1 調査の目的

大樹町では、平成 26 年度からスタートした「第5期大樹町総合計画」が令和5年度に計画期間の終了を迎えます。

この調査は、町民の皆様の意識や現状を把握し、「第6期大樹町総合計画」策定に向けた基礎的な資料とさせていただきます。町内在住の 18 歳以上の方の中から無作為に抽出した 1,500 人の皆様を対象に無記名式で実施しました。

アンケートの内容は、町民の皆様の町政に対する満足度や日常生活の中で感じておられることなどについてご意見を頂き、その結果をこれからの計画に反映させることにより、町民の皆様と行政が一体となって住みよいまちを実現していくことを目的としています。

### 2 調査の方法

#### (1) 調査対象

町内にお住まいの 18 歳以上の方

#### (2) 抽出方法

無作為抽出

#### (3) 調査方法

郵送と Web 方式による調査票の配布・回収

#### (4) 調査時期

令和4年 10 月～11 月

### 3 回収結果

(1) 配布数 1,500

(2) 回収数 紙ベース 403、Web 92 計 495

(3) 回収率 33.0%

### 4 本調査報告書の基本的な事項

#### (1) 数値等の基本的な取扱いについて

- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が 100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを 100%として算出しています。(回答者総数または該当者数)
- ・複数回答については、ひとりの回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問であり、したがって、各回答の合計比率は 100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー(選択肢)の文言は、作図の都合上、簡略化する場合があります。
- ・質問の選択肢は、基本的に「 」で表していますが、選択肢を2つ以上合わせて数値を示す場合は『 』で表してあります。
- ・属性別グラフには、回答者が1名のため 10 代の回答は含んでいません。

## (2) 標本誤差(信頼度)について

統計調査のなかで、調べたい対象全体を調べる(悉皆調査)のではなく、標本すなわち調査対象である世帯や個人、施設などを一部抽出・選定して実施される調査を**標本調査**といいます。この標本調査では、調査した対象が、全体とは必ずしも一致しないことに起因する**標本誤差**というものが存在します。すなわち、標本調査の結果として統計表などに示されている結果数値は、この標本誤差を含んだものとして見る必要があります。

標本誤差は、無作為標本調査による**推計結果値が真の値からどのくらい離れているか**の幅を示す数値です。

無作為抽出により実施した標本調査では、推計値の前後にそれぞれ標準誤差の2倍の値をとると、真の値は約95パーセントの確率でこの幅の中にあるといえるという性質があります。

誤差の大きさは、抽出の方法(無作為抽出の方法という意味)や調査対象とした集団の性質など、様々な要因により影響を受けますが、最も関連性を持つのが「**標本数の大きさ**」、すなわち、調査の客体としたサンプル数です。例えば、同一の調査、同一の項目においては、サンプル数が多い程標本誤差は小さくなり、逆に、サンプル数が少ない程標本誤差は大きくなります。

一般的には、標本誤差を小さくするようにしたほうが、推計値の精度が上がることから、標本誤差の観点からは、サンプル数を増やして調査を行うほうが望ましいことにはなりますが、サンプル数が増加すると調査の手間や経費などが増加するため、おやみにサンプル数を増やすわけにはいきません。

したがって、サンプル数の決定は、誤差の大きさとコストなどとの兼ね合いということになります。その標本調査の推計値の標本誤差をどの程度におさめて、サンプル数をいくつにするかというのが、標本調査の企画における重要な部分になりますが、これを「**標本設計**」と呼んでいます。

標本誤差は下記の式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母数集団(大樹町の18歳以上人口)

n=比率算出の基数(回答者数)

p=測定値

そこで、町民アンケートの母数集団（令和4年7月の18歳以上人口）4,567、サンプル数1,500、有効回答者数495、回収率は33.0%であり、これを上式にあてはめての標本誤差について計算すると、

測定値(%)	信頼区間の1/2幅(%)
50	4.2%
45・55	4.2%
40・60	4.2%
35・65	4.0%
30・70	3.9%
25・75	3.7%
20・80	3.4%
15・85	3.0%
10・90	2.5%
5・95	1.9%

となり、すべての区間において誤差率は4.2パーセント以内に納まっています。

この表の使い方は、ある設問に対しての回答が50%であったとすると、測定値50%の1/2幅は4.2%ですから、同じアンケートを対象者全数に行っても、45.8~54.2%の間で回答が得られると示しています。

# アンケート結果

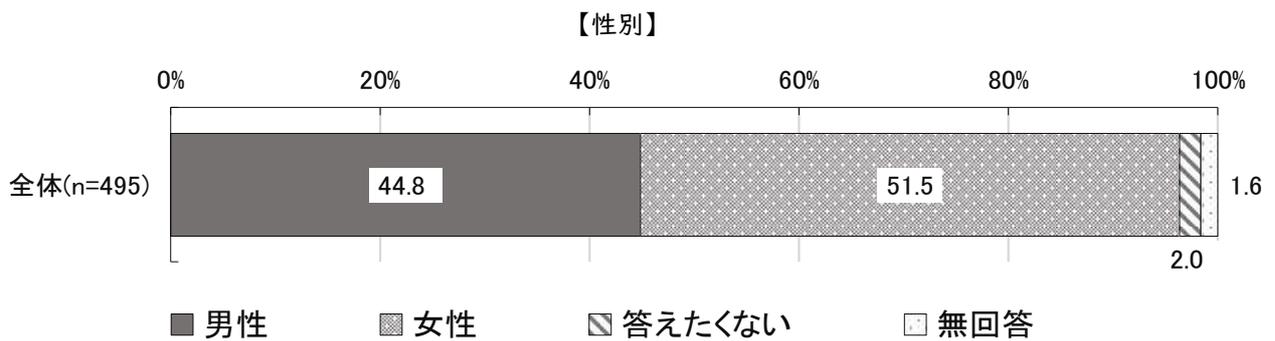
## I あなた自身について

問 I

あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。〈1つに○印〉

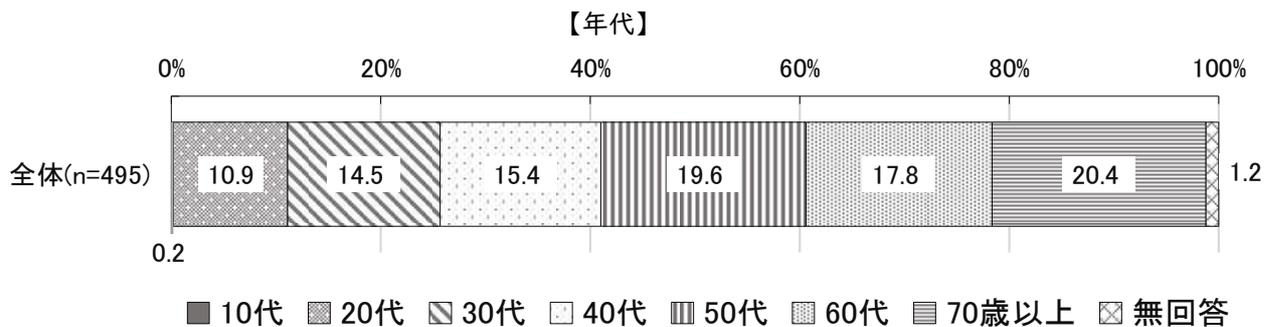
### (1) あなたの性別

性別については、「男性」が 44.8%、「女性」が 51.5%となっており、「女性」のほうが高くなっています。また、「答えたくない」は 2.0%となっています。



### (2) あなたの年代

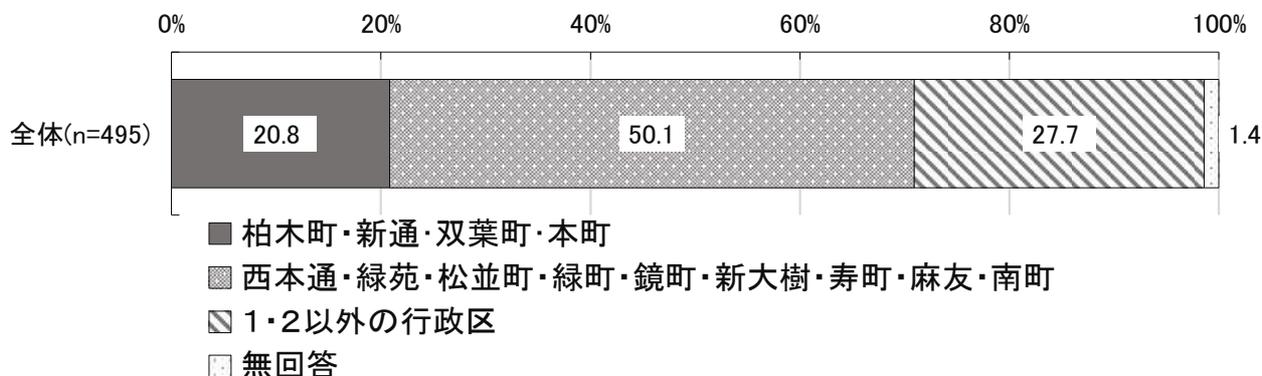
年代については、「70 歳以上」が 20.4%と最も高く、次いで、「50 代」(19.6%)、「60 代」(17.8%)、「40 代」(15.4%)、「30 代」(14.5%)、「20 代」(10.9%)、「10 代」(0.2%)の順となっています。



### (3) あなたの居住する行政区

居住する行政区については、「西本通・緑苑・松並町・緑町・鏡町・新大樹・寿町・麻友・南町」が50.1%、「柏木町・新通・双葉町・本町」が20.8%、「1・2以外の行政区」が27.7%となっています。

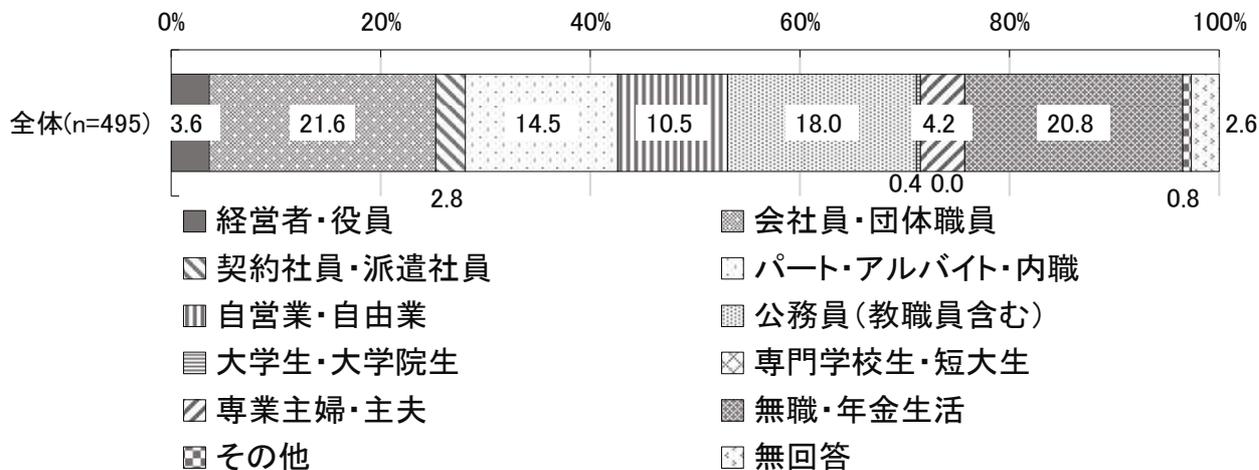
【居住行政区】



### (4) あなたの主たる職業

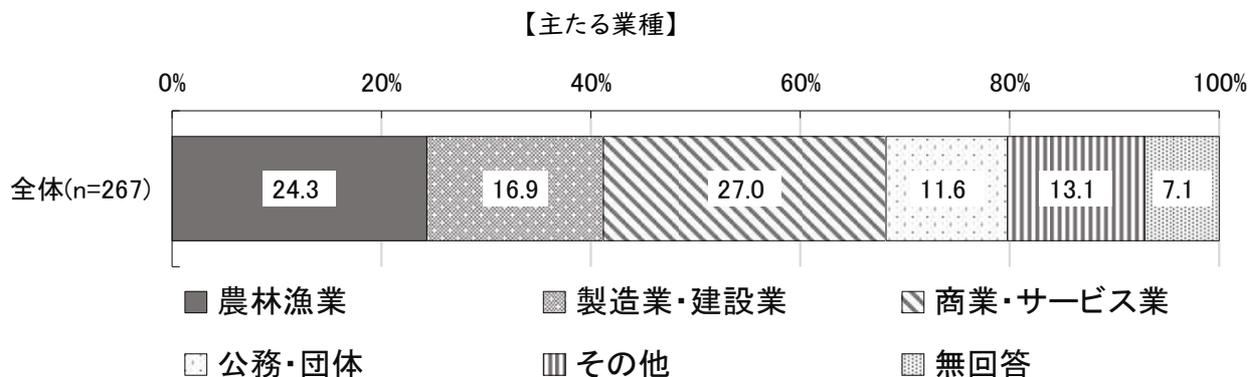
職業については、「会社員・団体職員」が21.6%と最も高く、次いで、「無職・年金生活」(20.8%)、「公務員(教職員含む)」(18.0%)、「パート・アルバイト・内職」(14.5%)、「自営業・自由業」(10.5%)、「専業主婦・主夫」(4.2%)、「経営者・役員」(3.6%)、「契約社員・派遣社員」(2.8%)、「その他」(0.8%)、「大学生・大学院生」(0.4%)などの順となっています。

【職業】



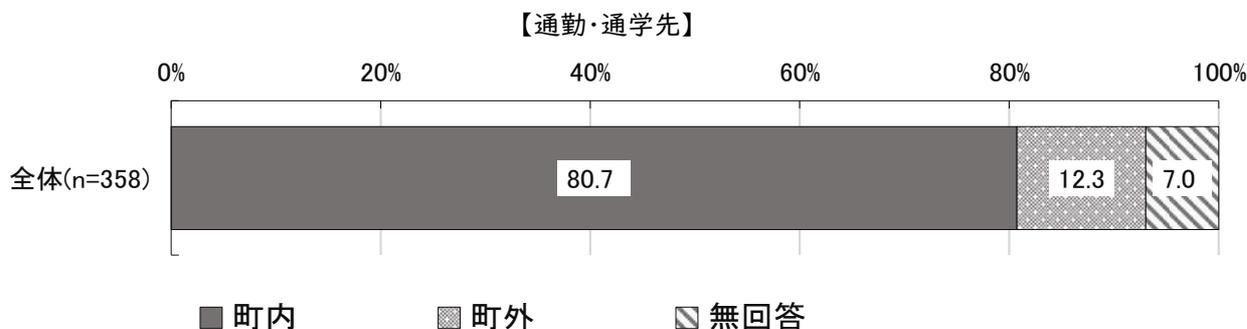
### (5) あなたの主たる業種

業種については、(4)で、経営者・役員、会社員・団体職員、契約社員・派遣社員、パート・アルバイト・内職、自営業・自由業、その他と回答された方(267名)が回答しており、「商業・サービス業」が27.0%と最も高く、次いで、「農林漁業」(24.3%)、「製造業・建設業」(16.9%)、「その他」(13.1%)、「公務・団体」(11.6%)の順となっています。



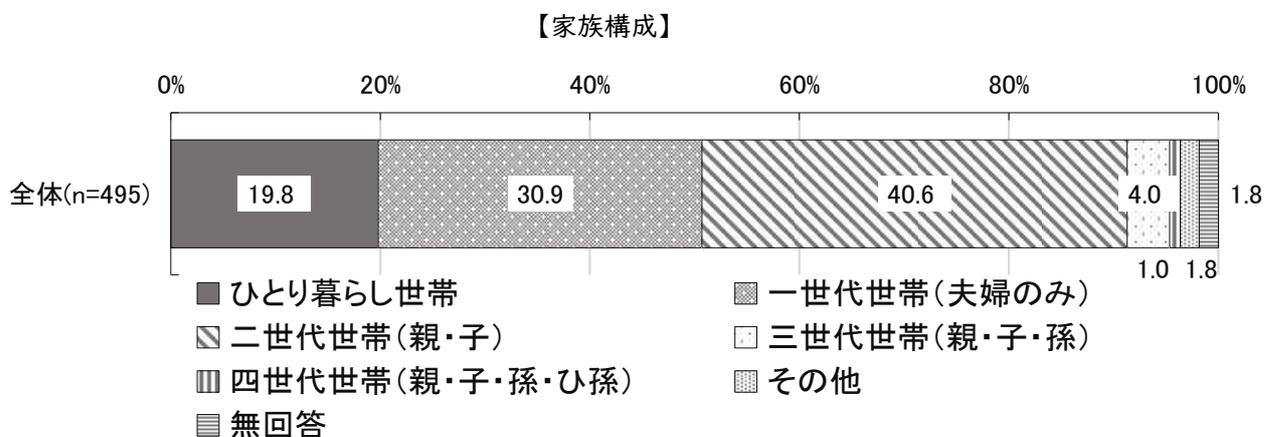
### (6) あなたの通勤・通学先

通勤・通学先については、「町内」が80.7%、「町外」が12.3%となっています。



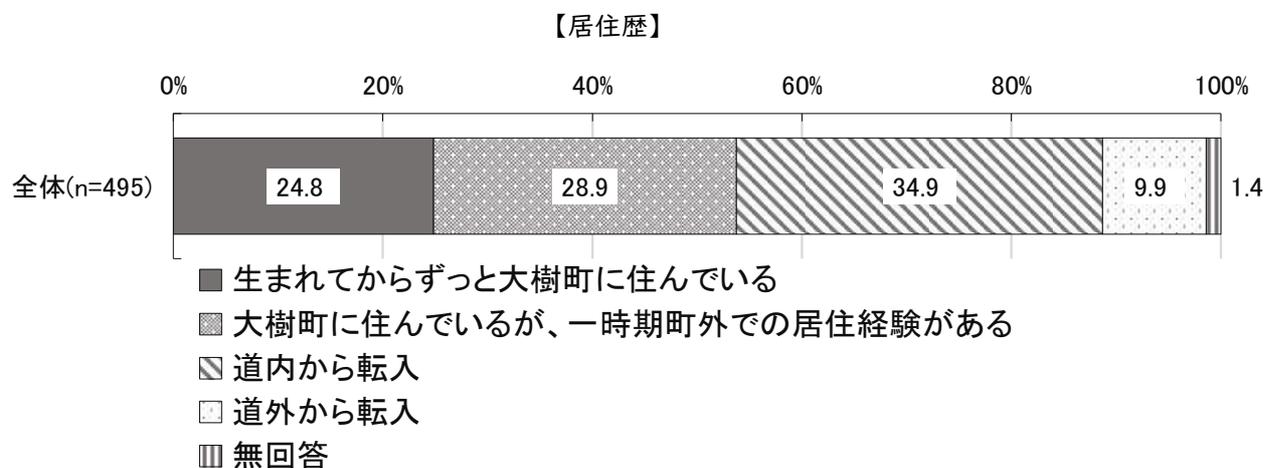
### (7) あなたの家族構成

家族構成については、「二世代世帯(親・子)」が40.6%と最も高く、次いで、「一世代世帯(夫婦のみ)」(30.9%)、「ひとり暮らし世帯」(19.8%)、「三世代世帯(親・子・孫)」(4.0%)、「その他」(1.8%)、「四世代世帯(親・子・孫・ひ孫)」(1.0%)の順となっています。



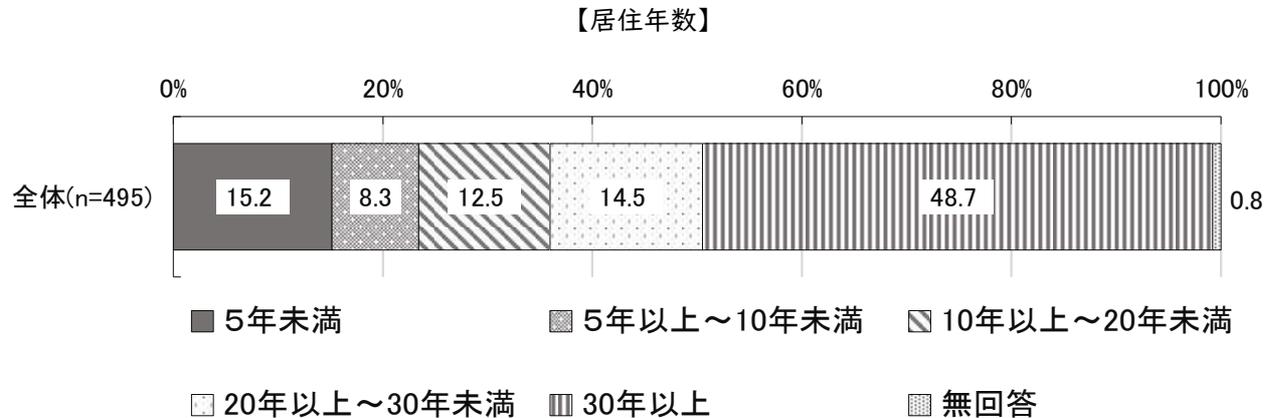
### (8) あなたの居住歴

居住歴については、「道内から転入」が 34.9%と最も高く、次いで、「大樹町に住んでいるが、一時期市外での居住経験がある」(28.9%)、「生まれてからずっと大樹町に住んでいる」(24.8%)、「道外から転入」(9.9%)の順となっています。



### (9) あなたの居住年数

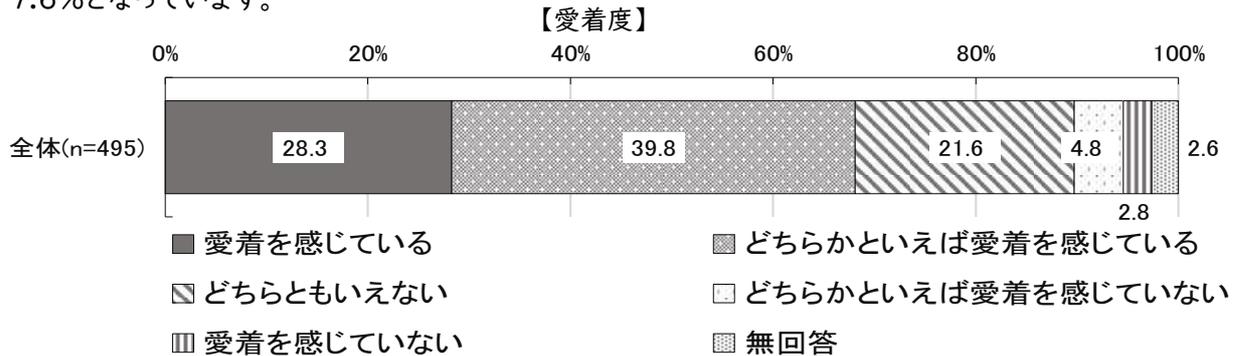
居住年数については、「30年以上」が 48.7%と最も高く、次いで、「5年未満」(15.2%)、「20年以上～30年未満」(14.5%)、「10年以上～20年未満」(12.5%)、「5年以上～10年未満」(8.3%)の順となっています。



## 2 大樹町の印象などについて

### 問2 あなたは、大樹町に愛着を感じていますか。＜1つに○印＞

愛着度については、「愛着を感じている」(28.3%)と「どちらかといえば愛着を感じている」(39.8%)を合わせた『愛着を感じている』は68.1%となっています。一方、「どちらかといえば愛着を感じていない」(4.8%)と「愛着を感じていない」(2.8%)を合わせた『愛着を感じていない』は7.6%となっています。

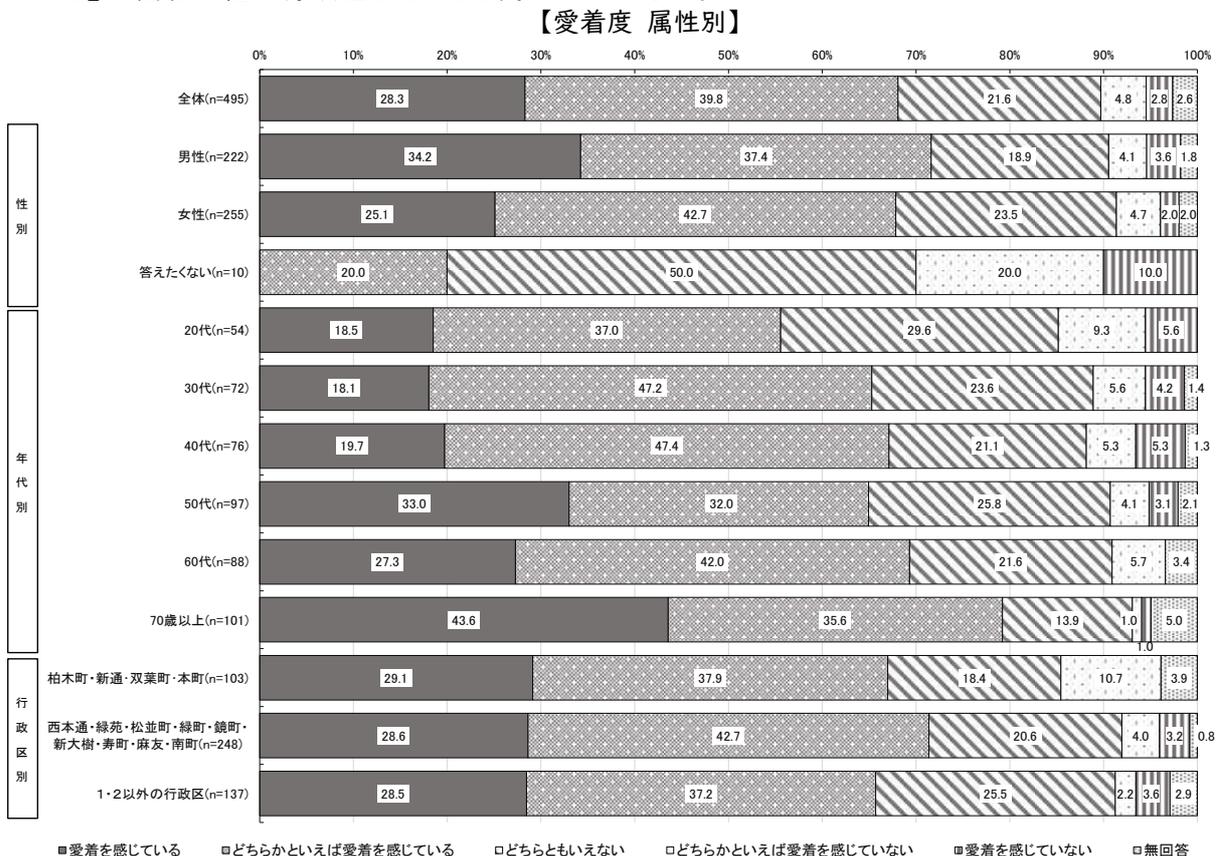


#### 【属性別】

性別でみると、男性のほうが「愛着を感じている」の割合が女性より高くなっています。

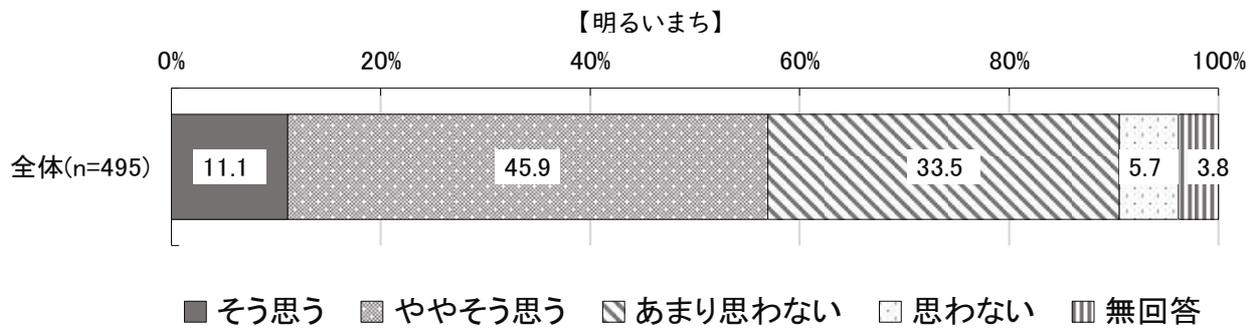
年代別でみると、「愛着を感じている」は70歳以上の割合が高く、20代が低くなっていますが、30代以上の層で6割以上が『愛着を感じている』となっています。

行政区別でみると、西本通・緑苑・松並町・緑町・鏡町・新大樹・寿町・麻友・南町では『愛着を感じている』の割合が他の行政区と比べると高くなっています。



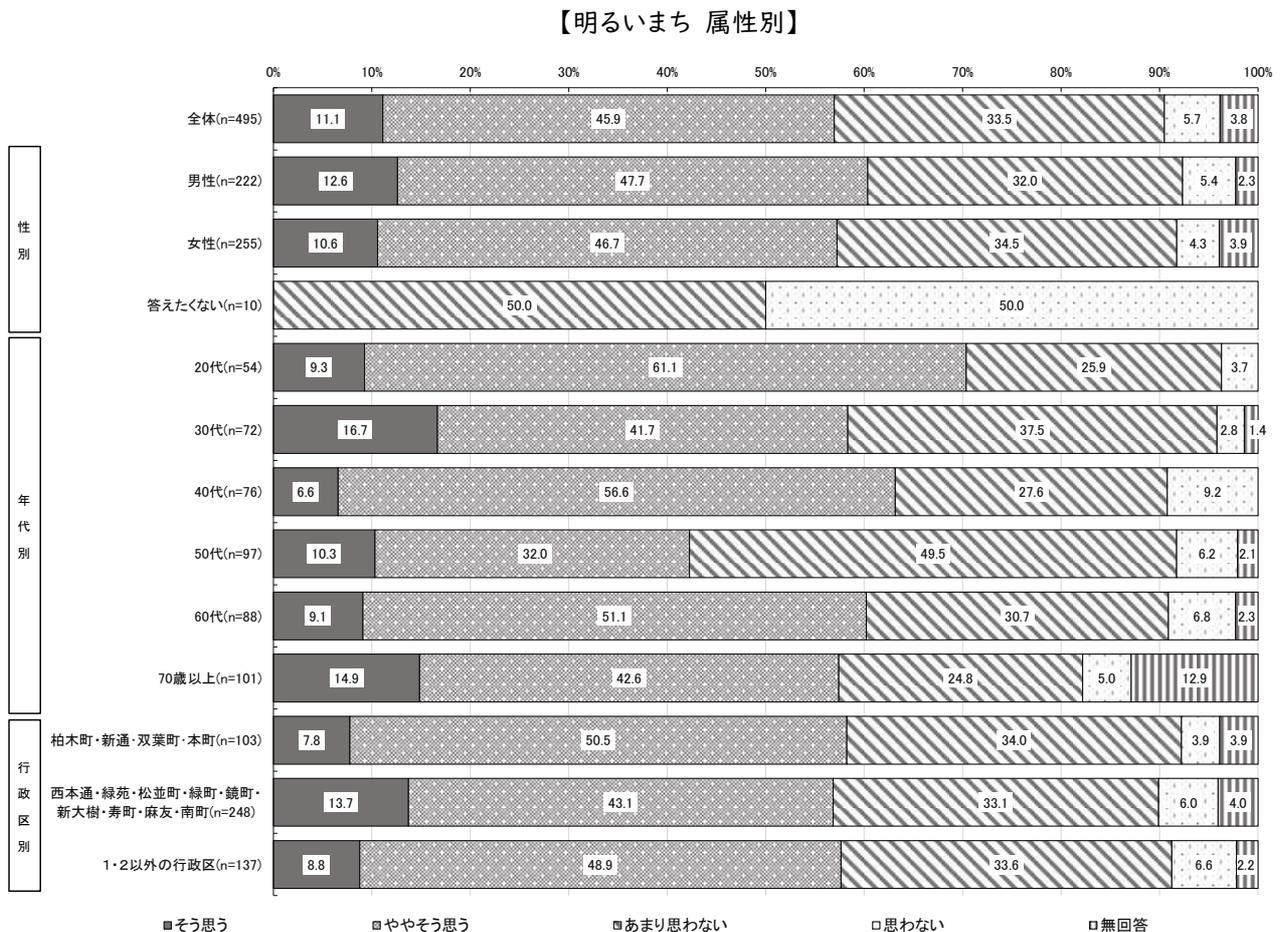
問 3-1 あなたは、現在の大樹町をどのようなまちだと感じていますか。〈1つに○印〉

「明るいまち」については、「そう思う」(11.1%)と「ややそう思う」(45.9%)を合わせた『明るいまちと感じている』は 57.0%となっています。一方、「あまり思わない」(33.5%)と「思わない」(5.7%)を合わせた『明るいまちと感じていない』は 39.2%となっています。



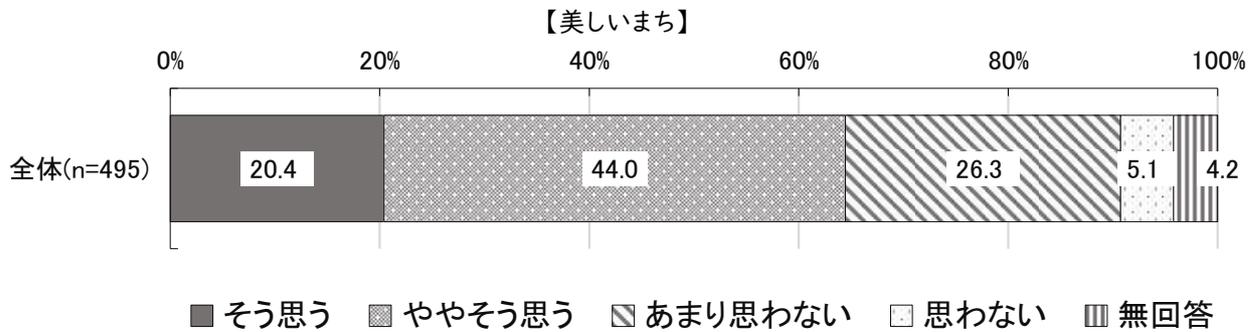
[属性別]

性別でみると、男性のほうが『明るいまちと感じている』の割合が女性よりやや高くなっています。年代別でみると、『明るいまちと感じている』は、20代で割合が高くなっています。



問 3-2 あなたは、現在の大樹町をどのようなまちだと感じていますか。〈1つに○印〉

「美しいまち」については、「そう思う」(20.4%)と「ややそう思う」(44.0%)を合わせた『美しいまちと感じている』は 64.4%となっています。一方、「あまり思わない」(26.3%)と「思わない」(5.1%)を合わせた『美しいまちと感じていない』は 31.4%となっています。

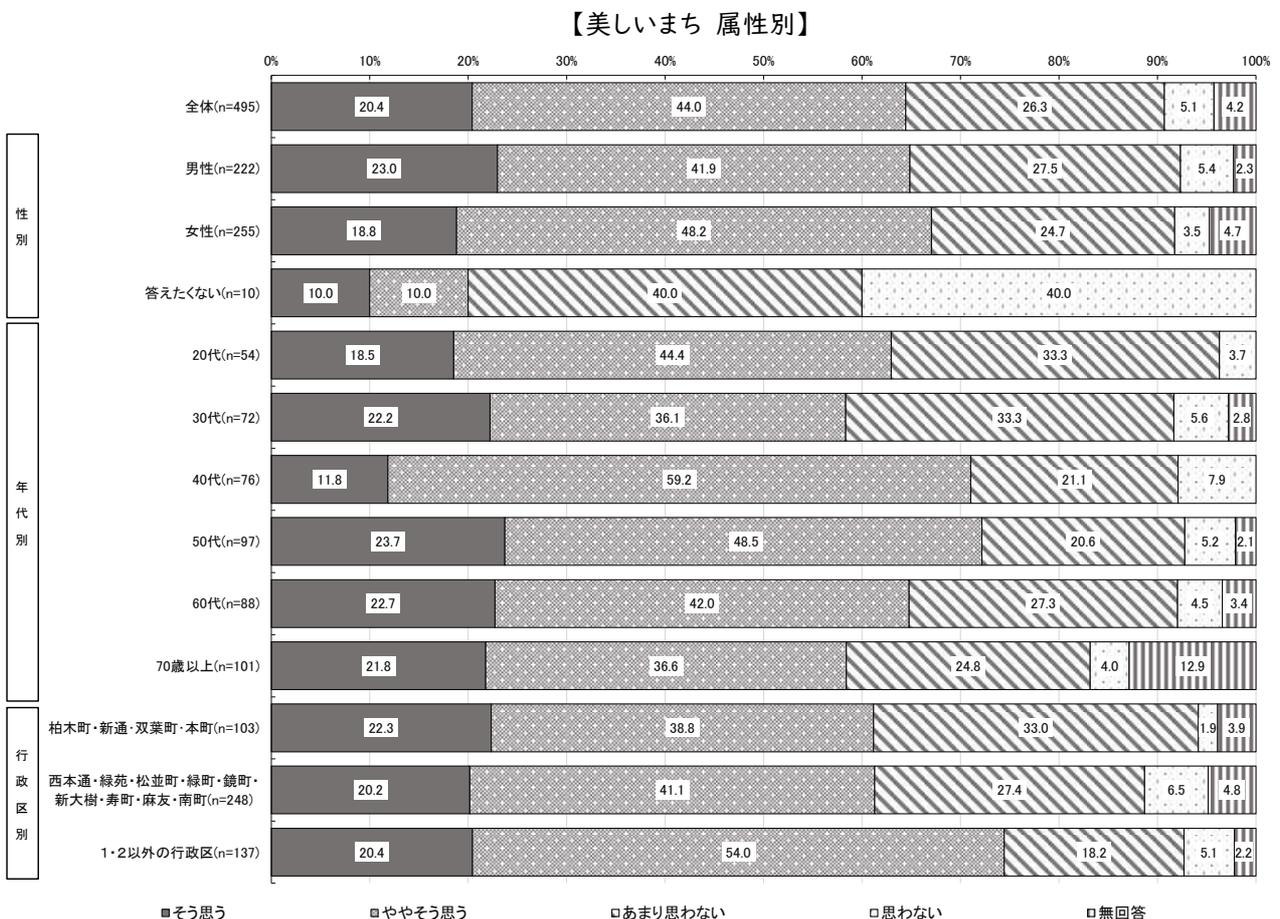


[属性別]

性別でみると、女性のほうが『美しいまちと感じている』の割合が男性より高くなっています。

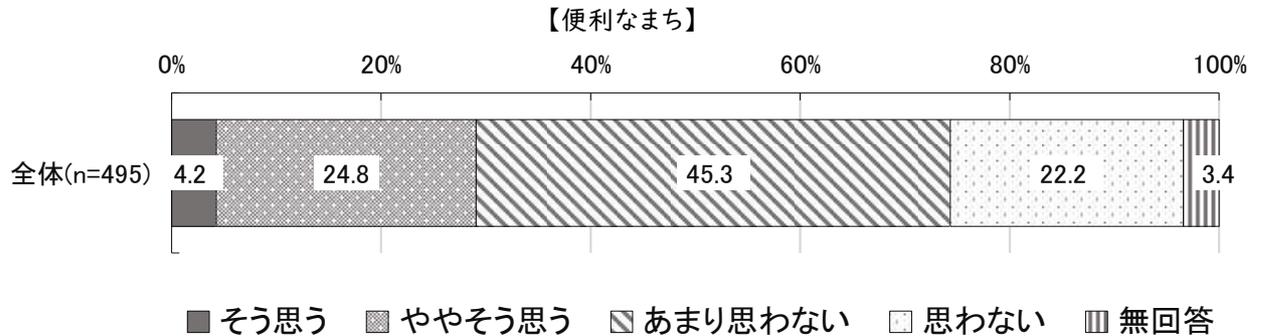
年代別でみると、『美しいまちと感じている』は 40 代、50 代が高くなっています。

行政区別でみると、1・2以外の行政区で『美しいまちと感じている』の割合が他の行政区と比べると高くなっています。



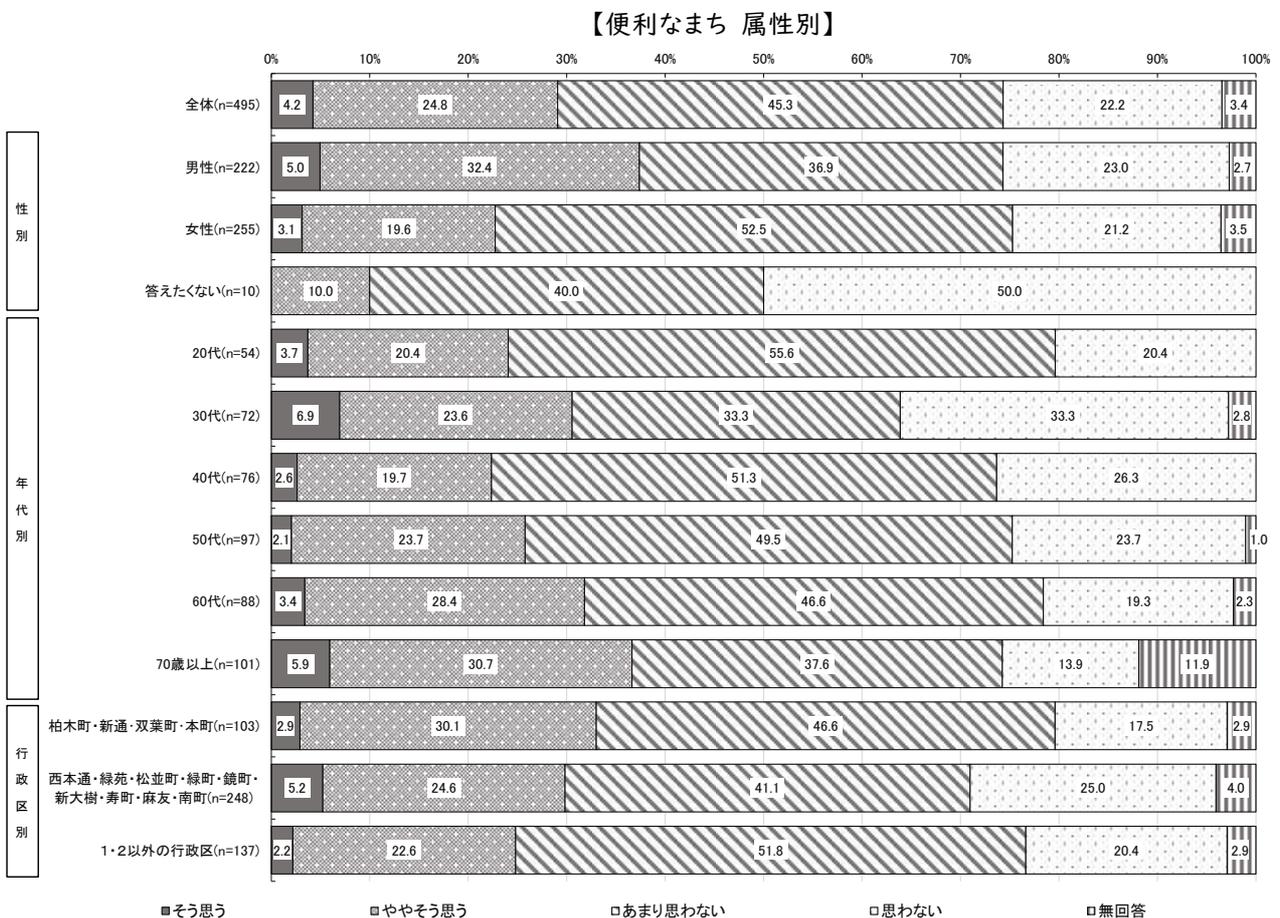
**問 3-3 あなたは、現在の大樹町をどのようなまちだと感じていますか。〈1つに○印〉**

「便利なまち」については、「そう思う」(4.2%)と「ややそう思う」(24.8%)を合わせた『便利なまちと感じている』は 29.0%となっています。一方、「あまり思わない」(45.3%)と「思わない」(22.2%)を合わせた『便利なまちと感じていない』は 67.5%となっています。



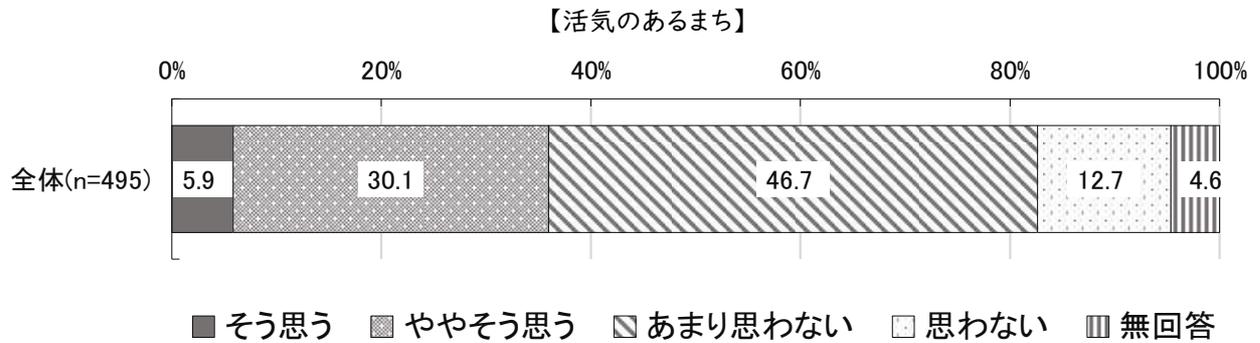
**[属性別]**

性別でみると、男性のほうが『便利なまちと感じている』の割合が女性より高くなっています。  
 年代別でみると、『便利なまちと感じている』は 30代と60代以上の割合が高くなっています。  
 行政区別でみると、1・2以外の行政区では『便利なまちと感じている』の割合が他の行政区と比べると低くなっています。



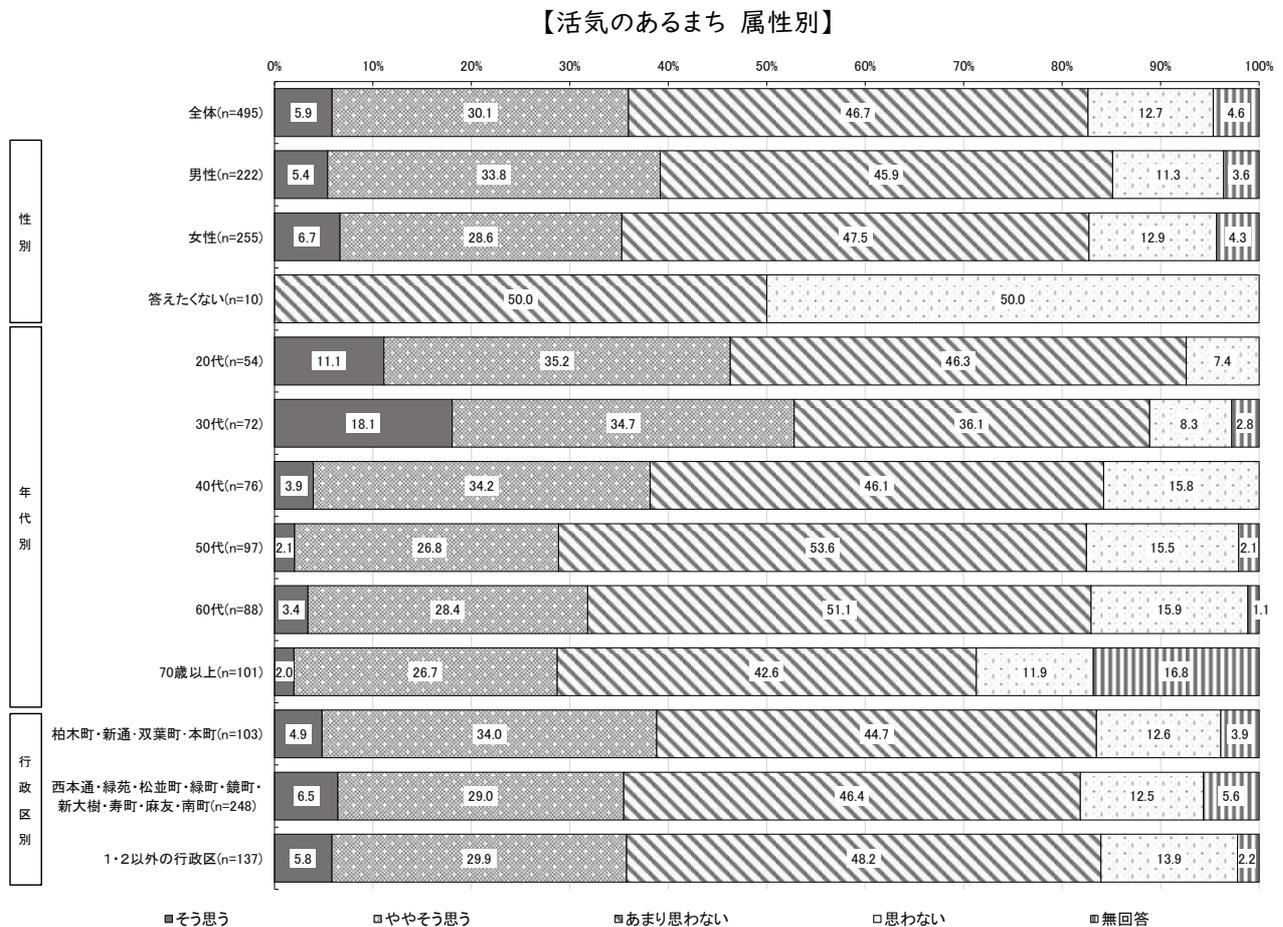
問 3-4 あなたは、現在の大樹町をどのようなまちだと感じていますか。〈1つに○印〉

「活気のあるまち」については、「そう思う」(5.9%)と「ややそう思う」(30.1%)を合わせた『活気のあるまちと感じている』は 36.0%となっています。一方、「あまり思わない」(46.7%)と「思わない」(12.7%)を合わせた『活気のあるまちと感じていない』は 59.4%となっています。



[属性別]

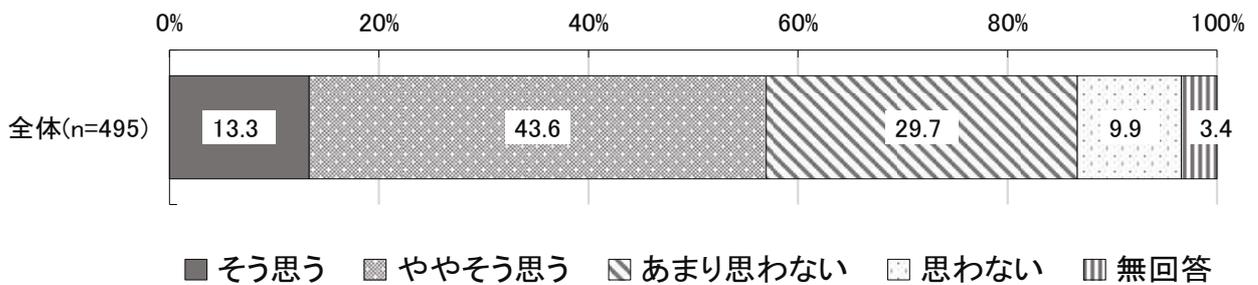
性別でみると、男性のほうが『活気のあるまちと感じている』の割合が女性より高くなっています。年代別でみると、『活気のあるまちと感じている』のは、20代、30代の割合が高くなっています。



**問 3-5** あなたは、現在の大樹町をどのようなまちだと感じていますか。〈1つに○印〉

「個性(特色)のあるまち」については、「そう思う」(13.3%)と「ややそう思う」(43.6%)を合わせた『個性(特色)のあるまちと感じている』は56.9%となっています。一方、「あまり思わない」(29.7%)と「思わない」(9.9%)を合わせた『個性(特色)のあるまちと感じていない』は39.6%となっています。

【個性(特色)のあるまち】



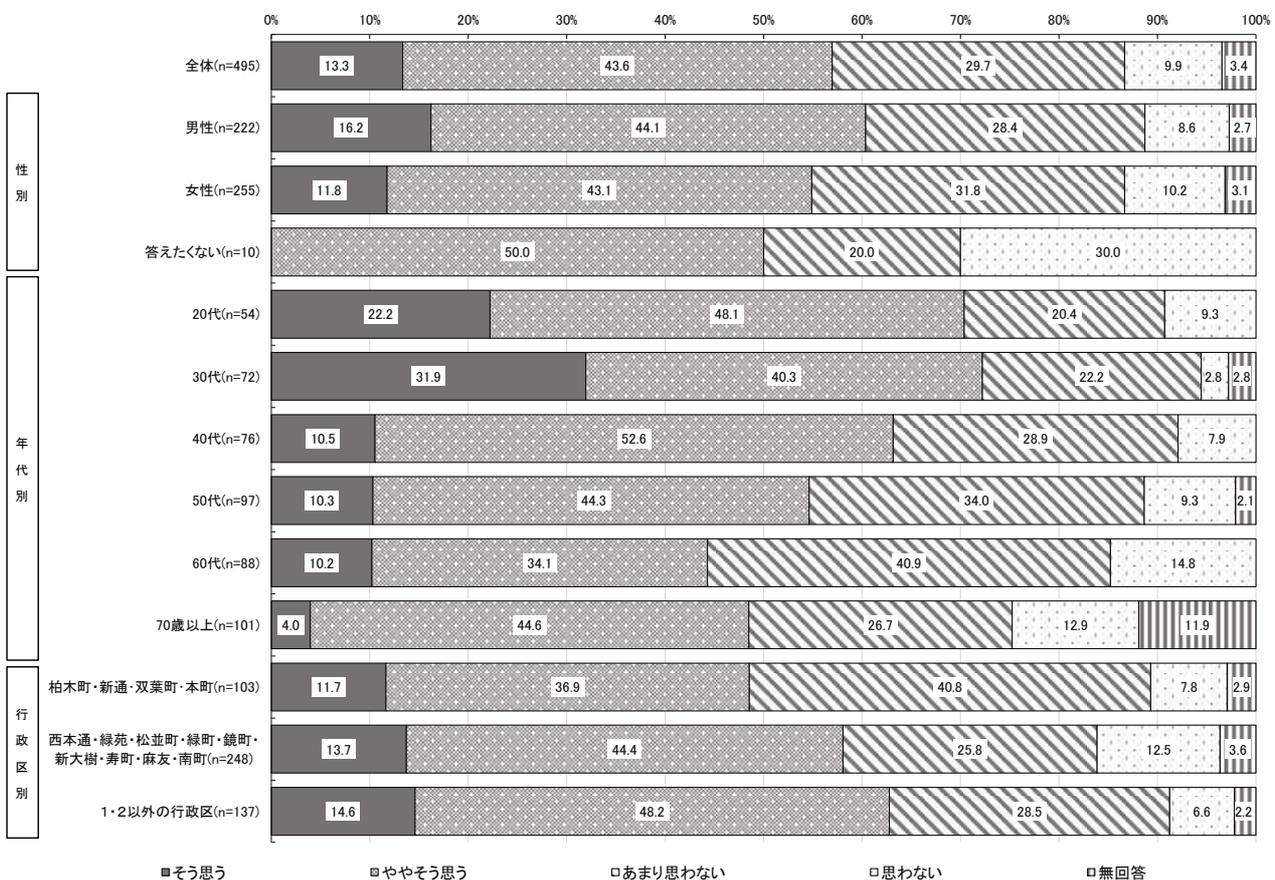
[属性別]

性別でみると、男性のほうが『個性(特色)のあるまちと感じている』の割合が女性より高くなっています。

年代別でみると、『個性(特色)のあるまちと感じている』は20代、30代の割合が高くなっています。

行政区別でみると、柏木町・新通・双葉町・本町では『個性(特色)のあるまちと感じている』の割合が他の行政区と比べると低くなっています。

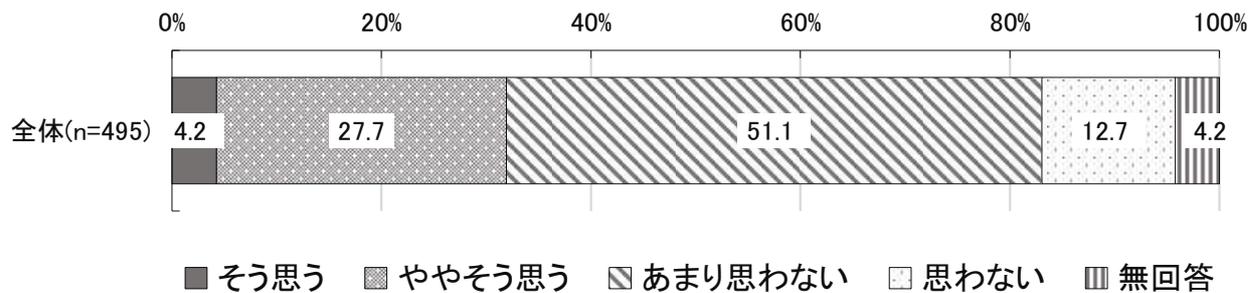
【個性(特色)のあるまち 属性別】



問 3-6 あなたは、現在の大樹町をどのようなまちだと感じていますか。〈1つに○印〉

「連帯感のあるまち」については、「そう思う」(4.2%)と「ややそう思う」(27.7%)を合わせた『連帯感のあるまちと感じている』は31.9%となっています。一方、「あまり思わない」(51.1%)と「思わない」(12.7%)を合わせた『連帯感のあるまちと感じていない』は63.8%となっています。

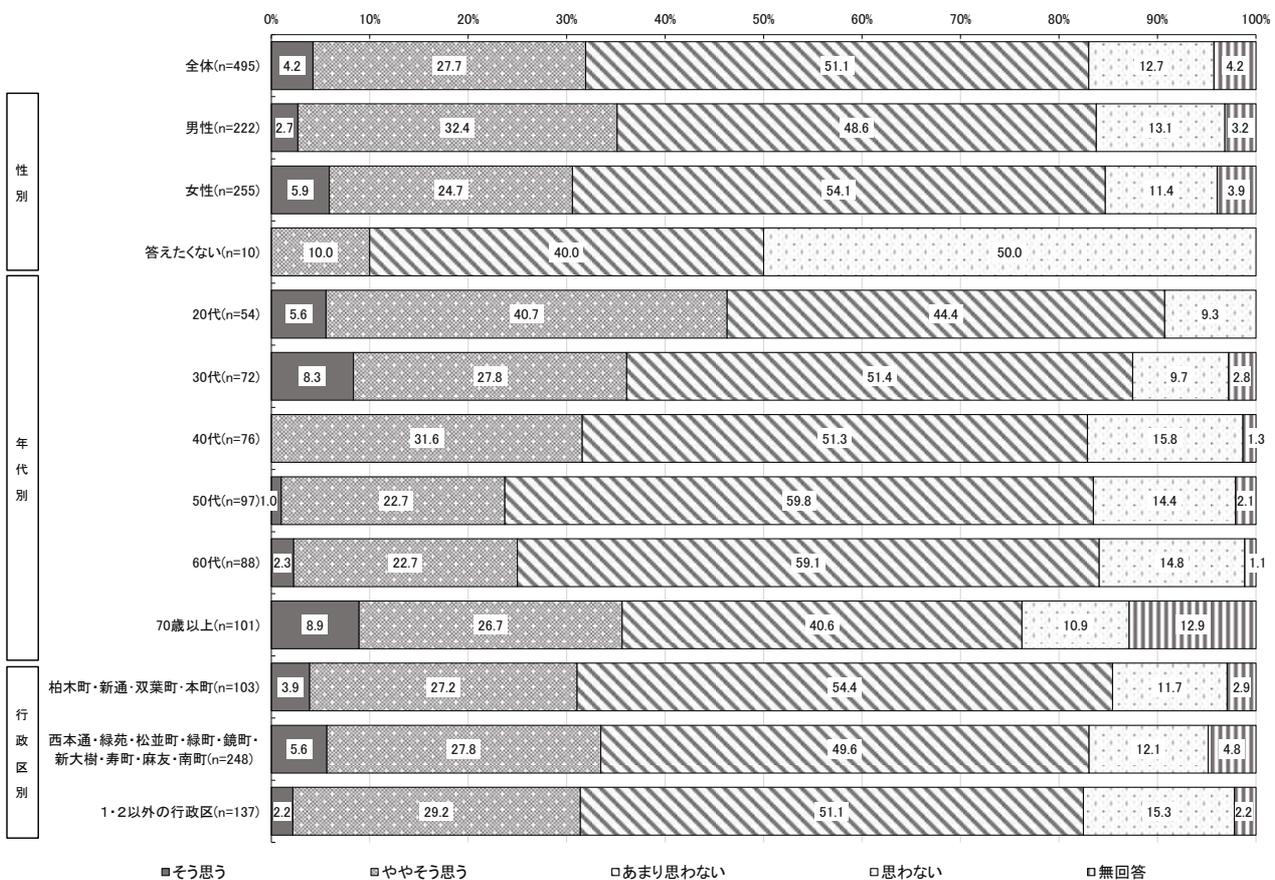
【連帯感のあるまち】



[属性別]

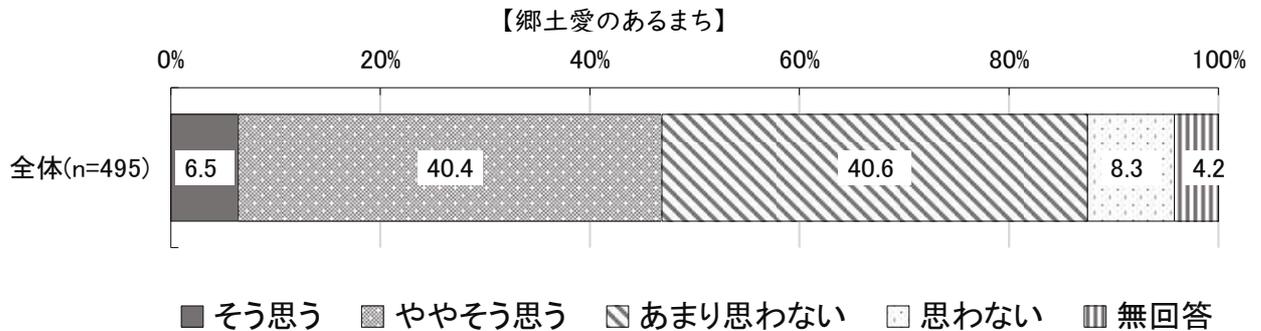
性別でみると、男性のほうが『連帯感のあるまちと感じている』の割合が女性より高くなっています。年代別でみると、『連帯感のあるまちと感じている』は、20代が高くなっています。

【連帯感のあるまち 属性別】



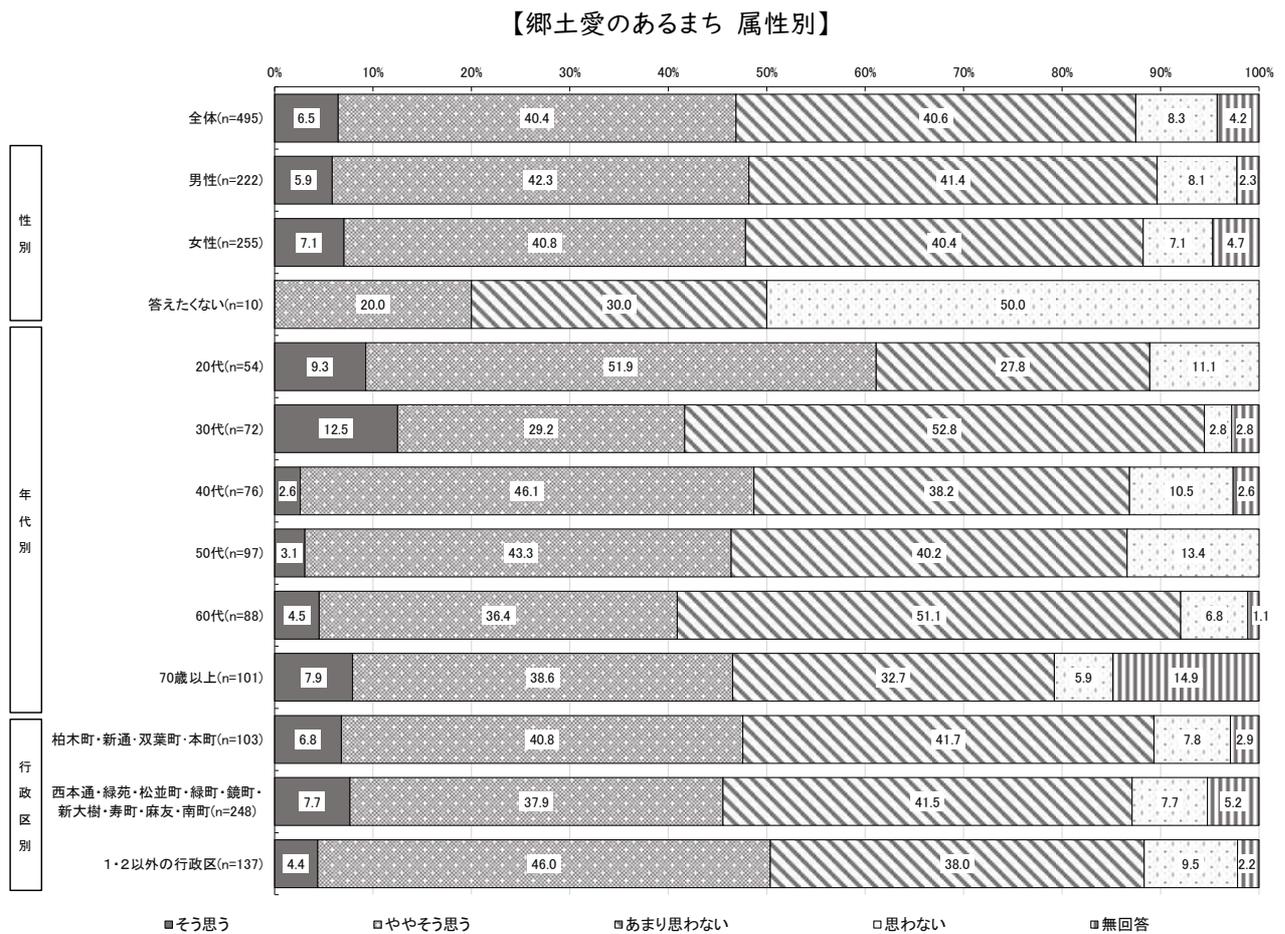
問 3-7 あなたは、現在の大樹町をどのようなまちだと感じていますか。〈1つに○印〉

「郷土愛のあるまち」については、「そう思う」(6.5%)と「ややそう思う」(40.4%)を合わせた『郷土愛のあるまちと感じている』は 46.9%となっています。一方、「あまり思わない」(40.6%)と「思わない」(8.3%)を合わせた『郷土愛のあるまちと感じていない』は 48.9%となっています。



[属性別]

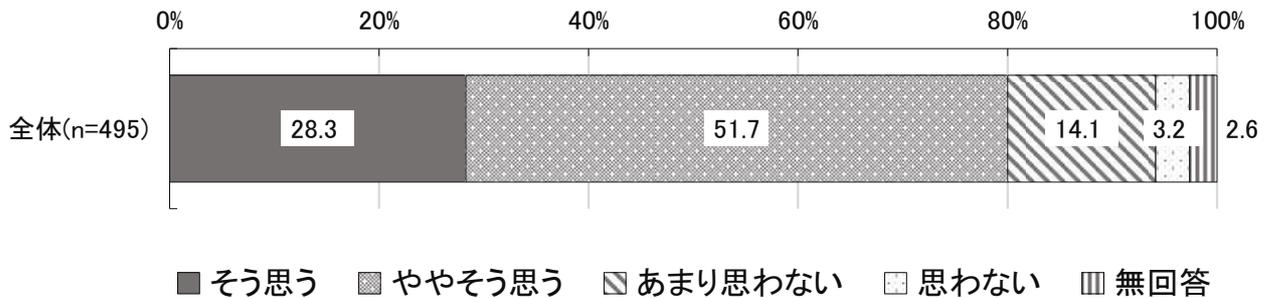
年代別でみると、『郷土愛のあるまちと感じている』は、20代が高くなっています。



問 3-8 あなたは、現在の大樹町をどのようなまちだと感じていますか。〈1つに○印〉

「安全に暮らせるまち」については、「そう思う」(28.3%)と「ややそう思う」(51.7%)を合わせた『安全に暮らせるまちと感じている』は 80.0%となっています。一方、「あまり思わない」(14.1%)と「思わない」(3.2%)を合わせた『安全に暮らせるまちと感じていない』は 17.3%となっています。

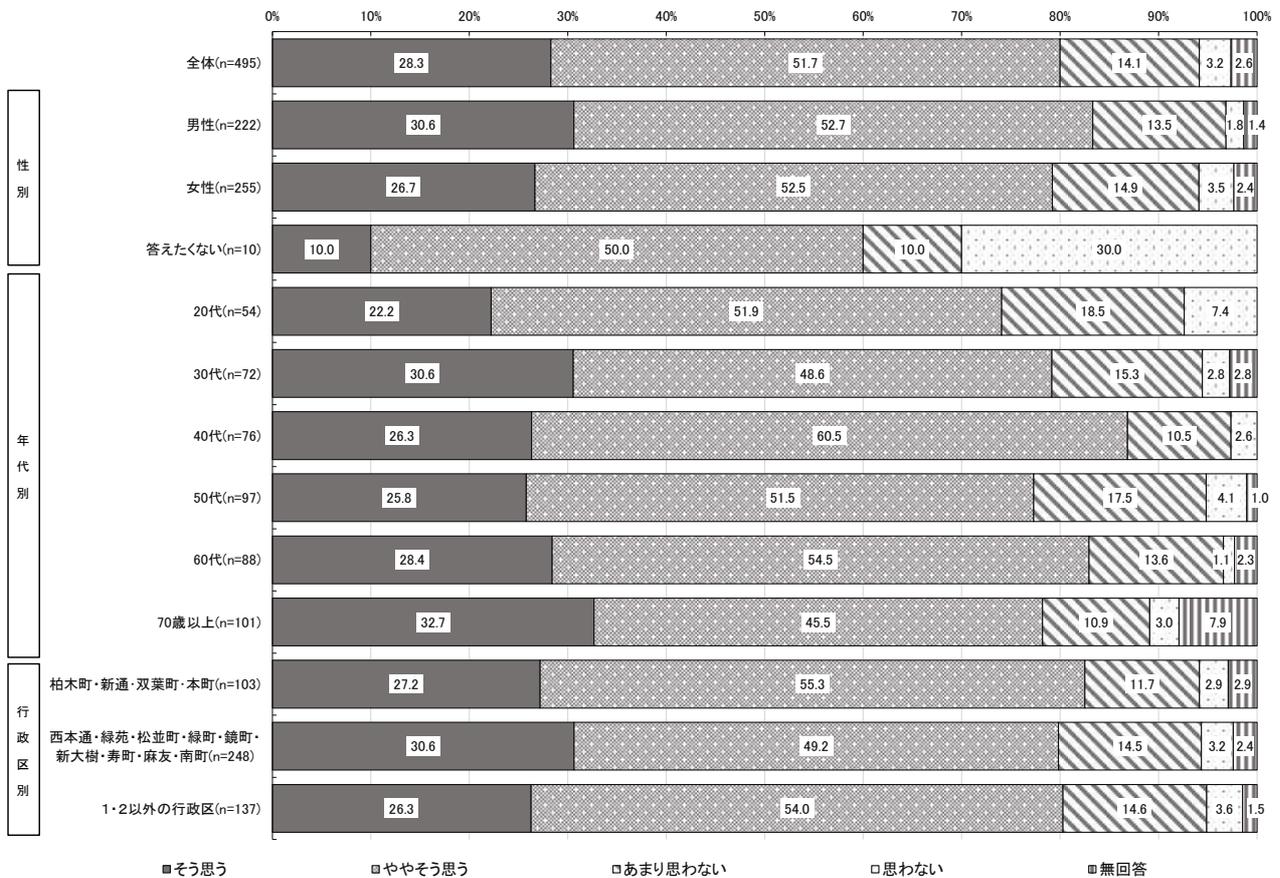
【安全に暮らせるまち】



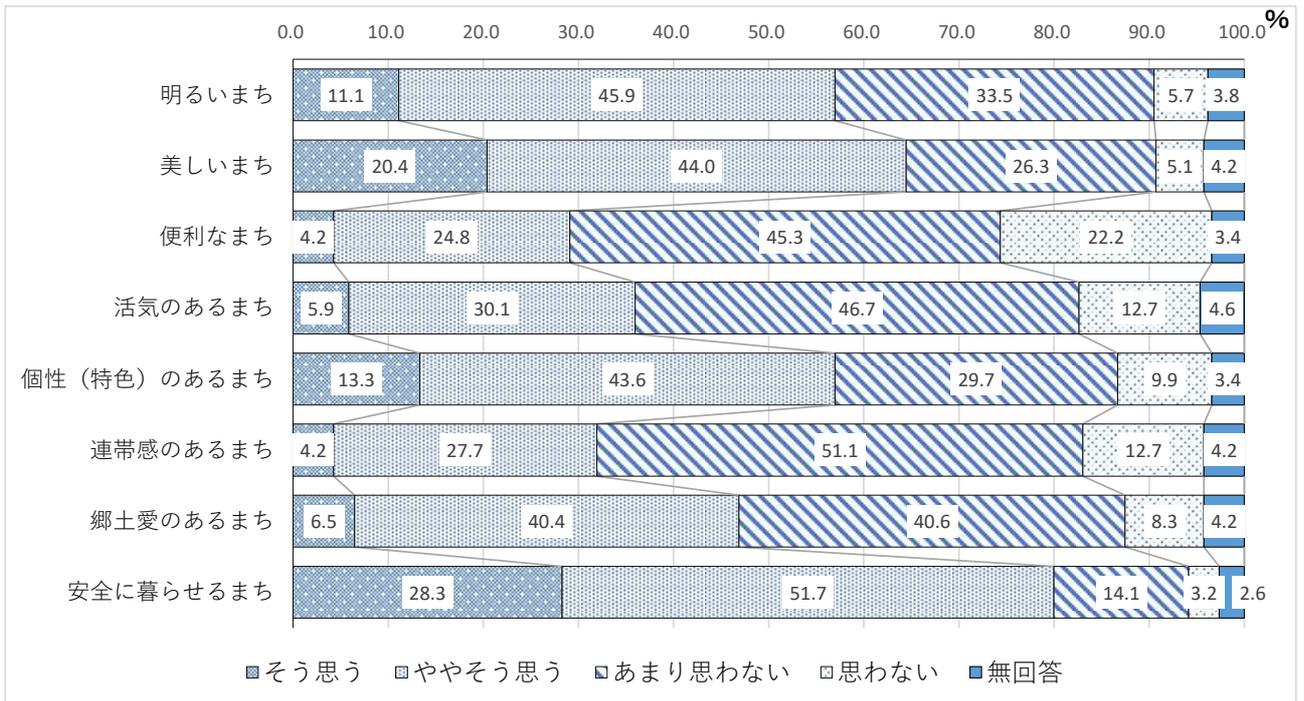
[属性別]

性別でみると、男性のほうが『安全に暮らせるまちと感じている』の割合が女性より高くなっています。年代別でみると、『安全に暮らせるまちと感じている』は、40代、60代の割合が高くなっています。

【安全に暮らせるまち 属性別】



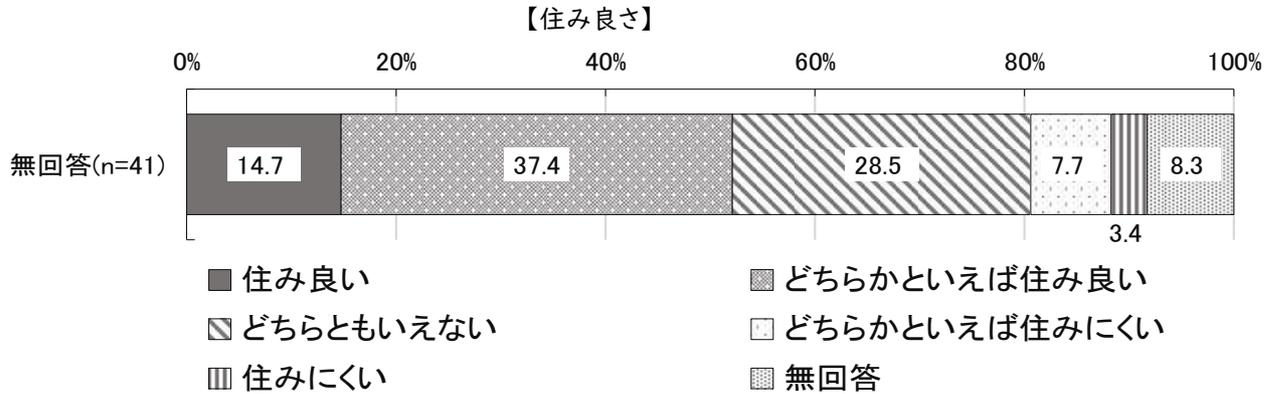
【まちの感じ方総括】



#### 問4

あなたは、現在の大樹町の住み良さについてどう感じていますか。〈1つに○印〉

大樹町への住み良さについては、「住み良い」(14.7%)と「どちらかといえば住み良い」(37.4%)を合わせた『住み良い』は 52.1%となっています。一方、「どちらかといえば住みにくい」(7.7%)と「住みにくい」(3.4%)を合わせた『住みにくい』は 11.1%となっています。

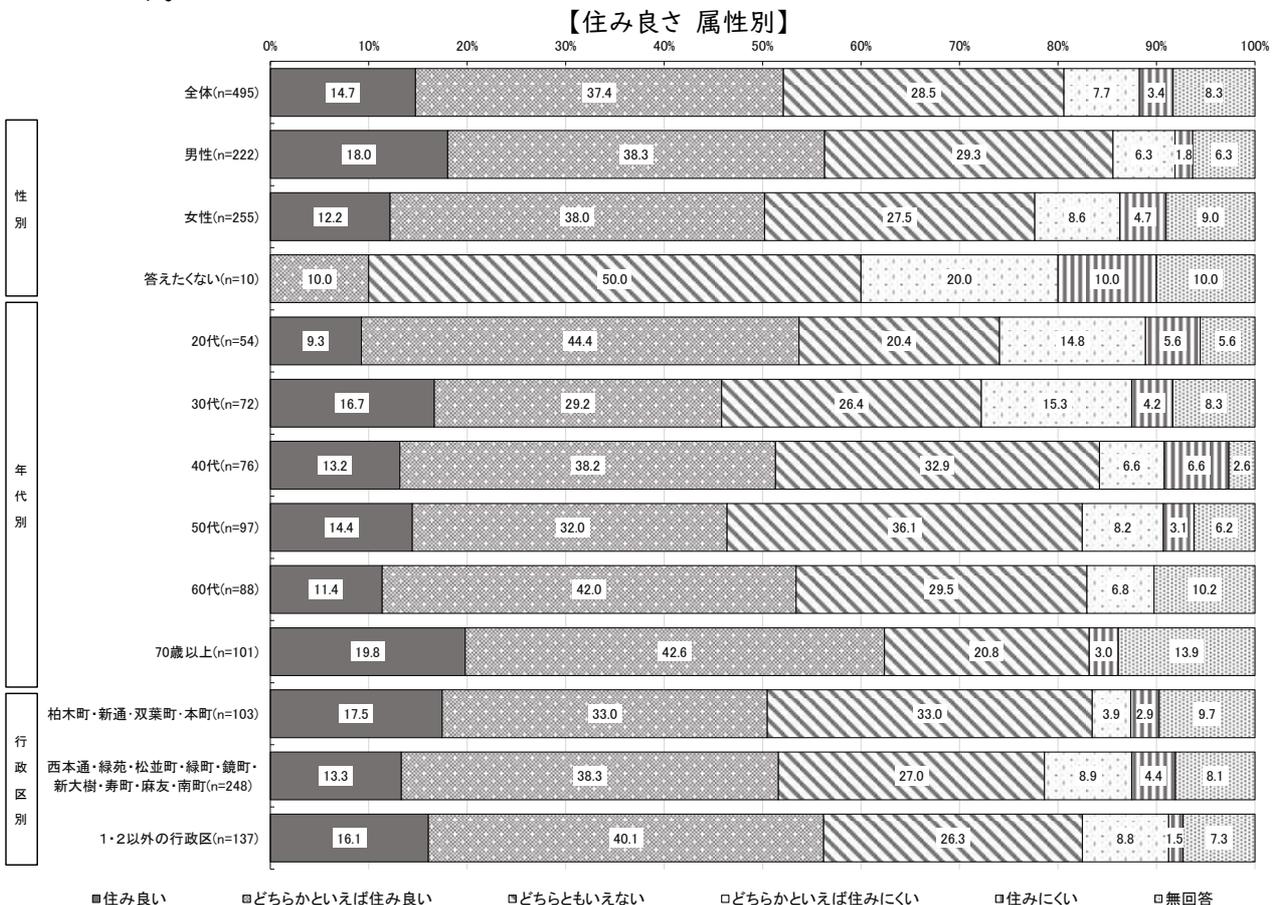


#### [属性別]

性別でみると、男性のほうが『住み良い』の割合が女性より高くなっています。

年代別でみると、20代、60代、70歳以上では『住み良い』の割合が他の年代と比べると高くなっています。

居住行政区別でみると、1・2以外の行政区では『住み良い』の割合が他の地区に比べると高くなっています。

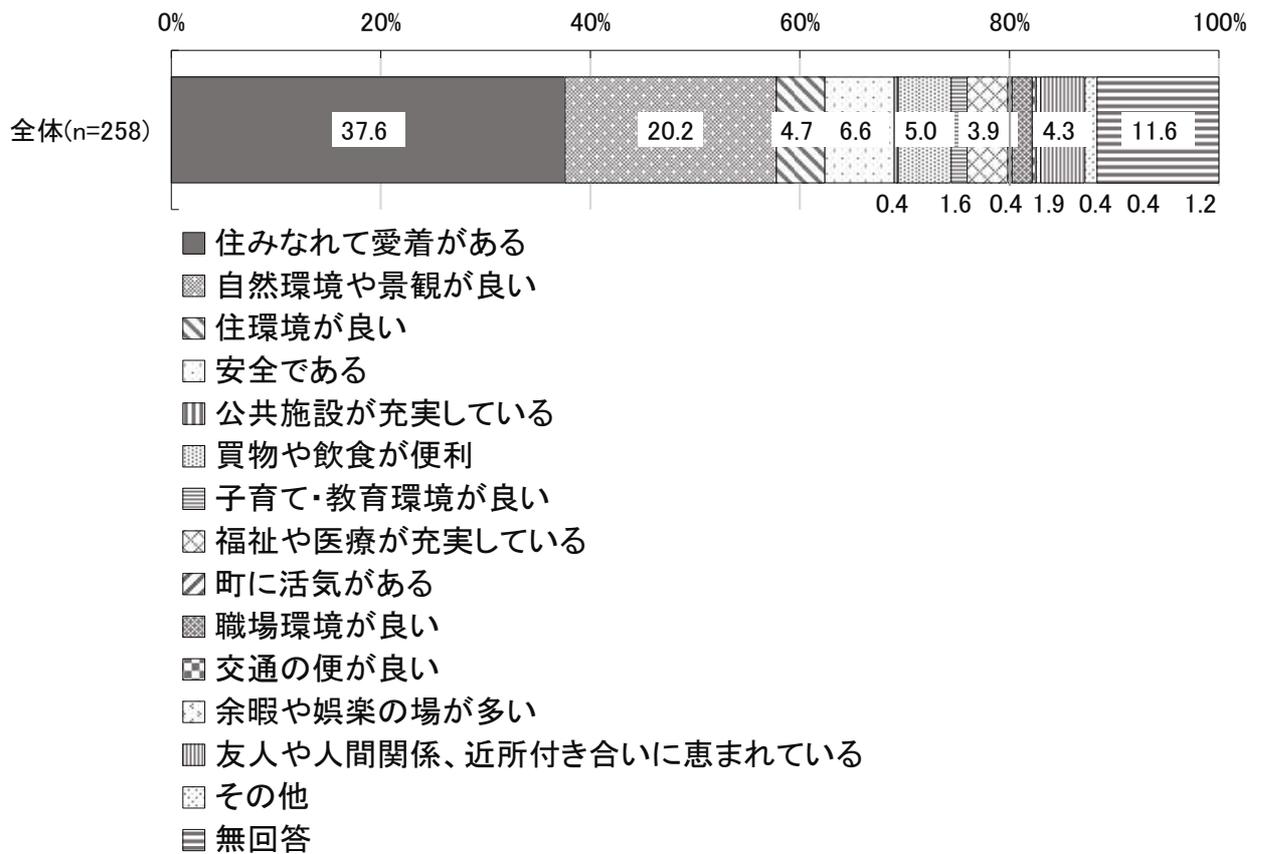


問4で「1. 住み良い」、「2. どちらかといえば住み良い」と答えた方 258 人

問 5-1 「住み良い」と感じる主な理由は何ですか。＜1つに○印＞

「住み良い」と感じる理由については、「住みなれて愛着がある」が 37.6%と最も高く、次いで、「自然環境や景観が良い」が 20.2%となっており、これら以外では、「安全である」(6.6%)、「買物や飲食が便利」(5.0%)、「住環境が良い」(4.7%)、「友人や人間関係、近所付き合いに恵まれている」(4.3%)などについては、少なくなっています。

【住み良いと感じる理由】

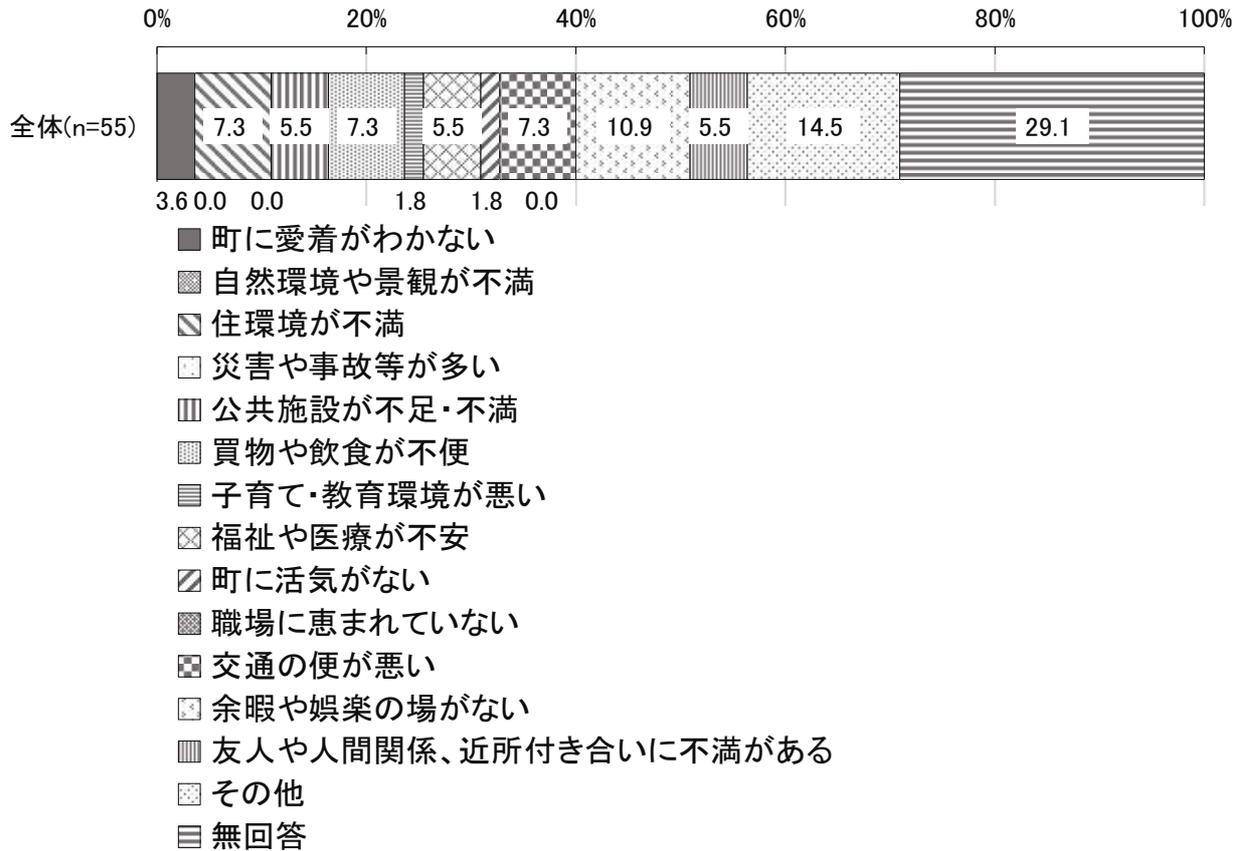


問4で「4.どちらかといえば住みにくい」、「5.住みにくい」と答えた方 55 人

問 5-2 住みにくいとを感じる主な理由<1つに○印>

「住みにくいと」感じる理由については、いずれも少数ながら、「その他」が 14.5%と最も高く、次いで、「余暇や娯楽の場がない」(10.9%)などとなっています。

【住みにくいとを感じる理由】



[その他]

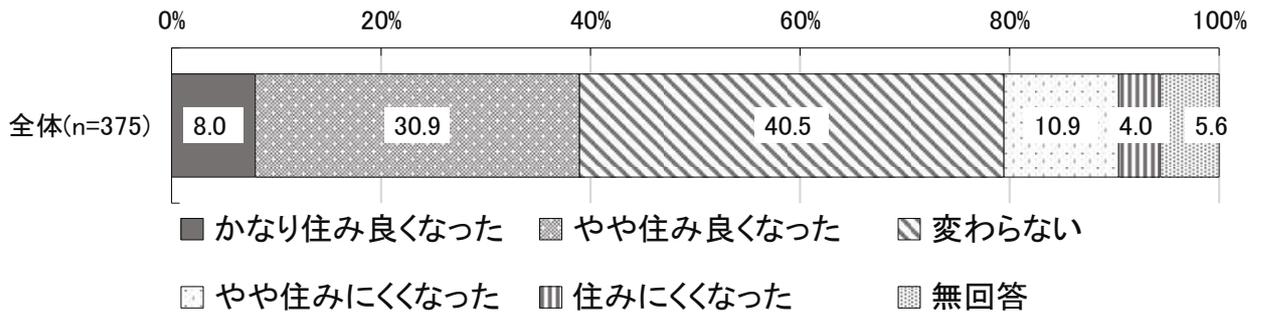
○地域の人々に関して
・子どものいない夫婦ということもあり、地域の繋がりがなかなか持てなかった。もう少し大樹町の人と繋がりをもちたいと思っているが模索中
・町民のうわさ好きなどところ
・人のことを考えない、自分さえよければよいと考える人が多い
○交通に関して
・病気時受診の科に限りがあり、車がないと不便、冬の道の不安など
・年齢とともに免許のことが心配、帯広の病院にバスで行くと約2時間かかること
○その他
・自然の資源を廃していることは残念（森林伐採→住宅建築等）
・宅地がない、サツドラ裏が活用されていない（されていればもっと発展）
・子育て環境、公共施設、余暇、娯楽の場所がなく、特に子どもが遊べる場所が不足している。人口が減少しているのも町に魅力がないからではないか。ロケット事業は非常に魅力ある子どもの未来にも大きい影響があると思うが、環境にも配慮が必要だと思う。

問1(9)で、10年以上～20年未満、20年以上～30年未満、30年以上と回答された方 375人

**問6** あなたは、以前（10年くらい前）と比べて、大樹町の住み良さをどう感じていますか。＜1つに○印＞

以前（10年くらい前）と比べて、大樹町の住み良さをどう感じているかについては、「変わらない」が40.5%と最も高く、次いで、「やや住み良くなった」（30.9%）、「やや住みにくくなった」（10.9%）、「かなり住み良くなった」（8.0%）、「住みにくくなった」（4.0%）の順となっています。

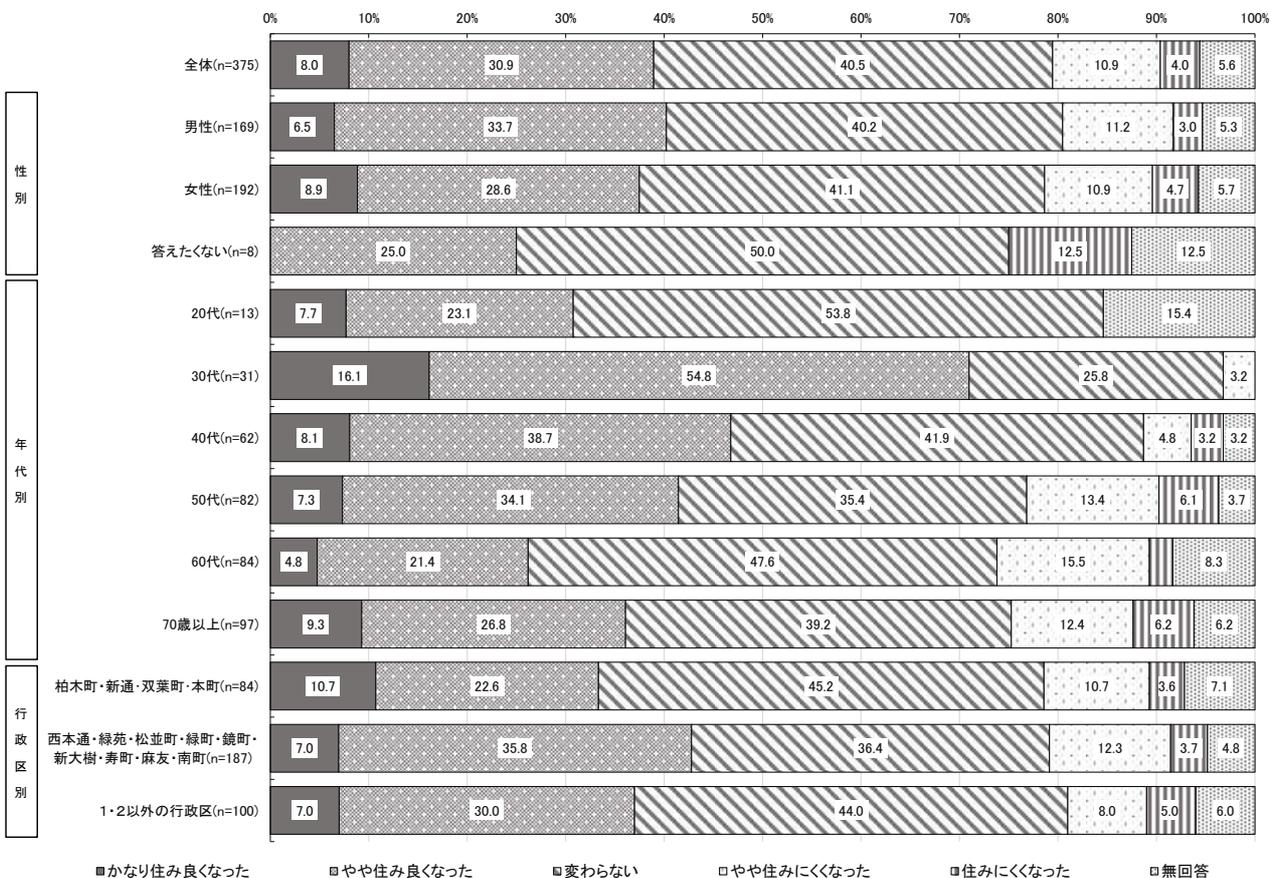
【以前と比べた住み良さ】



[属性別]

年代別でみると、30代では「かなり住み良くなった」の割合が他の年代と比べると高くなっています。

【以前と比べた住み良さ 属性別】



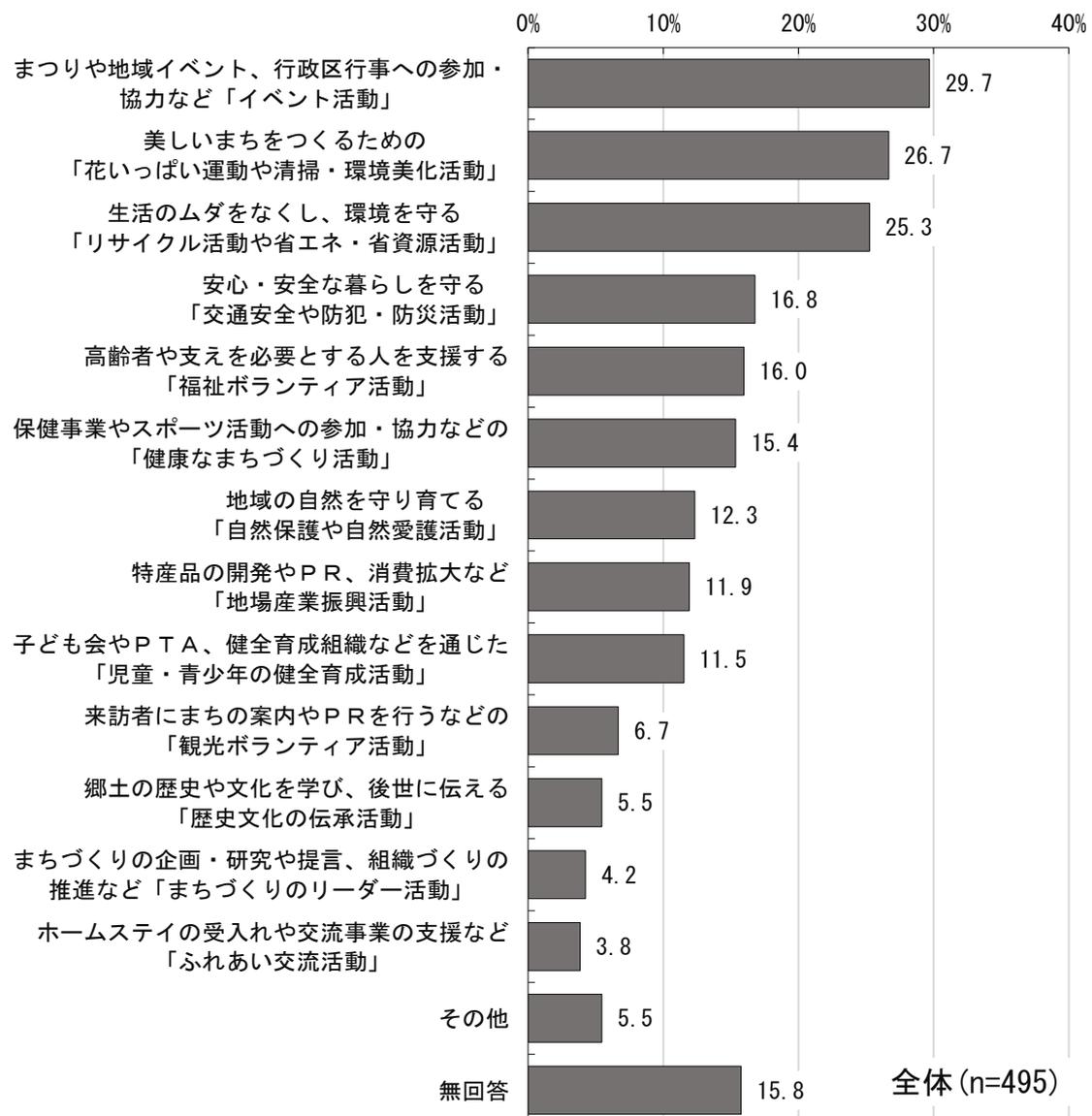
### 3 日常的な行動について

問7

あなたは、どのようなまちづくり活動に参加していますか、または参加したいですか。＜該当するものすべてに○印＞

どのようなまちづくり活動に参加していますか、または参加したいですかについては、「まつりや地域イベント、行政区行事への参加・協力など「イベント活動」」が 29.7%と最も高く、次いで、「美しいまちをつくるための「花いっぱい運動や清掃・環境美化活動」」(26.7%)、「生活のムダをなくし、環境を守る「リサイクル活動や省エネ・省資源活動」」(25.3%)、「安心・安全な暮らしを守る「交通安全や防犯・防災活動」」(16.8%)、「高齢者や支えを必要とする人を支援する「福祉ボランティア活動」」(16.0%)、「保健事業やスポーツ活動への参加・協力などの「健康なまちづくり活動」」(15.4%)、「地域の自然を守り育てる「自然保護や自然愛護活動」」(12.3%)、「特産品の開発やPR、消費拡大など「地場産業振興活動」」(11.9%)、「子ども会やPTA、健全育成組織などを通じた「児童・青少年の健全育成活動」」(11.5%)などの順となっています。

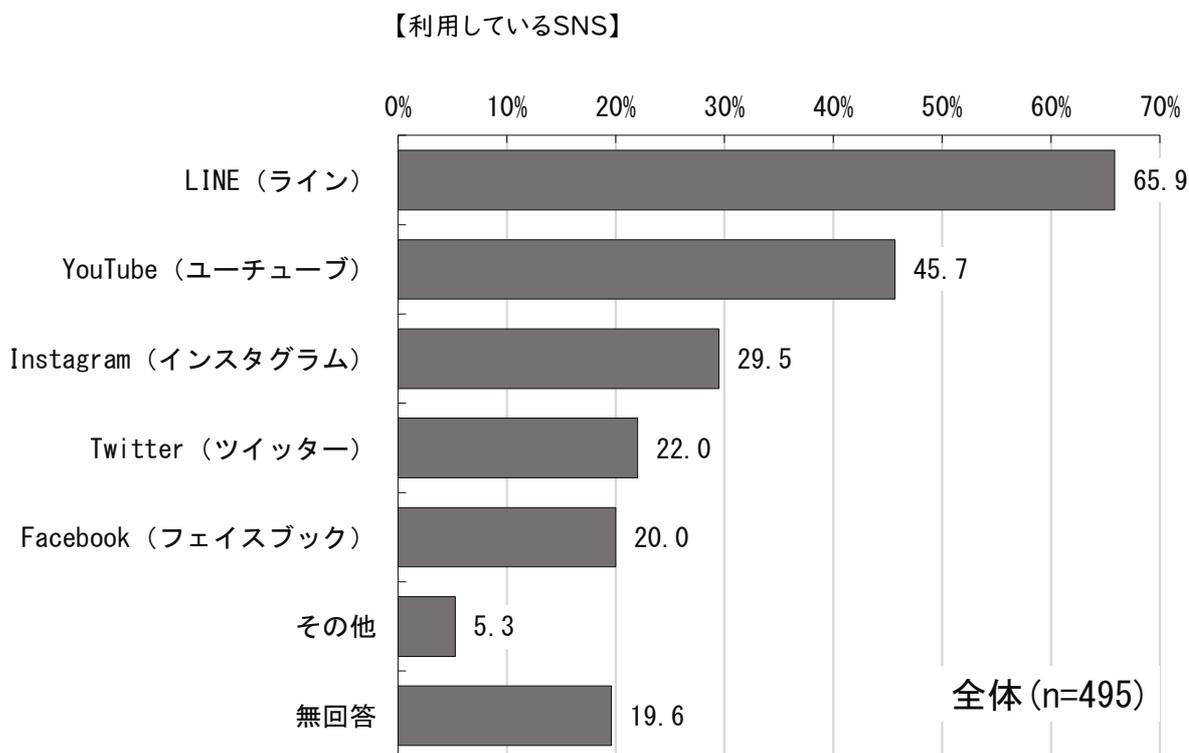
【参加している、参加したい活動】



**問8**

あなたは、主にどの SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などを利用していますか。<該当するものすべてに○印>

主にどの SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などを利用していますかについては、「LINE(ライン)」が65.9%と最も高く、次いで、「YouTube(ユーチューブ)」(45.7%)、「Instagram(インスタグラム)」(29.5%)、「Twitter(ツイッター)」(22.0%)、「Facebook(フェイスブック)」(20.0%)などの順となっています。

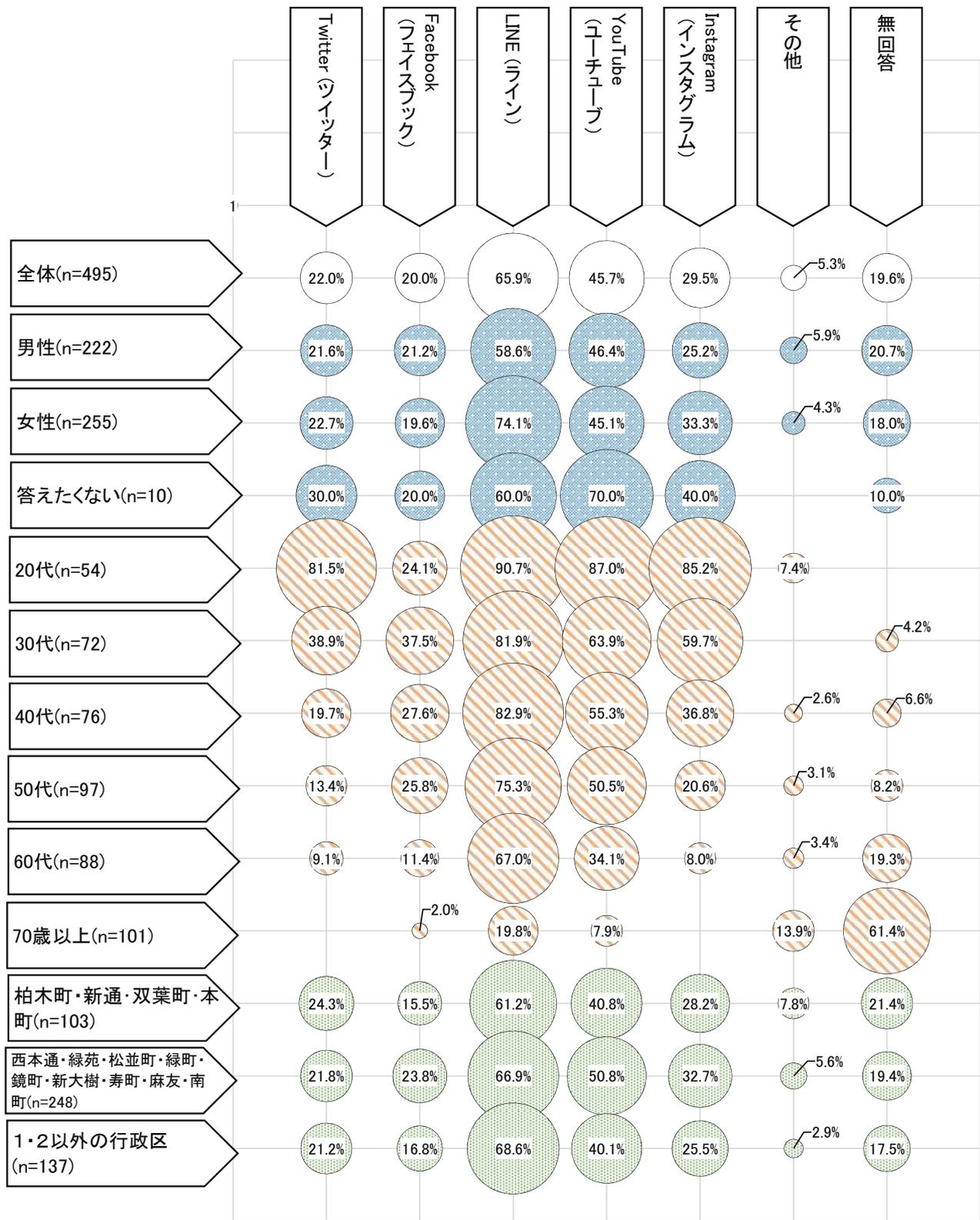


[属性別]

性別でみると、「LINE(ライン)」は女性の割合が高くなっています。

年代別でみると、「Twitter(ツイッター)」、「LINE(ライン)」、「Youtube(ユーチューブ)」、「Instagram(インスタグラム)」は20代の割合が高くなっています。

【利用しているSNS 属性別】



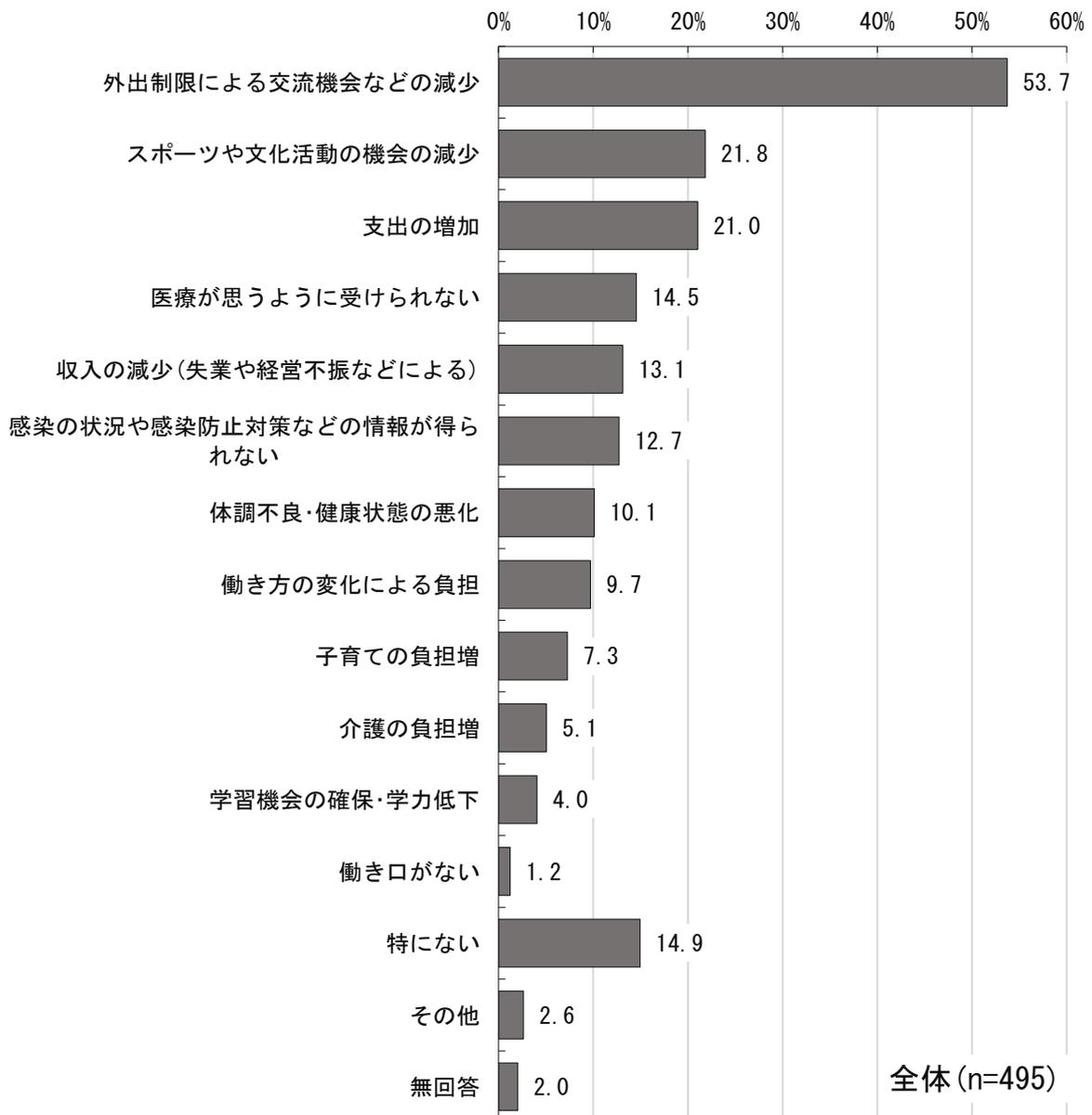
#### 4 新型コロナウイルス感染症について

問9

あなたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、困っていること・心配と感じていることは何ですか。〈3つまで○印〉

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、困っていること・心配と感じていることについては、「外出制限による交流機会などの減少」が53.7%と最も高く、次いで、「スポーツや文化活動の機会の減少」(21.8%)、「支出の増加」(21.0%)、「特にない」(14.9%)、「医療が思うように受けられない」(14.5%)、「収入の減少(失業や経営不振などによる)」(13.1%)、「感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない」(12.7%)、「体調不良・健康状態の悪化」(10.1%)などの順となっています。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

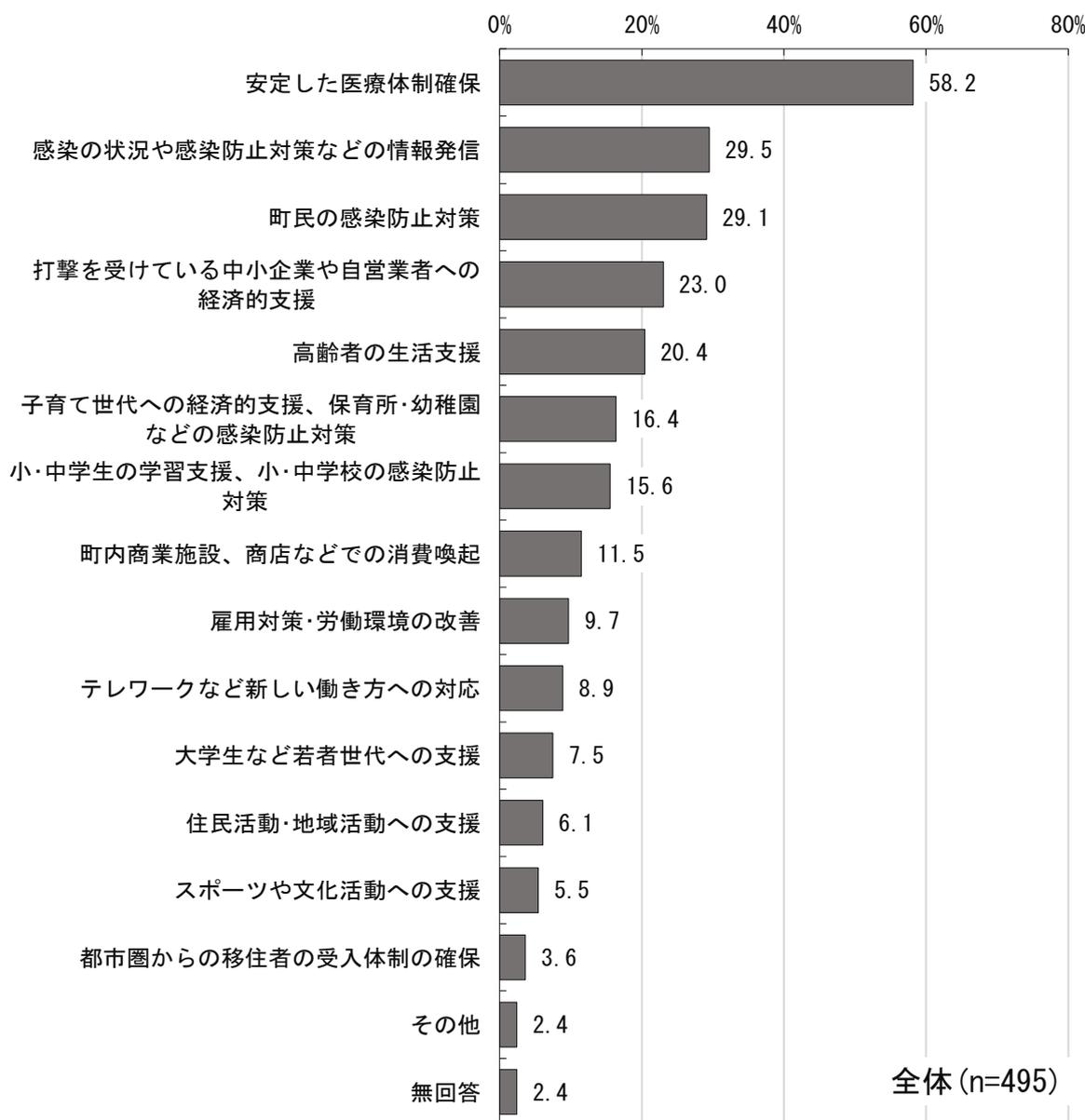


問 10

あなたが、新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいと考える施策は何ですか。〈3つまで○印〉

新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいと考える施策は、「安定した医療体制確保」が58.2%と最も高く、次いで、「感染の状況や感染防止対策などの情報発信」(29.5%)、「町民の感染防止対策」(29.1%)、「打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援」(23.0%)、「高齢者の生活支援」(20.4%)などの順となっています。

【重点的に実施してほしいと考える施策】

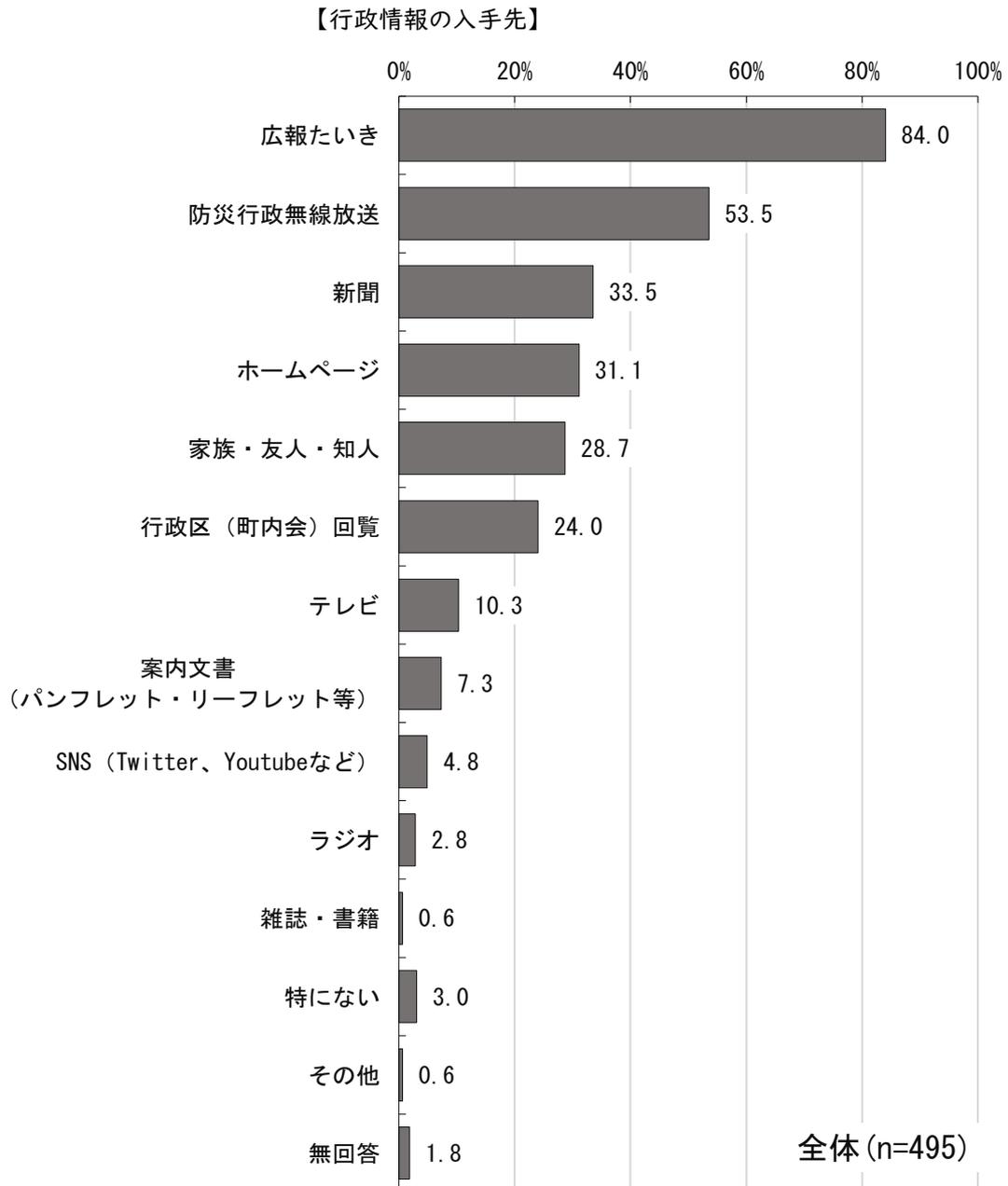


## 5 町のデジタル化の推進について

問 11

あなたは、大樹町の行政情報をどのように入手していますか。  
<該当するものすべてに○印>

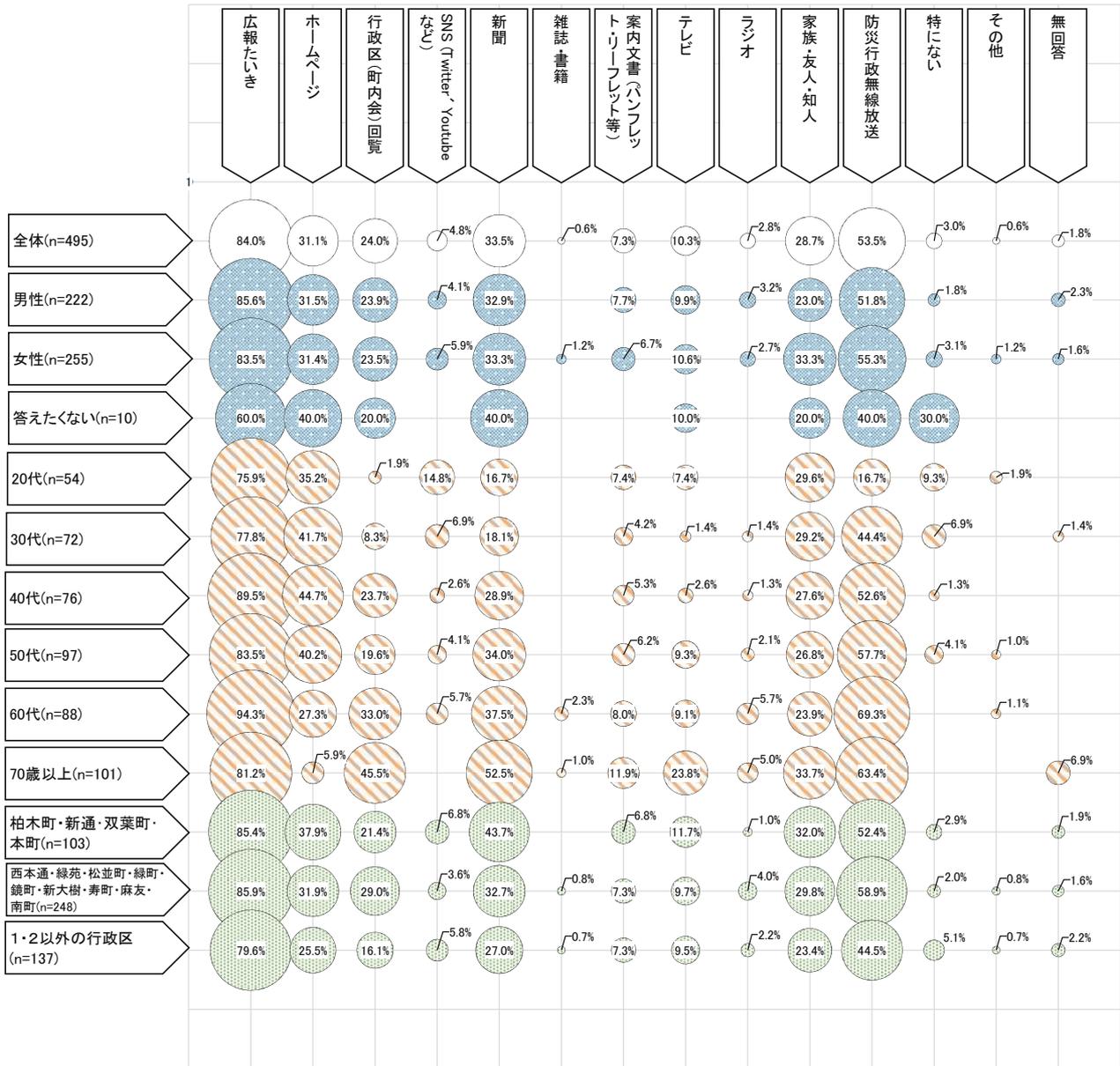
大樹町の行政情報をどのように入手していますかについては、「広報たいき」が 84.0%と最も高く、次いで、「防災行政無線放送」(53.5%)、「新聞」(33.5%)、「ホームページ」(31.1%)、「家族・友人・知人」(28.7%)、「行政区(町内会)回覧」(24.0%)などの順となっています。



[属性別]

年代別で見ると、「広報たいき」は60代の割合が高くなっています。また、「防災行政無線放送」は、概ね年代が高くなるにつれて割合が高くなっています。

【行政情報の入手先 属性別】

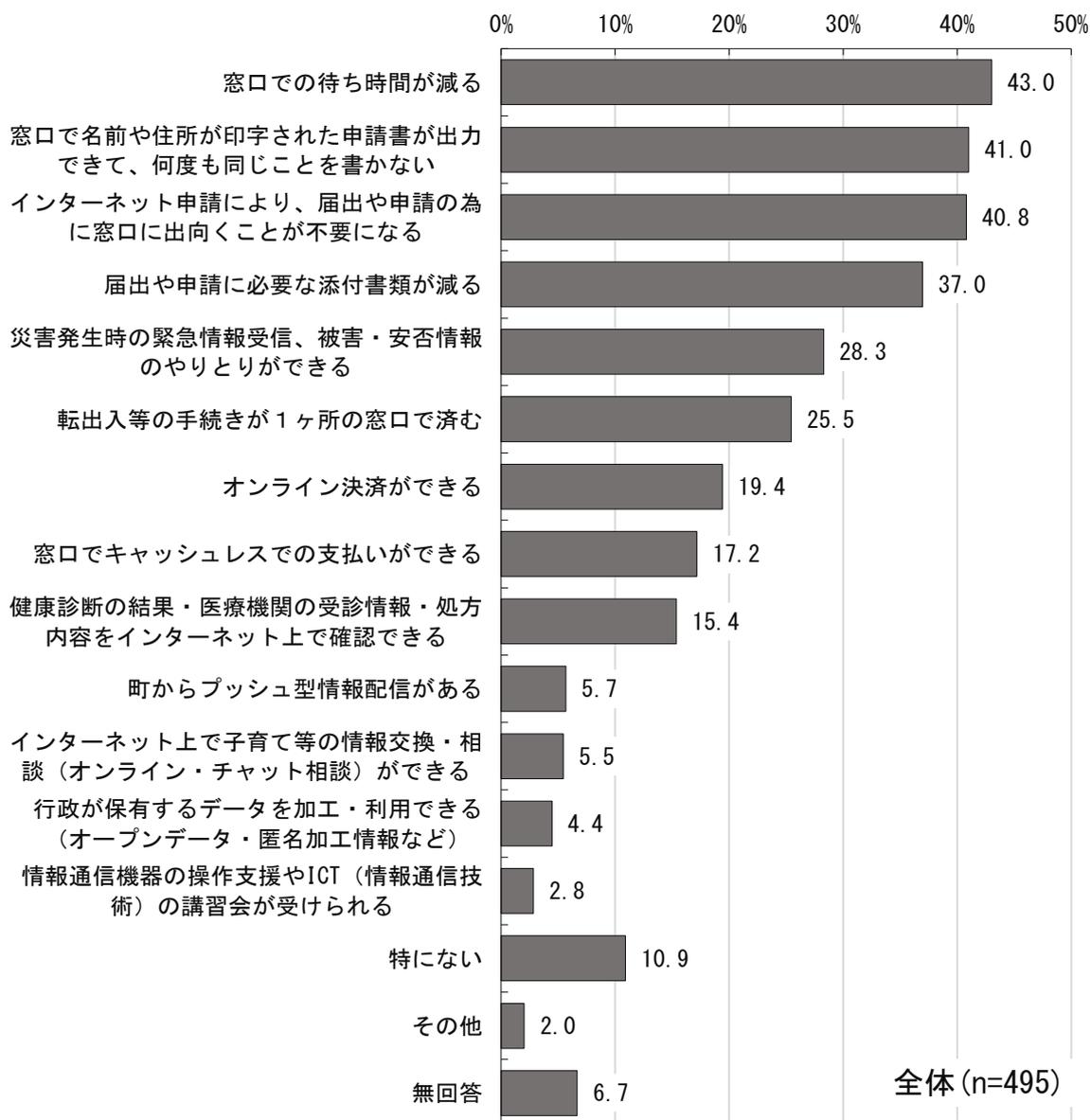


問 12

あなたは、行政手続きや行政サービスがデジタル化されることで、どのように良くなることを期待しますか。〈該当するものすべてに○印〉

行政手続きや行政サービスがデジタル化されることで、どのように良くなることを期待しますかについては、「窓口での待ち時間が減る」が 43.0%と最も高く、次いで、「窓口で名前や住所が印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かない」(41.0%)、「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」(40.8%)、「届出や申請に必要な添付書類が減る」(37.0%)、「災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情報のやりとりができる」(28.3%)、「転出入等の手続きが1ヶ所の窓口で済む」(25.5%)などの順となっています。

【デジタル化で良くなること】

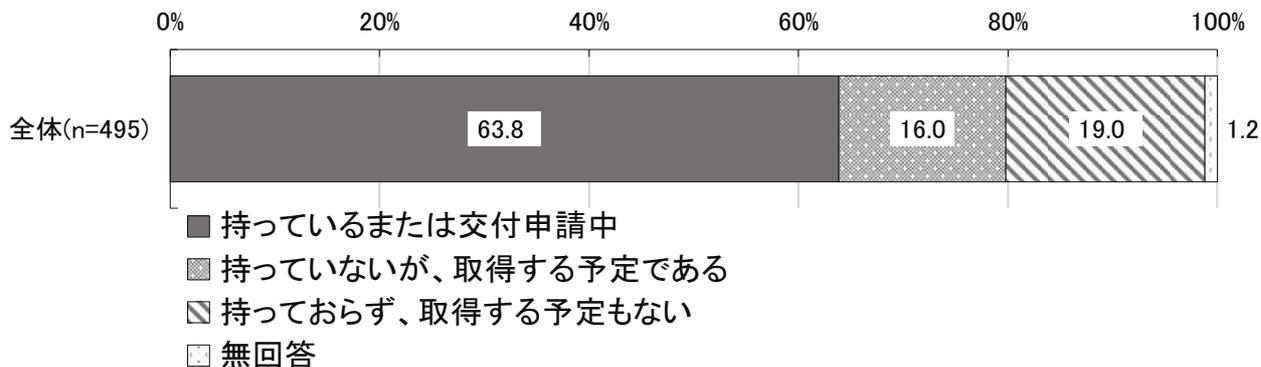


問 13

あなたは、マイナンバーカードを持っていますか。または交付申請しましたか。  
 <1つに○印>

マイナンバーカードを持っていますか。または交付申請しましたかについては、「持っているまたは交付申請中」が68.3%と最も高く、次いで、「持っておらず、取得する予定もない」(19.0%)、「持っていないが、取得する予定である」(16.0%)の順となっています。

【マイナンバーカードの保有】

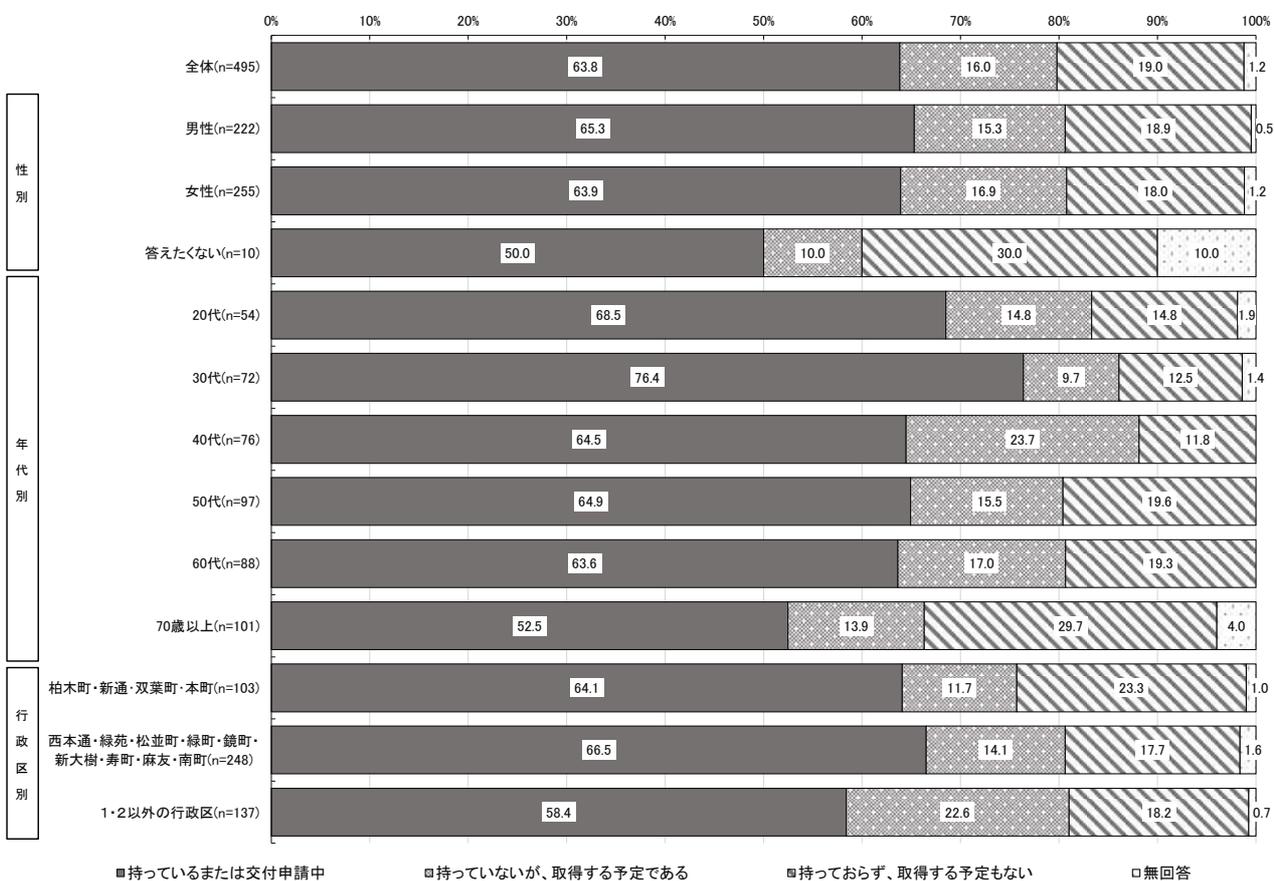


[属性別]

年代別でみると、「持っているまたは交付申請中」は、30代で高くなっており、70歳以上では半数程度となっています。

行政区別でみると、「持っているまたは交付申請中」は、「西本通・緑苑・松並町・緑町・鏡町・新大樹・寿町・麻友・南町」、「柏木町・新通・双葉町・本町」の行政区で高くなっています。

【マイナンバーカードの保有 属性別】

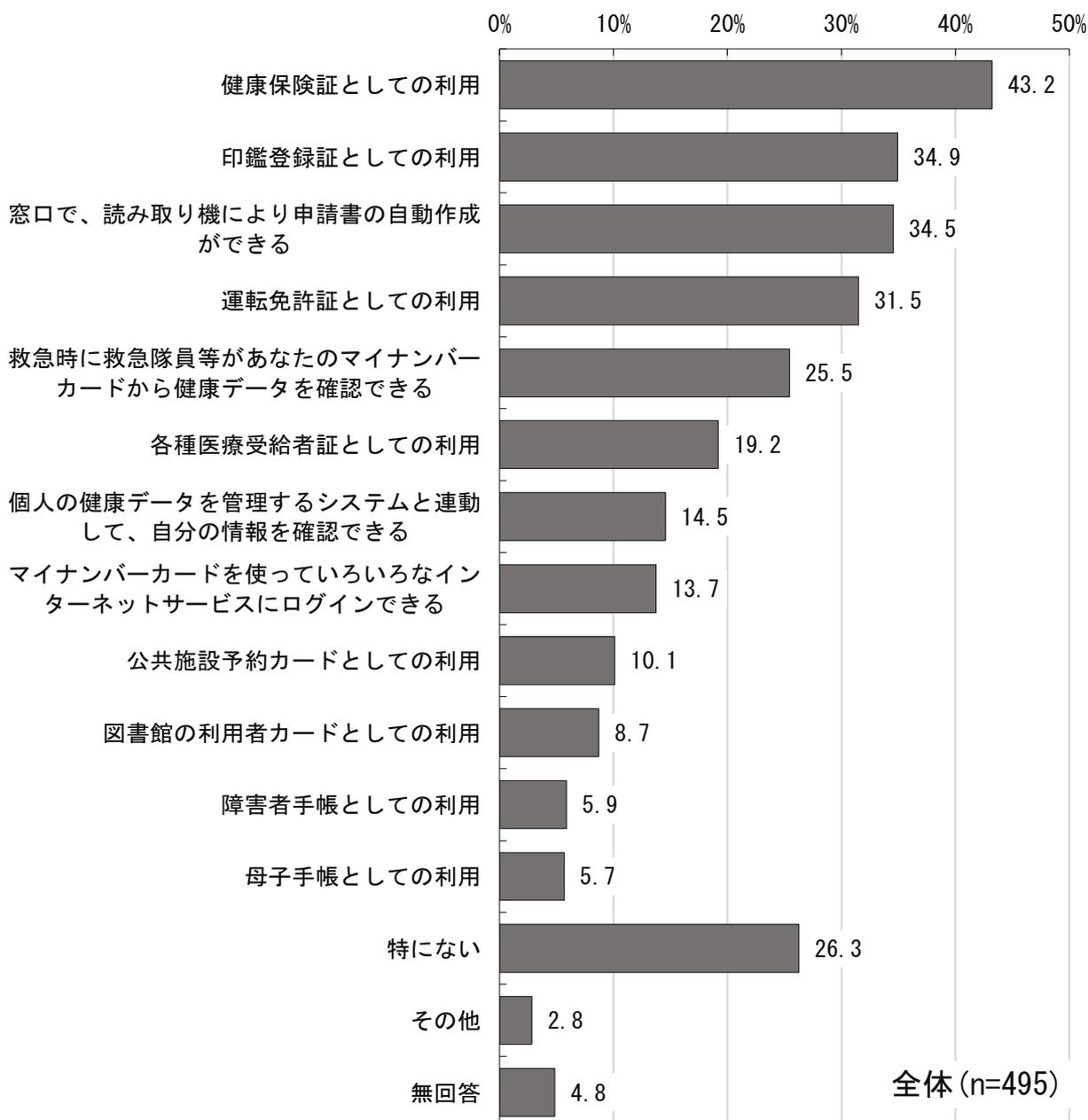


問 14

あなたは、マイナンバーカードで何ができることに期待しますか。  
 <該当するものすべてに○印>

マイナンバーカードで何ができることに期待しますかについては、「健康保険証としての利用」が43.2%と最も高く、次いで、「印鑑登録証としての利用」(34.9%)、「窓口で、読み取り機により申請書の自動作成ができる」(34.5%)、「運転免許証としての利用」(31.5%)、「特にない」(26.3%)、「救急時に救急隊員等があなたのマイナンバーカードから健康データを確認できる」(25.5%)、「各種医療受給者証としての利用」(19.2%)、「個人の健康データを管理するシステムと連動して、自分の情報を確認できる」(14.5%)などの順となっています。

【マイナンバーカードへの期待】



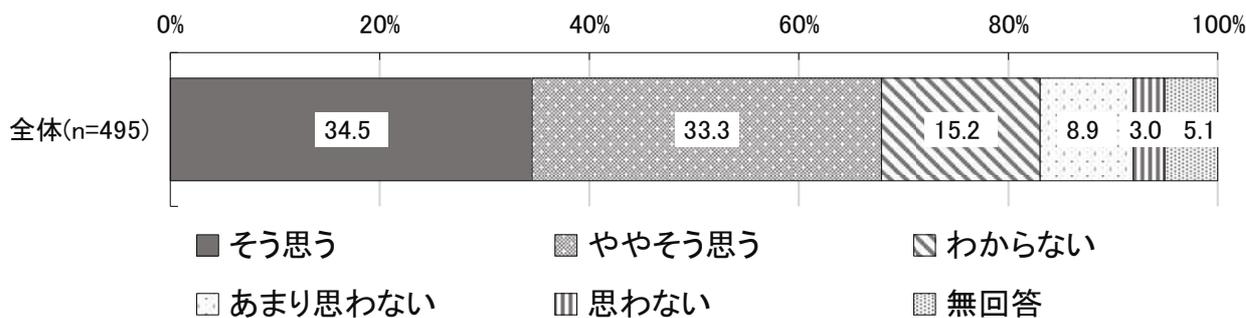
問 15

あなたは、デジタル化が進展することによって生じる影響について、どのようにお考えですか。〈それぞれ1つ〇印〉

①必要な情報が入手しやすくなる

全体では、「そう思う」(34.5%)と「ややそう思う」(33.3%)を合わせた『そう思う』は 67.8%となっています。一方、「あまり思わない」(8.9%)と「思わない」(3.0%)を合わせた『思わない』は 11.9%となっています。

【必要な情報が入手しやすくなる】

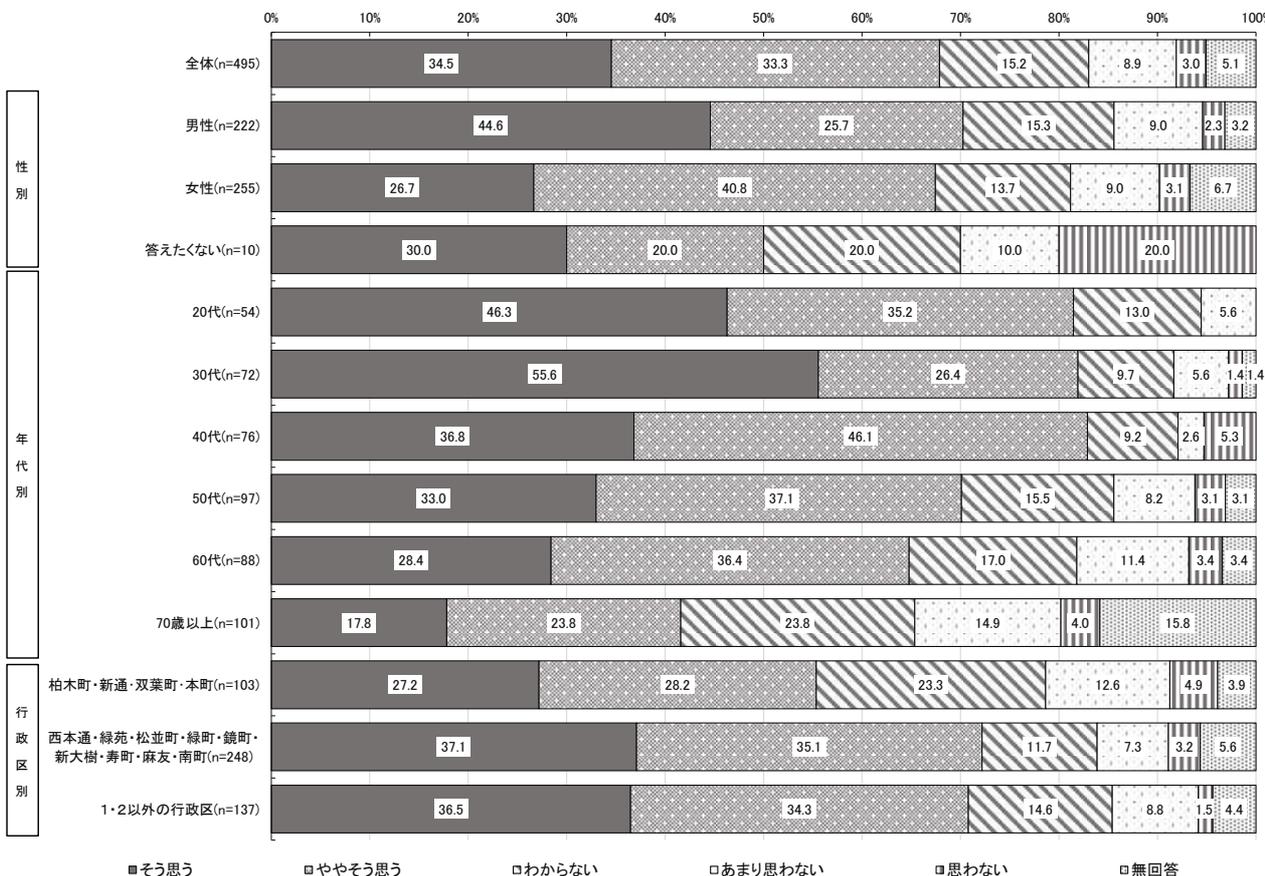


[属性別]

性別でみると、男性のほうが「そう思う」の割合が女性より高くなっています。

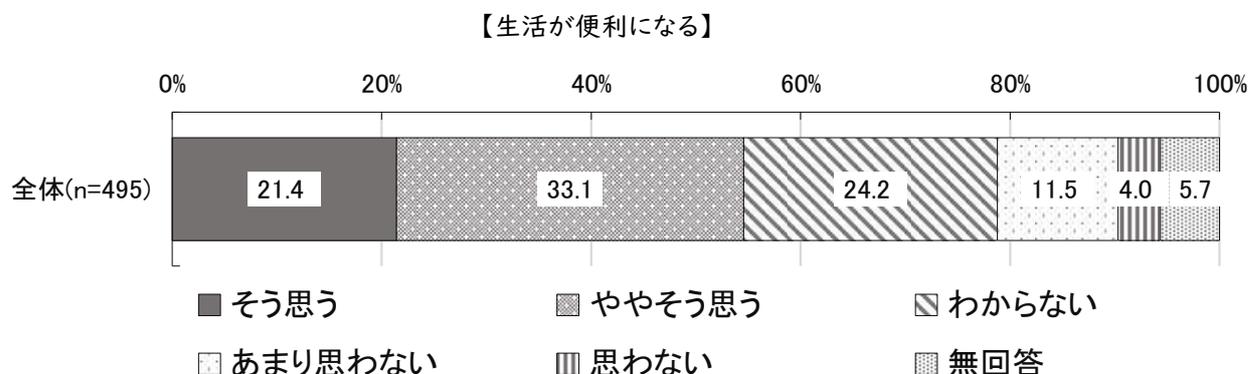
年代別でみると、20代、30代で「そう思う」の割合が高く、70歳以上では『そう思う』の割合が他の年代と比べると低くなっています。

【必要な情報が入手しやすくなる 属性別】



## ②生活が便利になる

全体では、「そう思う」(21.4%)と「ややそう思う」(33.1%)を合わせた『そう思う』は 54.5%となっています。一方、「あまり思わない」(11.5%)と「思わない」(4.0%)を合わせた『思わない』は 15.5%となっています。

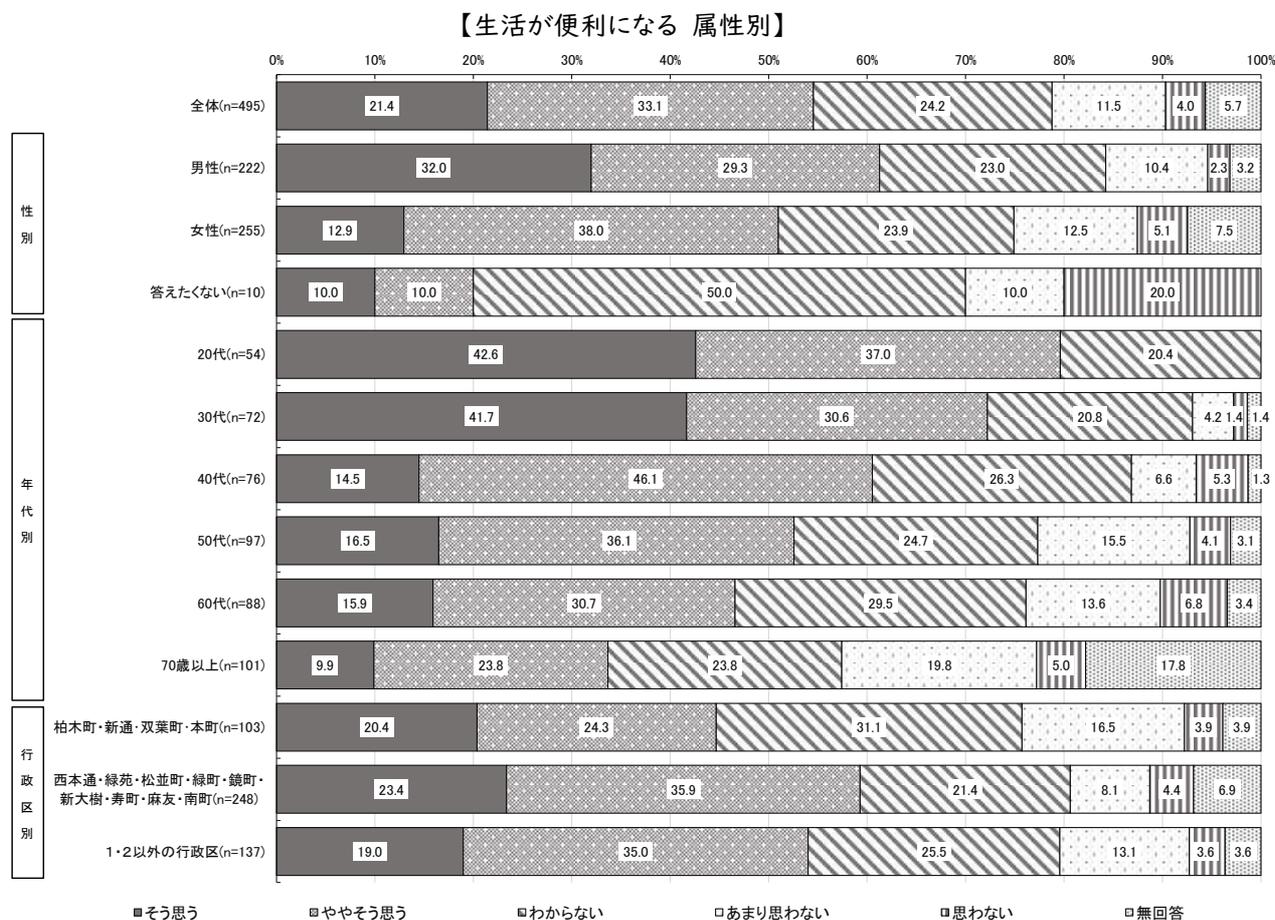


### [属性別]

性別でみると、男性のほうが「そう思う」の割合が女性より高くなっています。

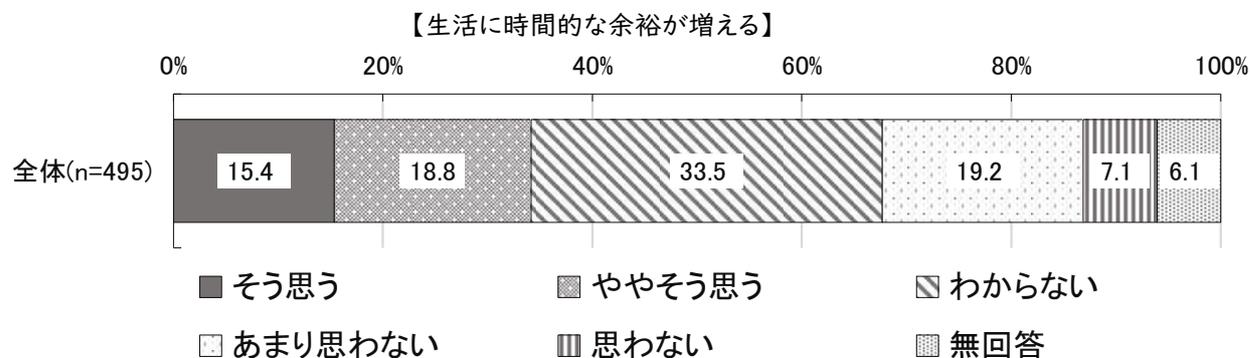
年代別でみると、年代が高くなるにつれて、「そう思う」の割合が低くなっています。

居住小学校区別でみると、「西本通・緑苑・松並町・緑町・鏡町・新大樹・寿町・麻友・南町」では、『そう思う』の割合が他の行政区と比べると高くなっています。



### ③生活に時間的な余裕が増える

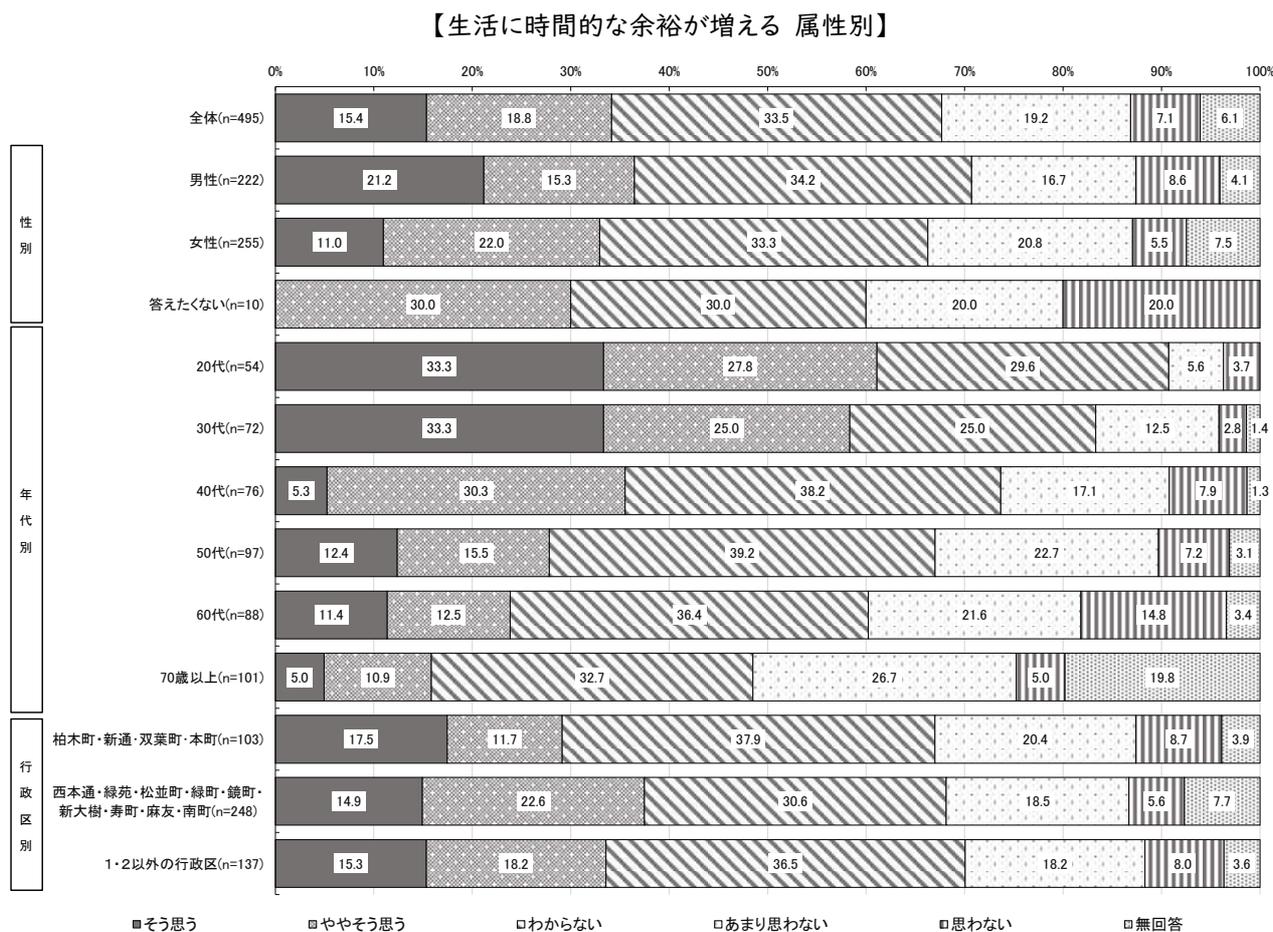
全体では、「そう思う」(15.4%)と「ややそう思う」(18.8%)を合わせた『そう思う』は 34.2%となっています。一方、「あまり思わない」(19.2%)と「思わない」(7.1%)を合わせた『思わない』は 26.3%となっています。



#### [属性別]

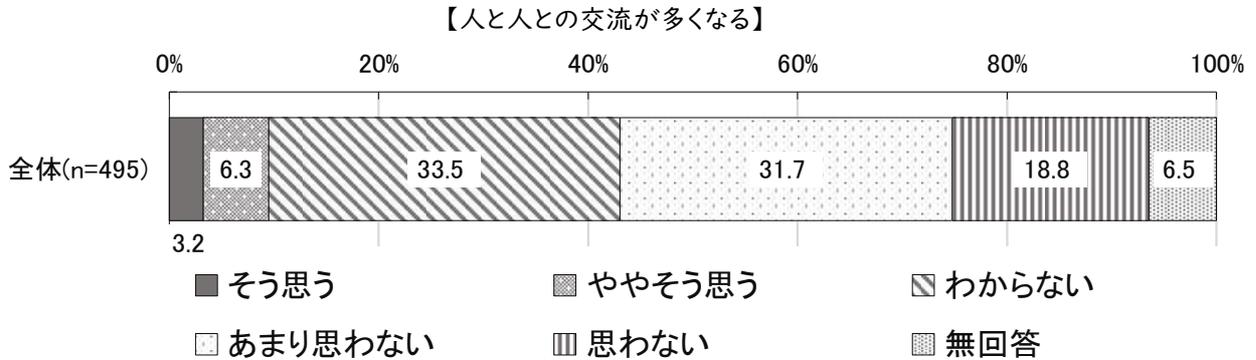
性別でみると、男性のほうが「そう思う」の割合が女性より高くなっています。

年代別でみると、概ね年代が高くなるにつれて、『そう思う』の割合が低くなっています。



#### ④人と人との交流が多くなる

全体では、「そう思う」(3.2%)と「ややそう思う」(6.3%)を合わせた『そう思う』は 9.5%となっています。一方、「あまり思わない」(31.7%)と「思わない」(18.8%)を合わせた『思わない』は 50.5%となっています。

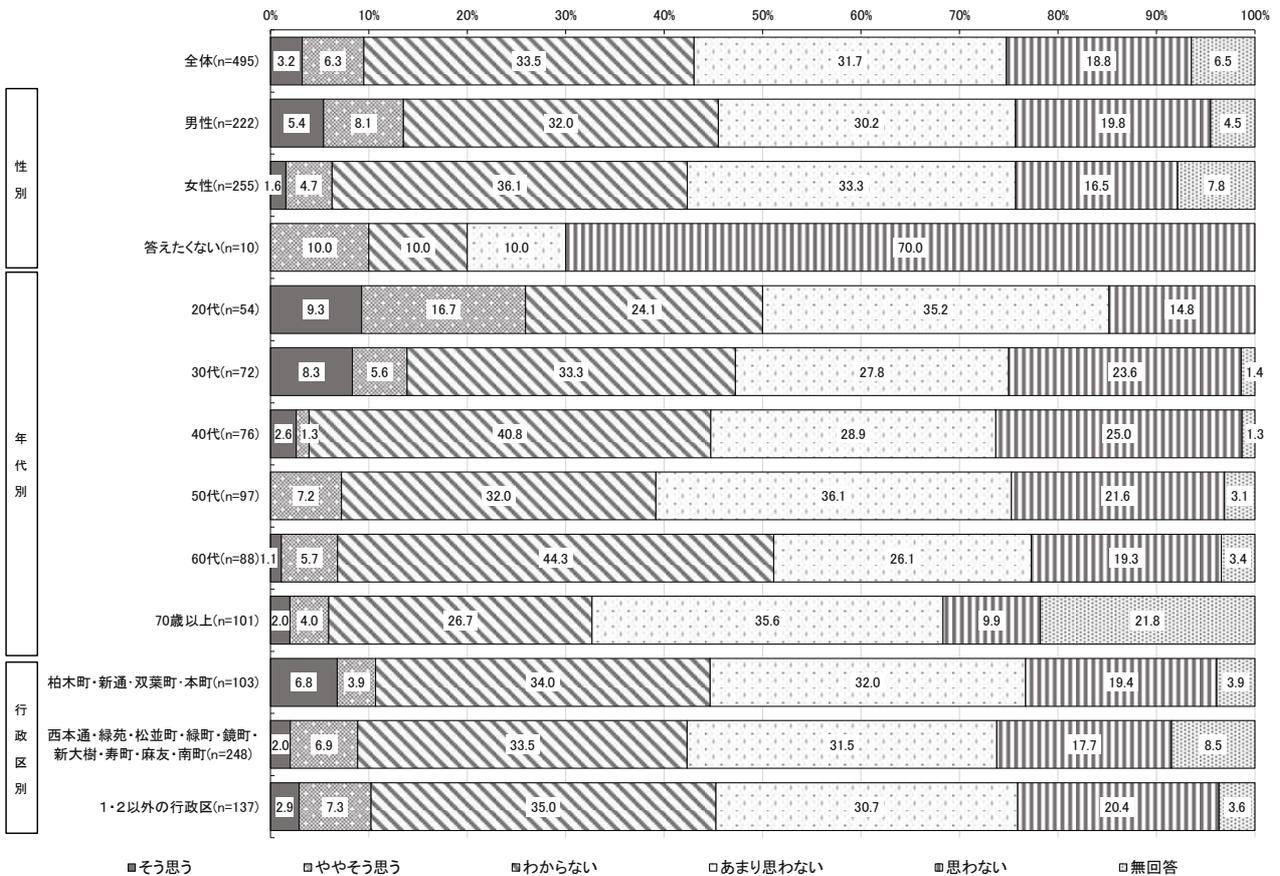


#### [属性別]

性別でみると、男性のほうが『そう思う』の割合が女性より高くなっています。

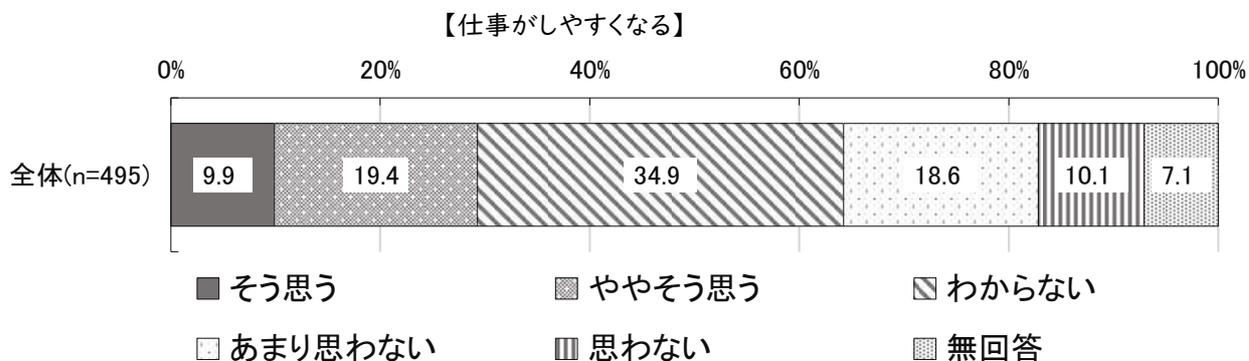
年代別でみると、概ね年代が高くなるにつれて、『そう思う』の割合が低くなっています。

【人と人との交流が多くなる 属性別】



### ⑤仕事がしやすくなる

全体では、「そう思う」(9.9%)と「ややそう思う」(19.4%)を合わせた『そう思う』は 29.3%となっています。一方、「あまり思わない」(18.6%)と「思わない」(10.1%)を合わせた『思わない』は 28.7%となっています。

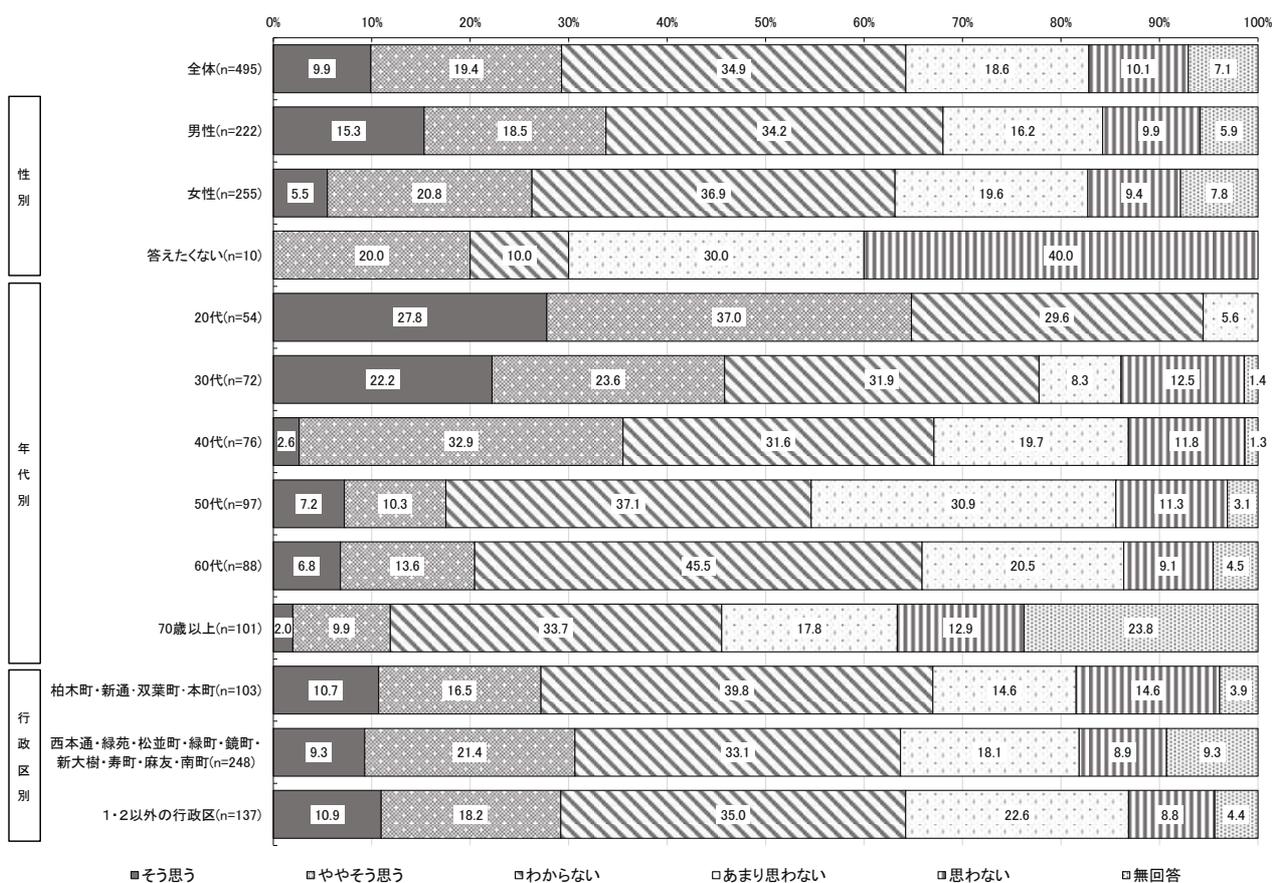


### [属性別]

性別でみると、男性のほうが『そう思う』の割合が女性より高くなっています。

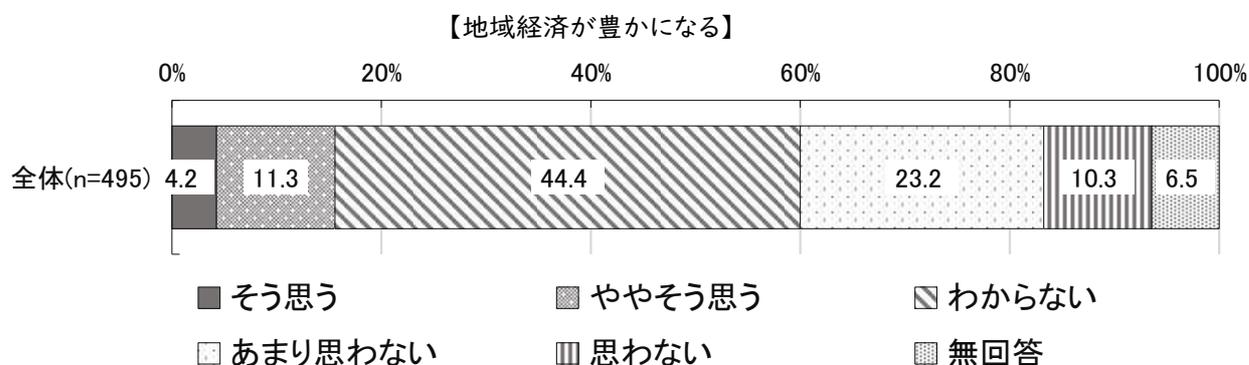
年代別でみると、概ね年代が高くなるにつれて、『そう思う』の割合が低くなっています。

【仕事がしやすくなる 属性別】



### ⑥地域経済が豊かになる

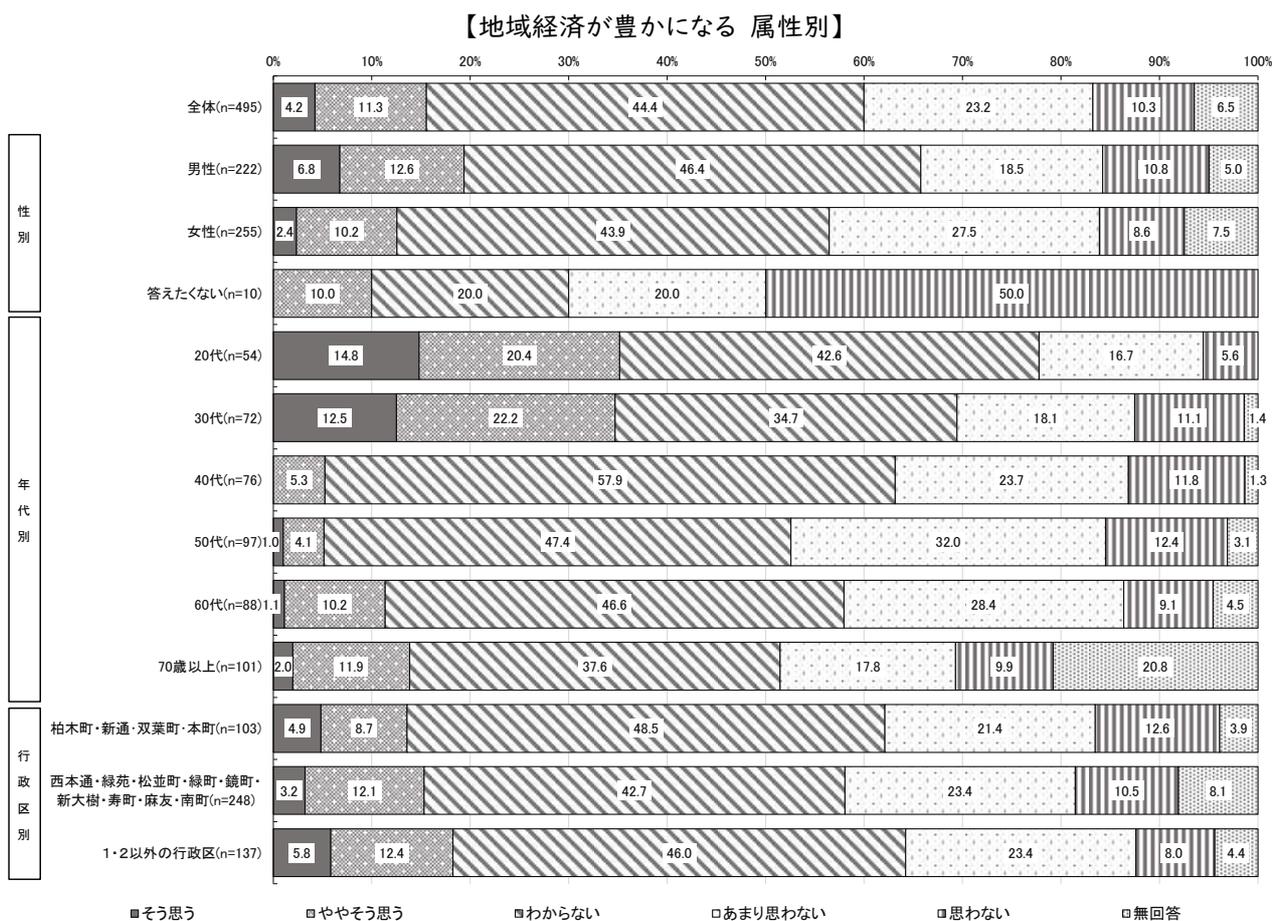
全体では、「そう思う」(4.2%)と「ややそう思う」(11.3%)を合わせた『そう思う』は 15.5%となっています。一方、「あまり思わない」(23.2%)と「思わない」(10.3%)を合わせた『思わない』は 33.5%となっています。



### [属性別]

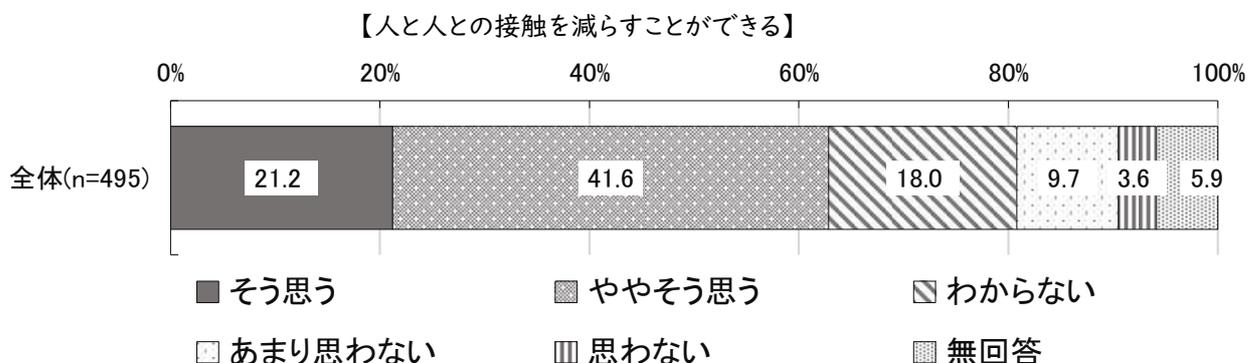
性別でみると、男性のほうが「そう思う」の割合が女性より高くなっています。

年代別でみると、20代、30代では、「そう思う」の割合が他の年代と比べると高くなっています。



### ⑦人と人との接触を減らすことができる

全体では、「そう思う」(21.2%)と「ややそう思う」(41.6%)を合わせた『そう思う』は 62.8%となっています。一方、「あまり思わない」(9.7%)と「思わない」(3.6%)を合わせた『思わない』は 13.3%となっています。



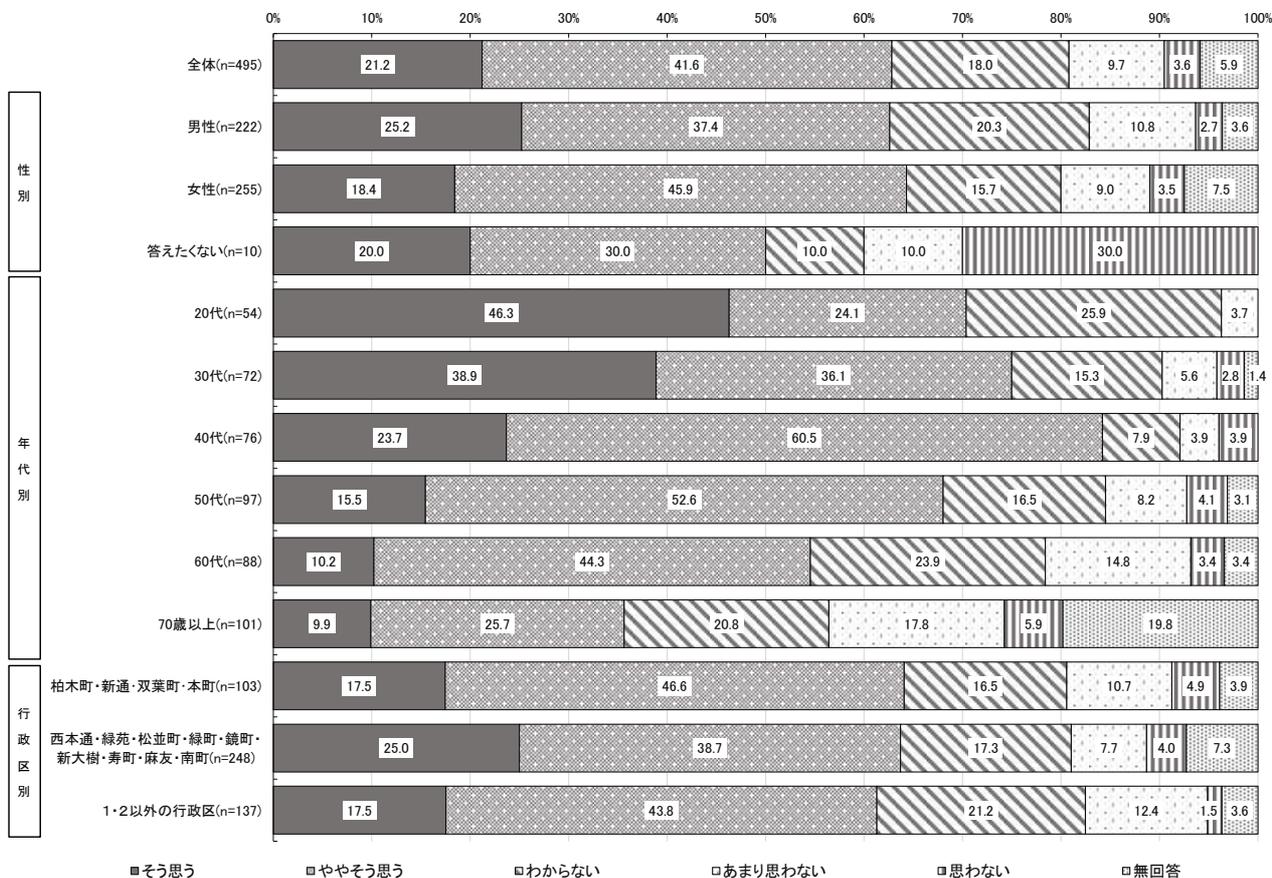
### [属性別]

性別でみると、男性のほうが「そう思う」の割合が女性より高くなっています。

年代別でみると、概ね年代が高くなるにつれて、「そう思う」の割合が低くなっています。

行政区別でみると、「西本通・緑苑・松並町・緑町・鏡町・新大樹・寿町・麻友・南町」では、「そう思う」の割合が他の行政区と比べると高くなっています。

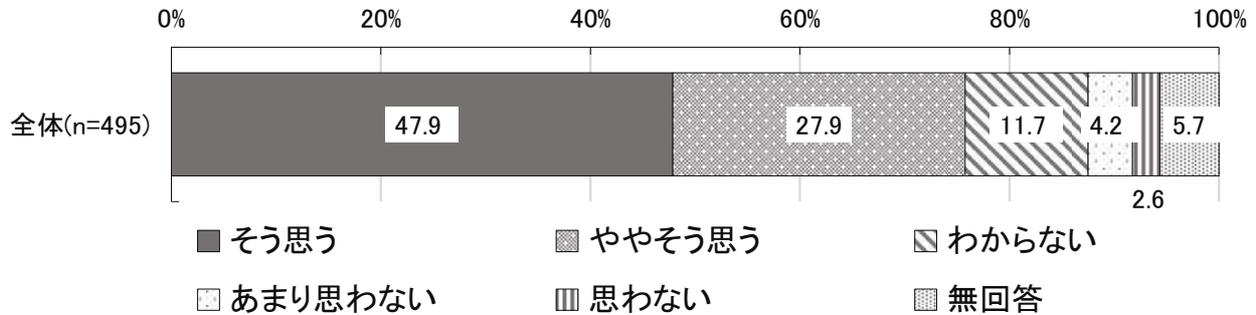
【人と人との接触を減らすことができる 属性別】



### ⑧情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる

全体では、「そう思う」(47.9%)と「どちらかというと思う」(27.9%)を合わせた『そう思う』は75.8%となっています。一方、「あまり思わない」(4.2%)と「思わない」(2.6%)を合わせた『思わない』は6.8%となっています。

【情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる】



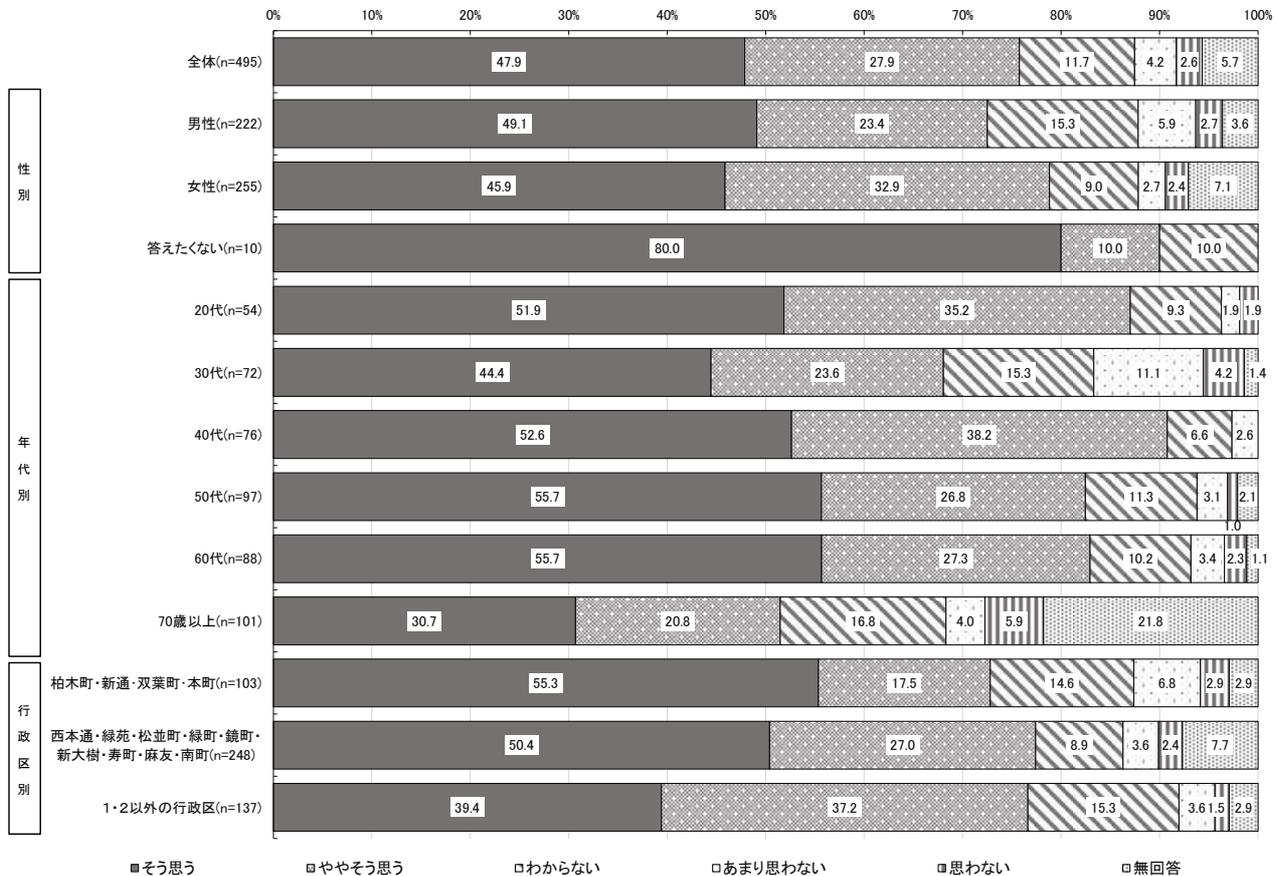
### [属性別]

性別でみると、女性のほうが『そう思う』の割合が男性より高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では、『そう思う』の割合が他の年代と比べると低くなっています。

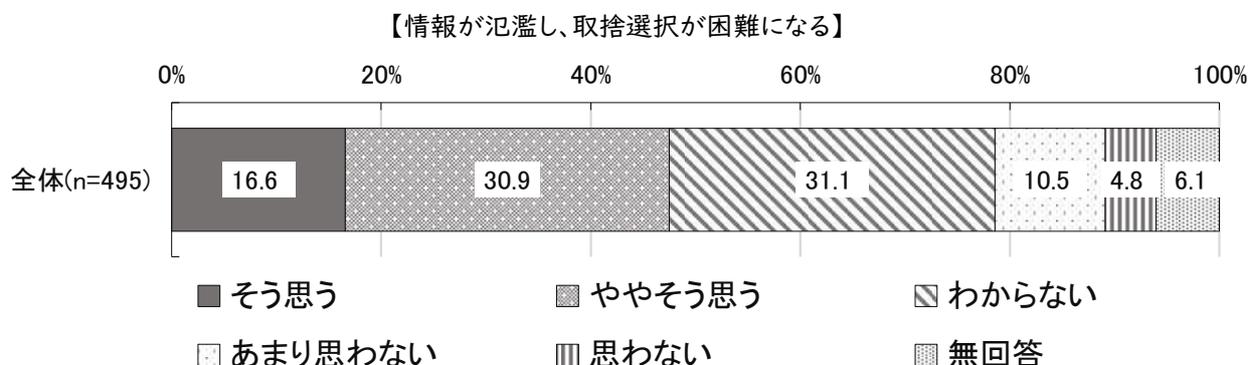
行政区別でみると、「1・2以外の行政区」では、「そう思う」の割合が他の行政区と比べると低くなっています。

【情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる 属性別】



### ⑨情報が氾濫し、取捨選択が困難になる

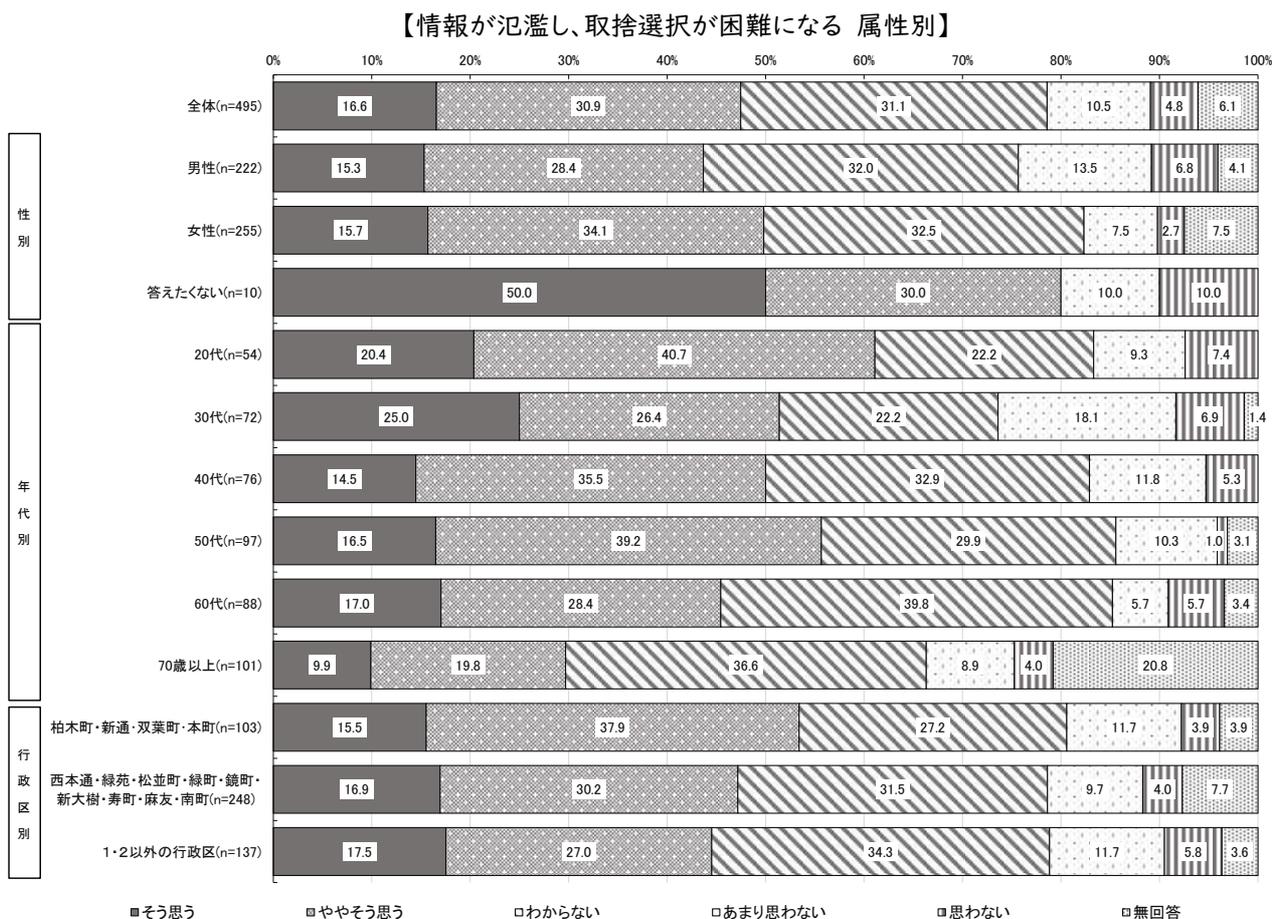
全体では、「そう思う」(16.6%)と「どちらかというと思う」(30.9%)を合わせた『そう思う』は47.5%となっています。一方、「あまり思わない」(10.5%)と「思わない」(4.8%)を合わせた『思わない』は15.3%となっています。



### [属性別]

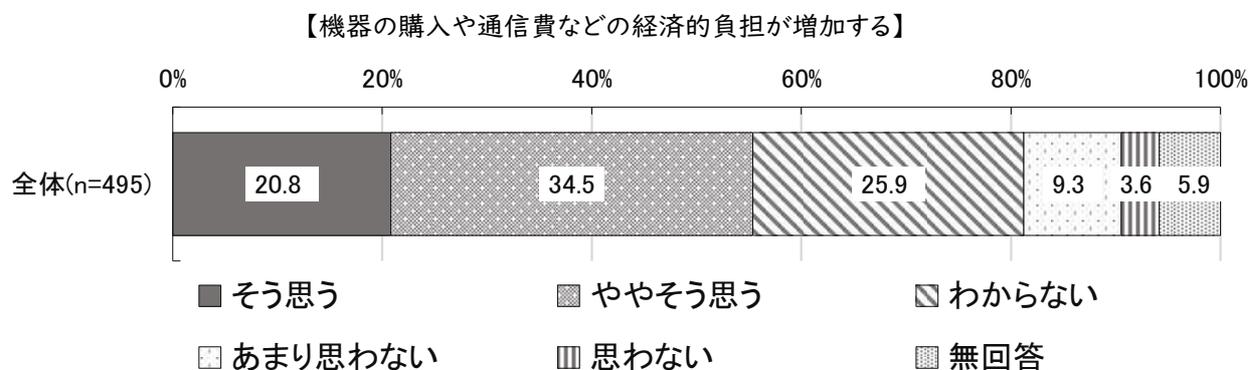
性別でみると、女性のほうが『そう思う』の割合が男性より高くなっています。

年代別でみると、20代では、『そう思う』の割合が他の年代と比べると高くなっています。



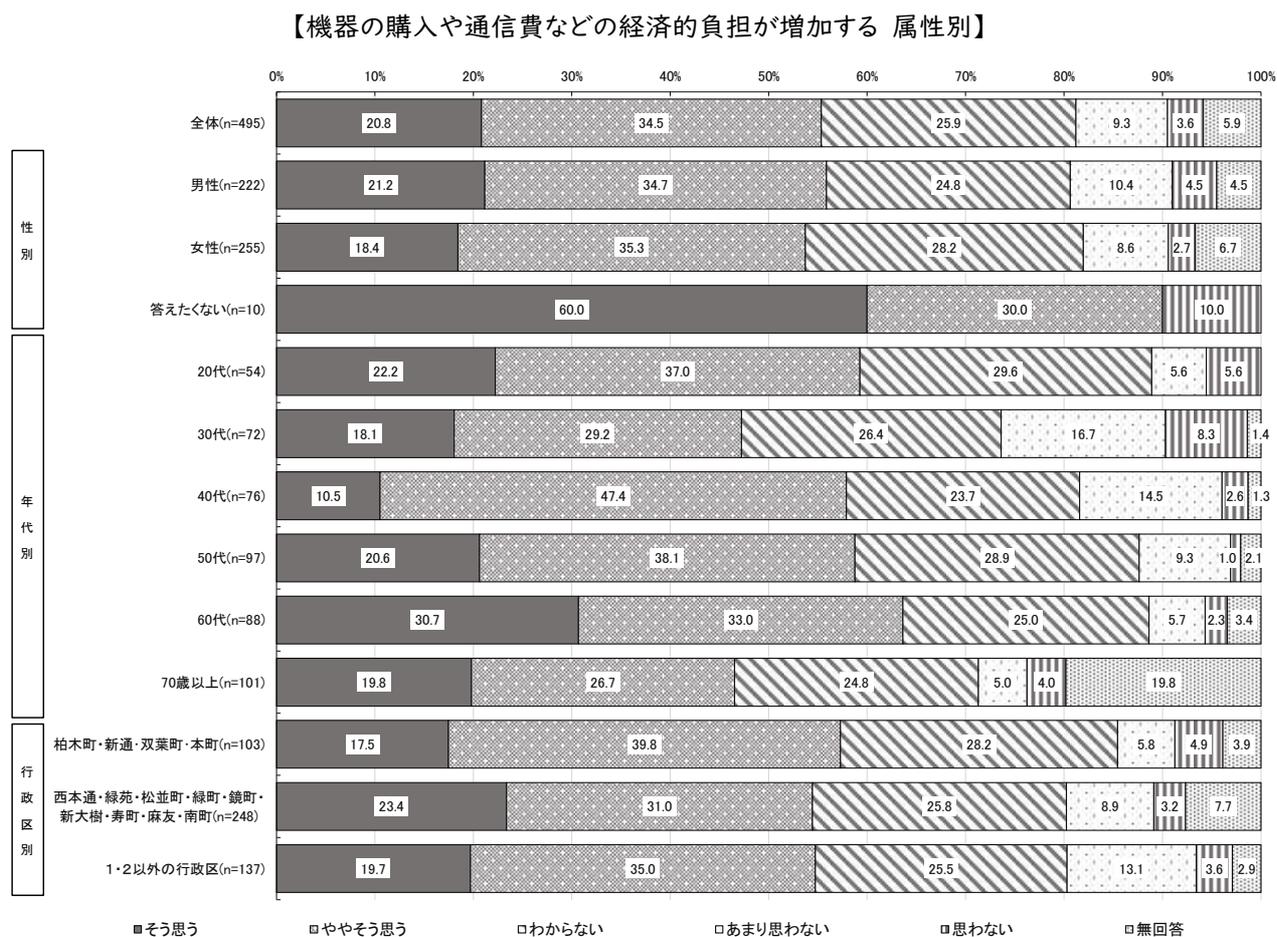
### ⑩機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する

全体では、「そう思う」(20.8%)と「ややそう思う」(34.5%)を合わせた『そう思う』は 55.3%となっています。一方、「あまり思わない」(9.3%)と「思わない」(3.6%)を合わせた『思わない』は 12.9%となっています。



### [属性別]

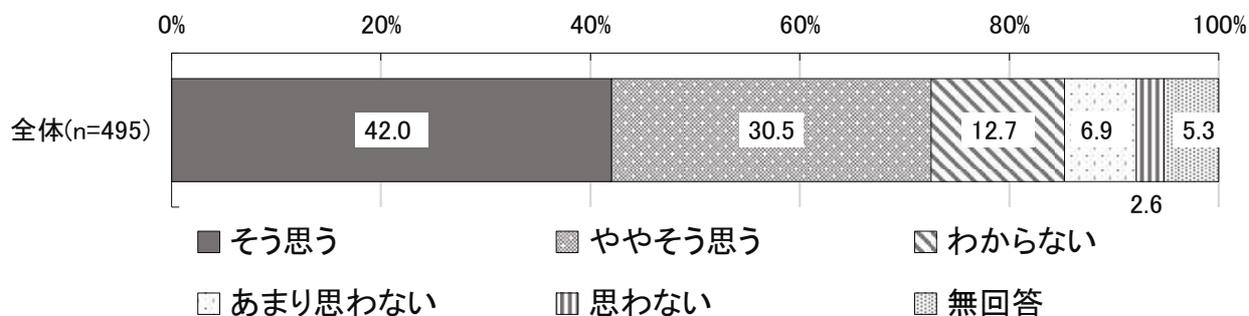
年代別でみると、70歳以上では、『そう思う』の割合が他の年代と比べると低くなっています。



### ①個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある

全体では、「そう思う」(42.0%)と「ややそう思う」(30.5%)を合わせた『そう思う』は 72.5%となっています。一方、「あまり思わない」(6.9)と「思わない」(2.6%)を合わせた『思わない』は 9.5%となっています。

【個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある】

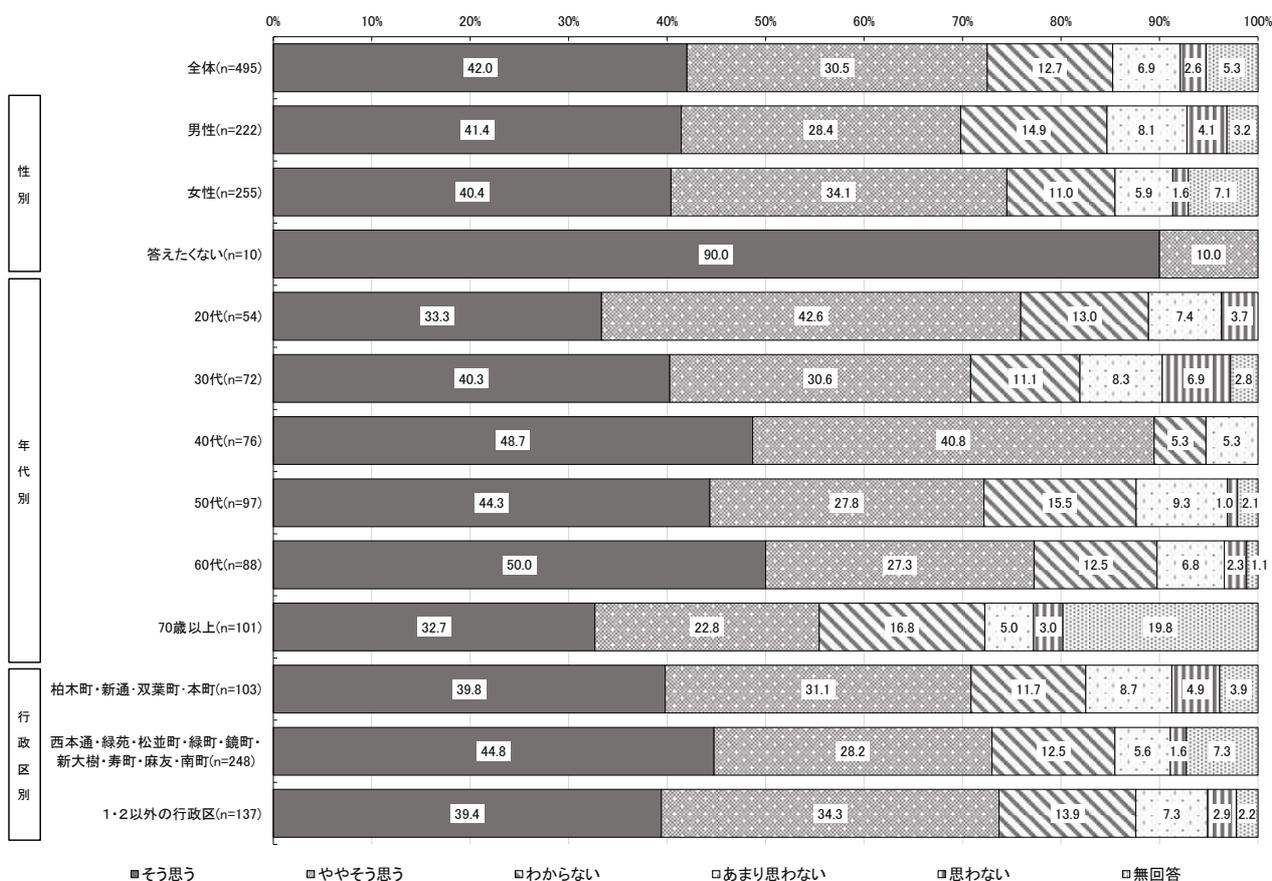


### [属性別]

性別でみると、女性のほうが『そう思う』の割合が男性より高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では、『そう思う』の割合が他の年代と比べると低くなっています。

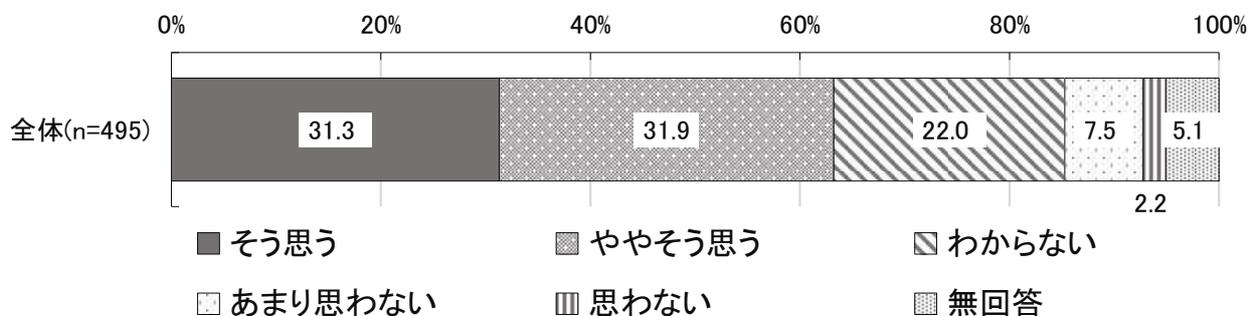
【個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある 属性別】



## ⑫コンピューターの事故などにより、社会的混乱が生じる

全体では、「そう思う」(31.3%)と「ややそう思う」(31.9%)を合わせた『そう思う』は 63.2%となっています。一方、「あまり思わない」(7.5%)と「思わない」(2.2%)を合わせた『思わない』は 9.7%となっています。

【コンピューターの事故などにより、社会的混乱が生じる】

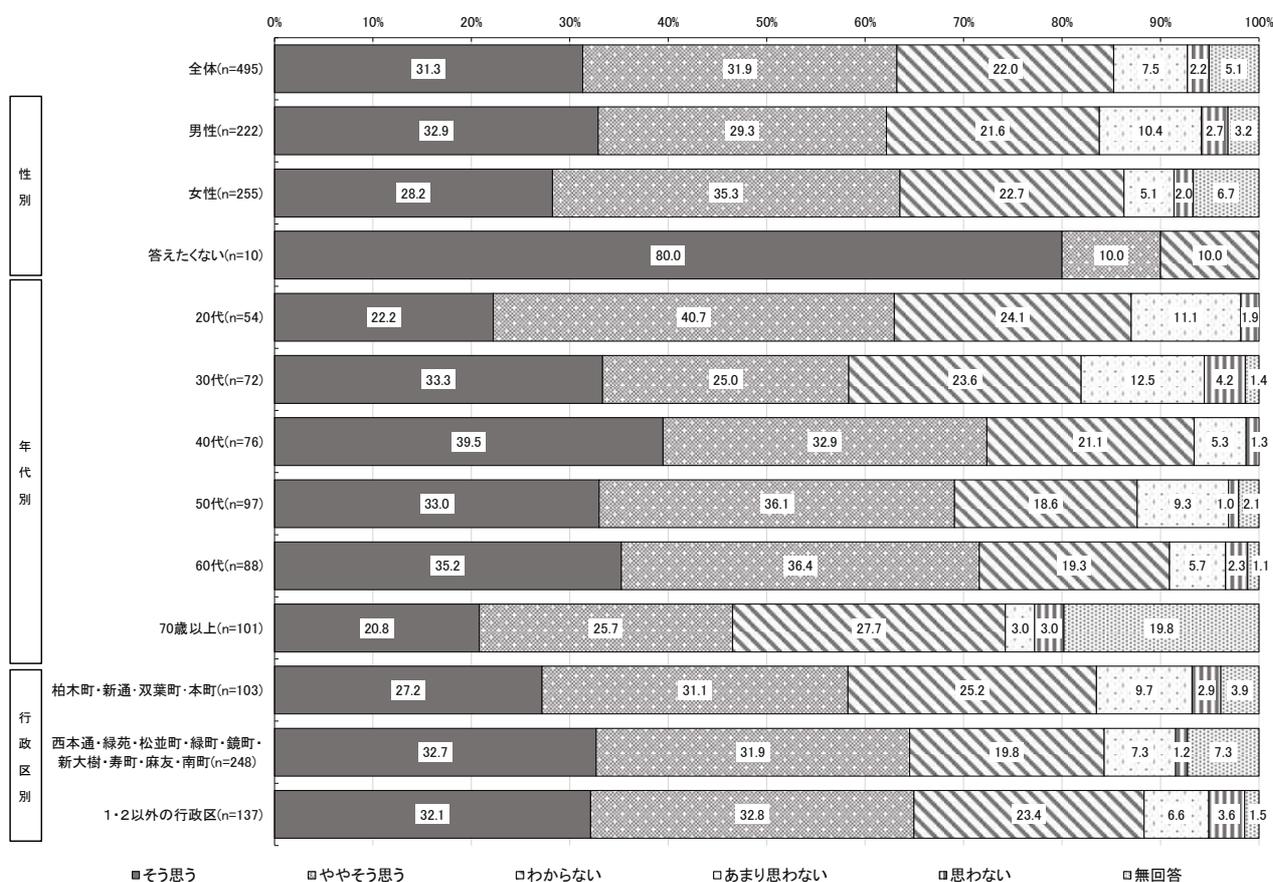


### [属性別]

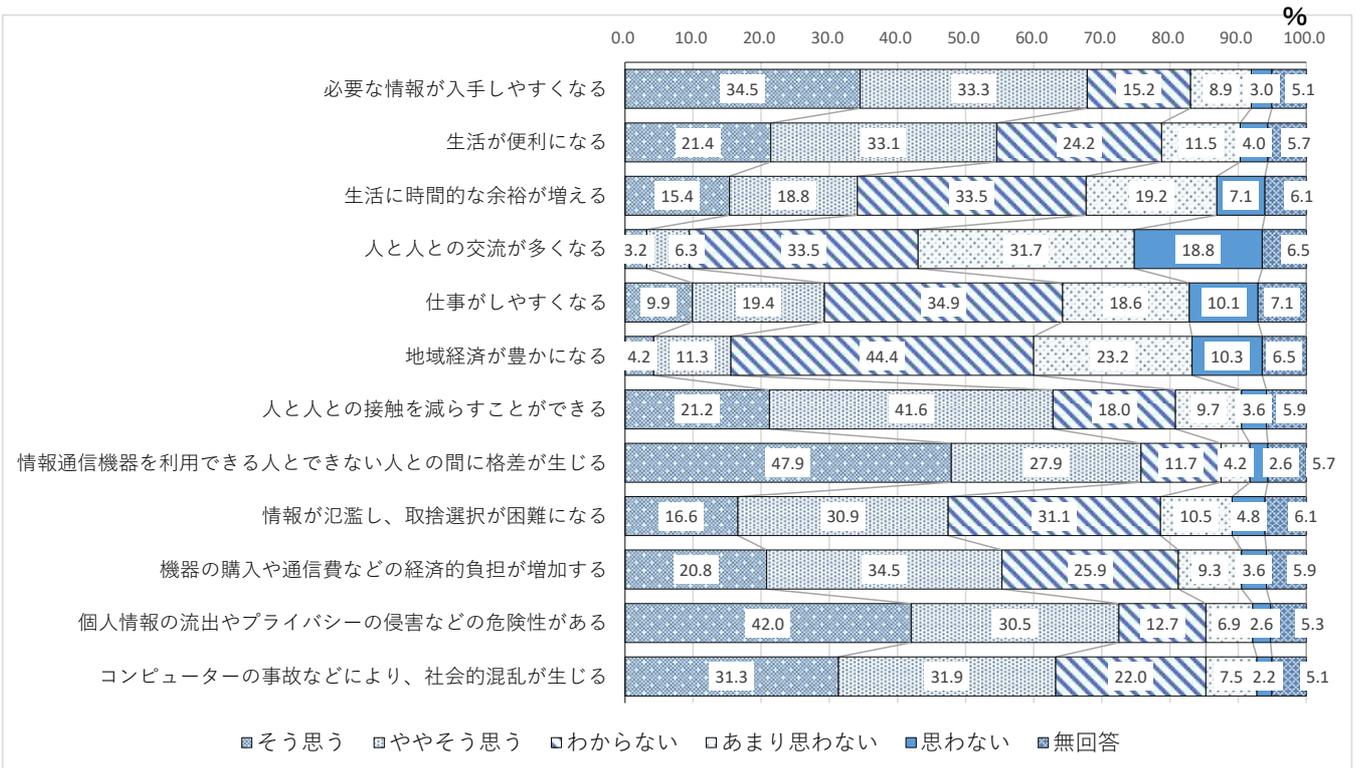
性別でみると、男性のほうが「そう思う」の割合が女性より高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では、『そう思う』の割合が他の年代と比べると低くなっています。

【コンピューターの事故などにより、社会的混乱が生じる 属性別】



【デジタル化の進展による影響 総括】



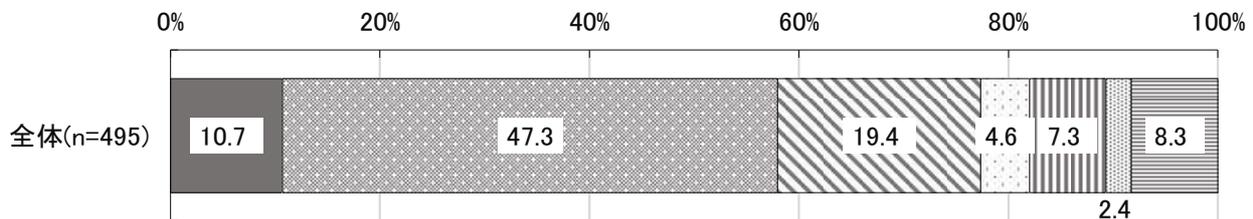
## 6 町政について

問 16

これからの行政サービスと住民負担のあり方について、あなたは、どのようにお考えですか。＜1つに○印＞

これからの行政サービスと住民負担のあり方については、「サービスの種類や水準を見直して、重点化を図るべきである」が47.3%と最も高く、次いで、「サービスの種類を減らしたうえで、必要なサービスの水準を維持すべきである」(19.4%)、「受益者に負担を求めるなどして、現在の行政サービスの種類や水準を確保すべきである」(10.7%)、「サービスの種類の減少や水準の低下は仕方のないことである」(7.3%)、「サービスの水準を引き下げたうえで、現在のサービスの種類を維持すべきである」(4.6%)などの順となっています。

【行政サービスと住民負担のあり方】



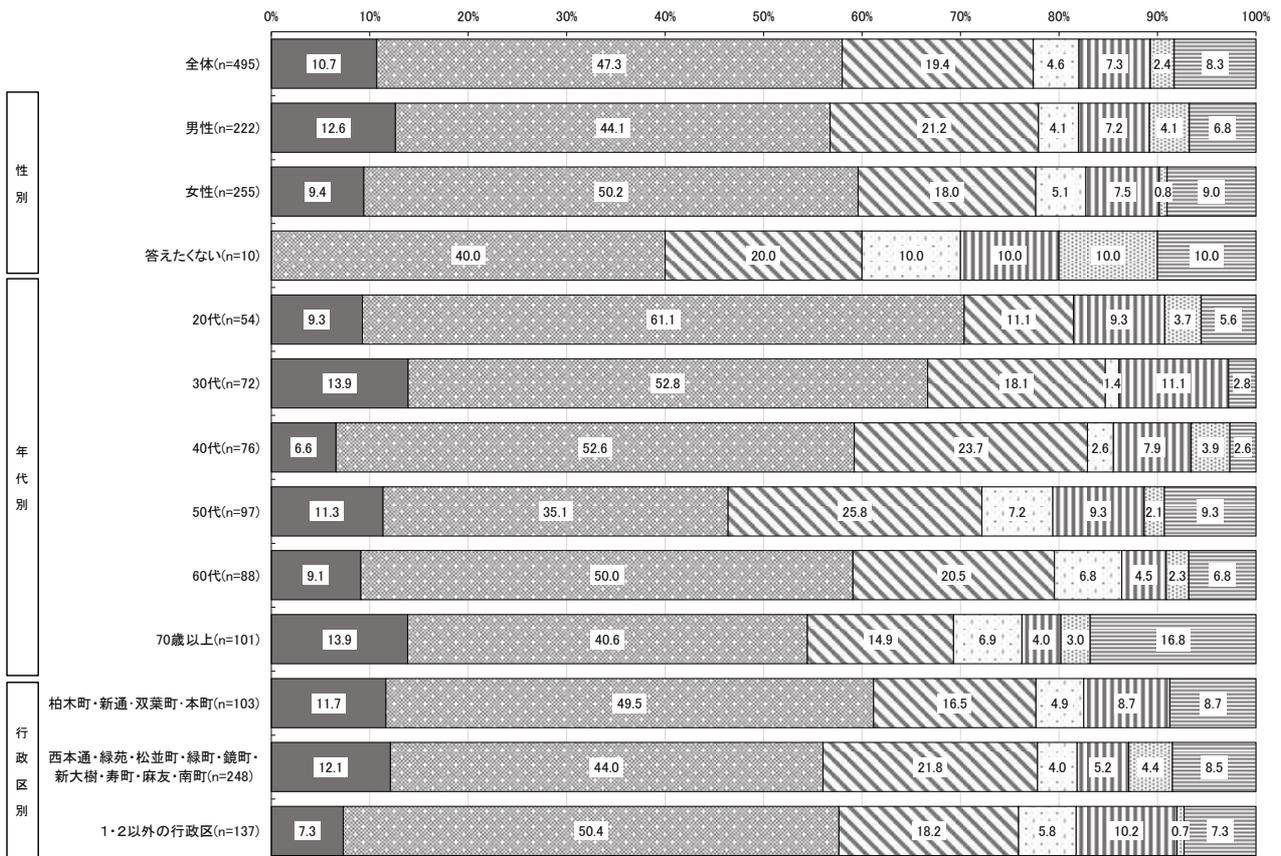
- 受益者に負担を求めるなどして、現在の行政サービスの種類や水準を確保すべきである
- サービスの種類や水準を見直して、重点化を図るべきである
- サービスの種類を減らしたうえで、必要なサービスの水準を維持すべきである
- サービスの水準を引き下げたうえで、現在のサービスの種類を維持すべきである
- サービスの種類の減少や水準の低下は仕方のないことである
- その他
- 無回答

### [属性別]

性別で見ると、男性のほうが「受益者に負担を求めるなどして、現在の行政サービスの種類や水準を確保すべきである」の割合が女性より高く、女性では、「サービスの種類や水準を見直して、重点化を図るべきである」の割合が男性より高くなっています。

年代別で見ると、20代では、「サービスの種類や水準を見直して、重点化を図るべきである」の割合が他の年代と比べると高くなっています。

### 【行政サービスと住民負担のあり方 属性別】



受益者に負担を求めるなどとして、現在の行政サービスの種類や水準を確保すべきである  
 サービスの種類を減らしたうえで、必要なサービスの水準を維持すべきである  
 サービスの種類や水準の低下は仕方のないことである  
 無回答

サービスの種類や水準を見直して、重点化を図るべきである  
 サービスの水準を引き上げたうえで、現在のサービスの種類を維持すべきである  
 その他

## (1) 満足度

満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「高規格道路や国道・道道など基幹道路の整備」が 48.7%と最も高く、次いで、「病院機器の更新、健診や予防接種など地域医療の充実」(40.8%)、「消防・救急体制の整備」(36.9%)、「公共下水道や個別排水処理施設・上水道施設の整備」(35.3%)、「町道や農道の整備」(33.3%)などの順となっています。

また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、「除雪対策」が 29.3%と最も高く、次いで、「公園や緑地などの整備」(24.6%)、「ふれあいバスなどの公共交通機関の確保」(19.8%)、「町道や農道の整備」(18.8%)、「新たな特産品開発など地場産業の振興」(17.5%)などの順となっています。

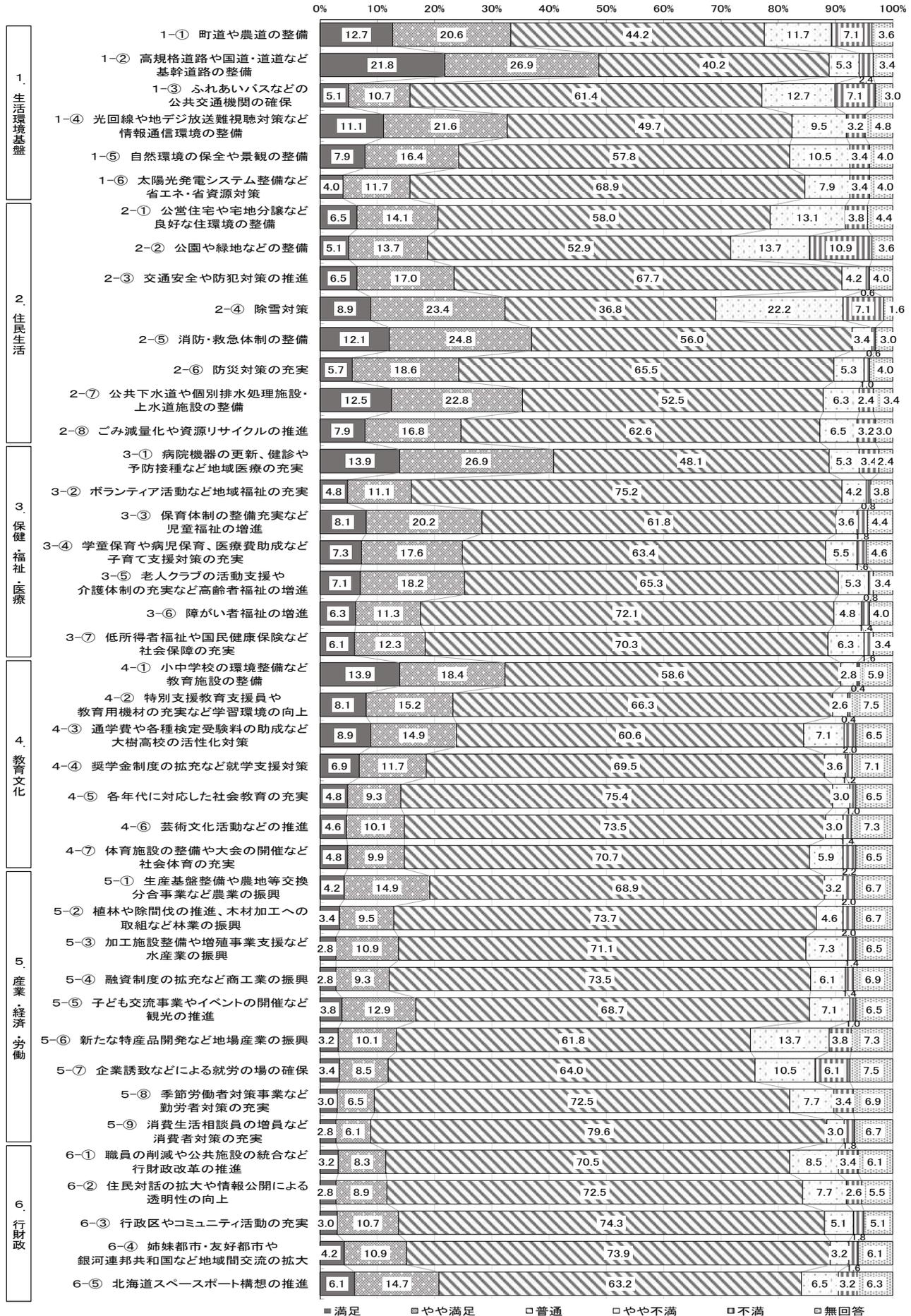
## ■ 満足度 『満足』 上位5項目

項目		%
1-②	高規格道路や国道・道道など基幹道路の整備	48.7
3-①	病院機器の更新、健診や予防接種など地域医療の充実	40.8
2-⑤	消防・救急体制の整備	36.9
2-⑦	公共下水道や個別排水処理施設・上水道施設の整備	35.3
1-①	町道や農道の整備	33.3

## ■ 満足度 『不満』 上位5項目

項目		%
2-④	除雪対策	29.3
2-②	公園や緑地などの整備	24.6
1-③	ふれあいバスなどの公共交通機関の確保	19.8
1-①	町道や農道の整備	18.8
5-⑥	新たな特産品開発など地場産業の振興	17.5

○全体 満足度



## (2) 重要度

重要度については、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要』は、「除雪対策」が 80.4%と最も高く、次いで、「病院機器の更新、健診や予防接種など地域医療の充実」(68.9%)、「消防・救急体制の整備」(66.7%)、「防災対策の充実」(63.2%)、「高規格道路や国道・道道など基幹道路の整備」(62.2%)などの順となっています。

また、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた『重要でない』は、「北海道スペースポート構想の推進」が 16.4%と最も高く、次いで、「姉妹都市・友好都市や銀河連邦共和国など地域間交流の拡大」(13.8%)、「太陽光発電システム整備など省エネ・省資源対策」(8.9%)、「行政区やコミュニティ活動の充実」(7.3%)、「消費生活相談員の増員など消費者対策の充実」(6.6%)などの順となっています。

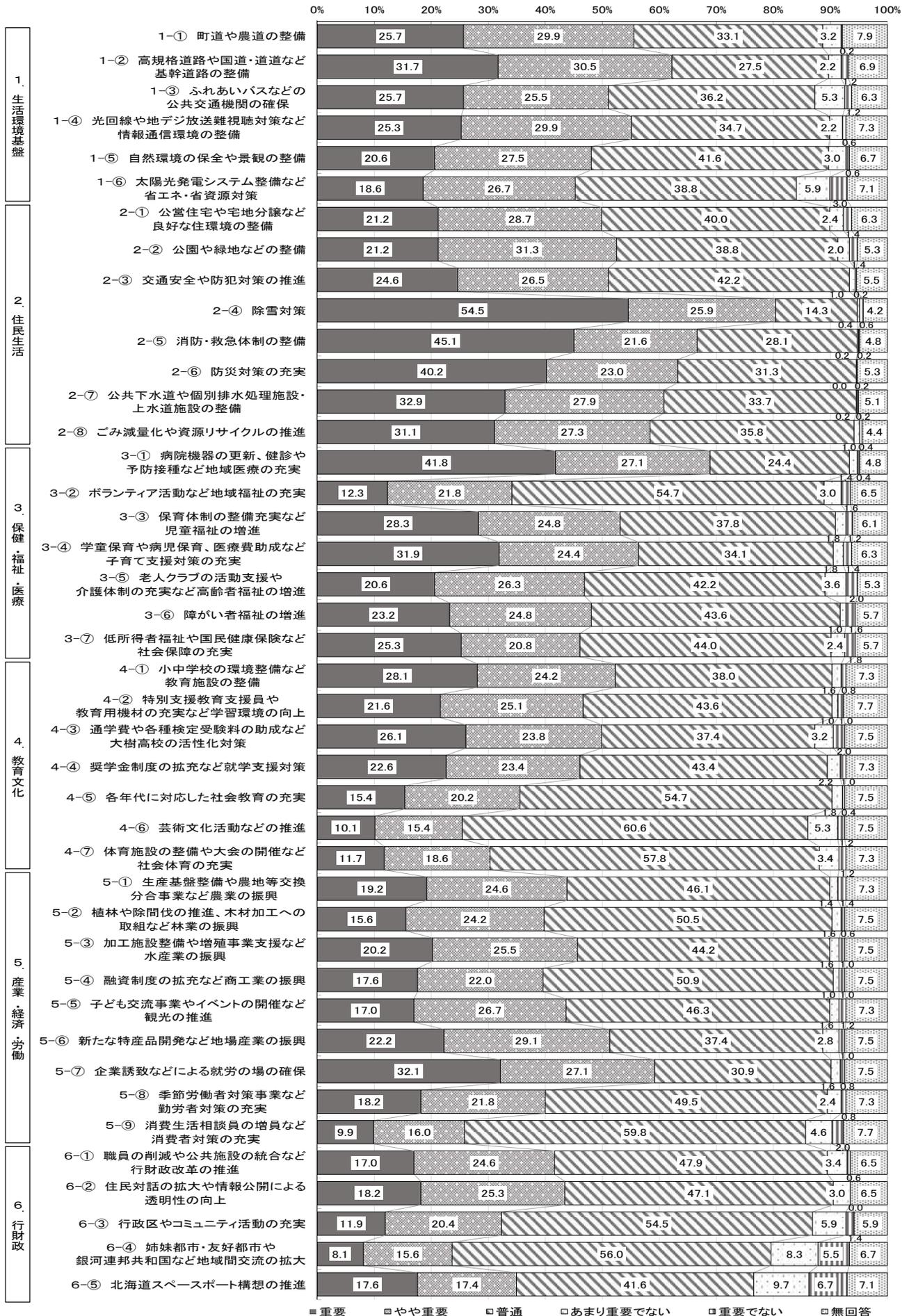
### ■重要度 『重要』 上位5項目

項目		%
2-④	除雪対策	80.4
3-①	病院機器の更新、健診や予防接種など 地域医療の充実	68.9
2-⑤	消防・救急体制の整備	66.7
2-⑥	防災対策の充実	63.2
1-②	高規格道路や国道・道道など 基幹道路の整備	62.2

### ■重要度 『重要でない』 上位5項目

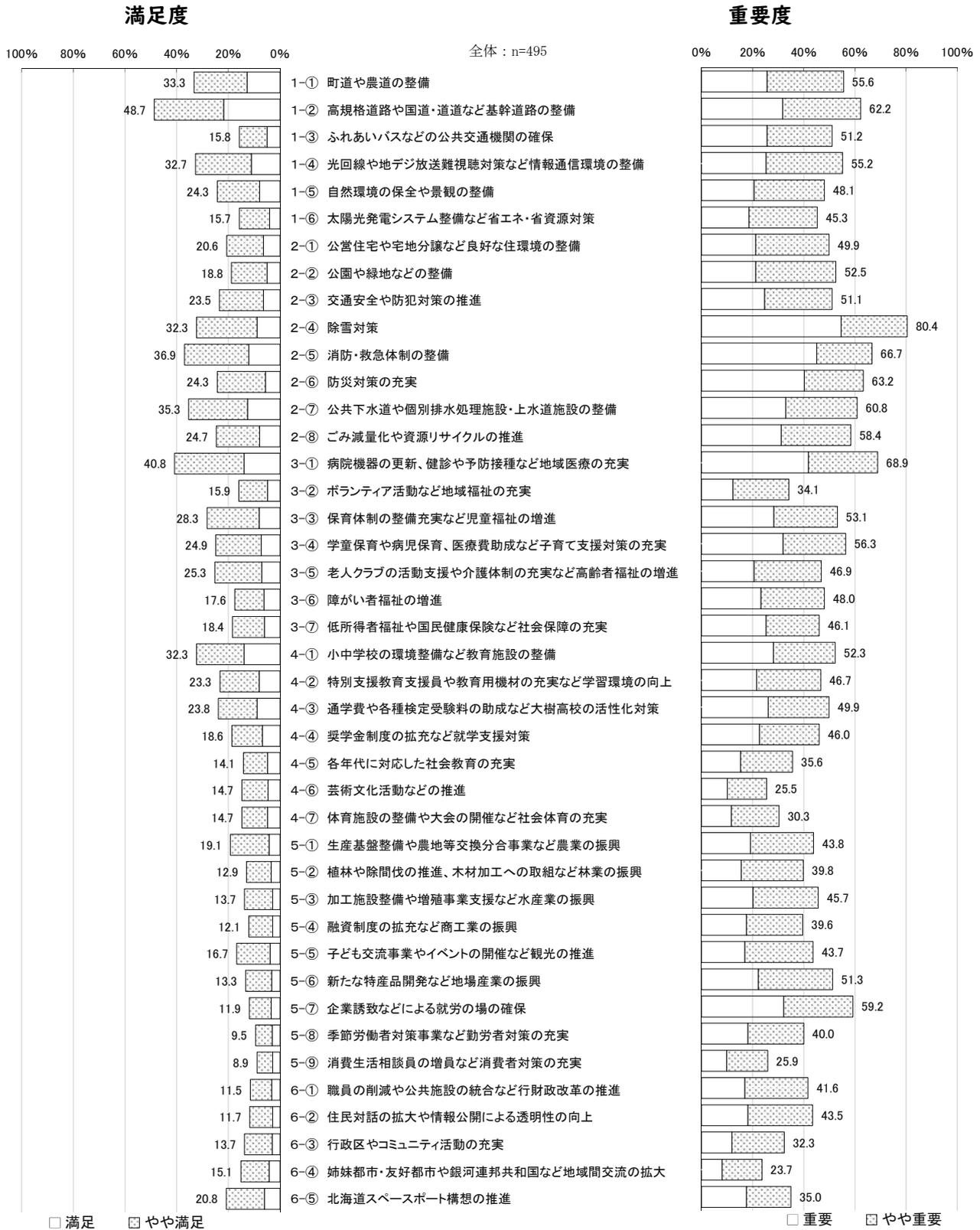
項目		%
6-⑤	北海道スペースポート構想の推進	16.4
6-④	姉妹都市・友好都市や 銀河連邦共和国など地域間交流の拡大	13.8
1-⑥	太陽光発電システム整備など省エネ・省資源対策	8.9
6-③	行政区やコミュニティ活動の充実	7.3
5-⑨	消費生活相談員の増員など消費者対策の充実	6.6

○全体 重要度



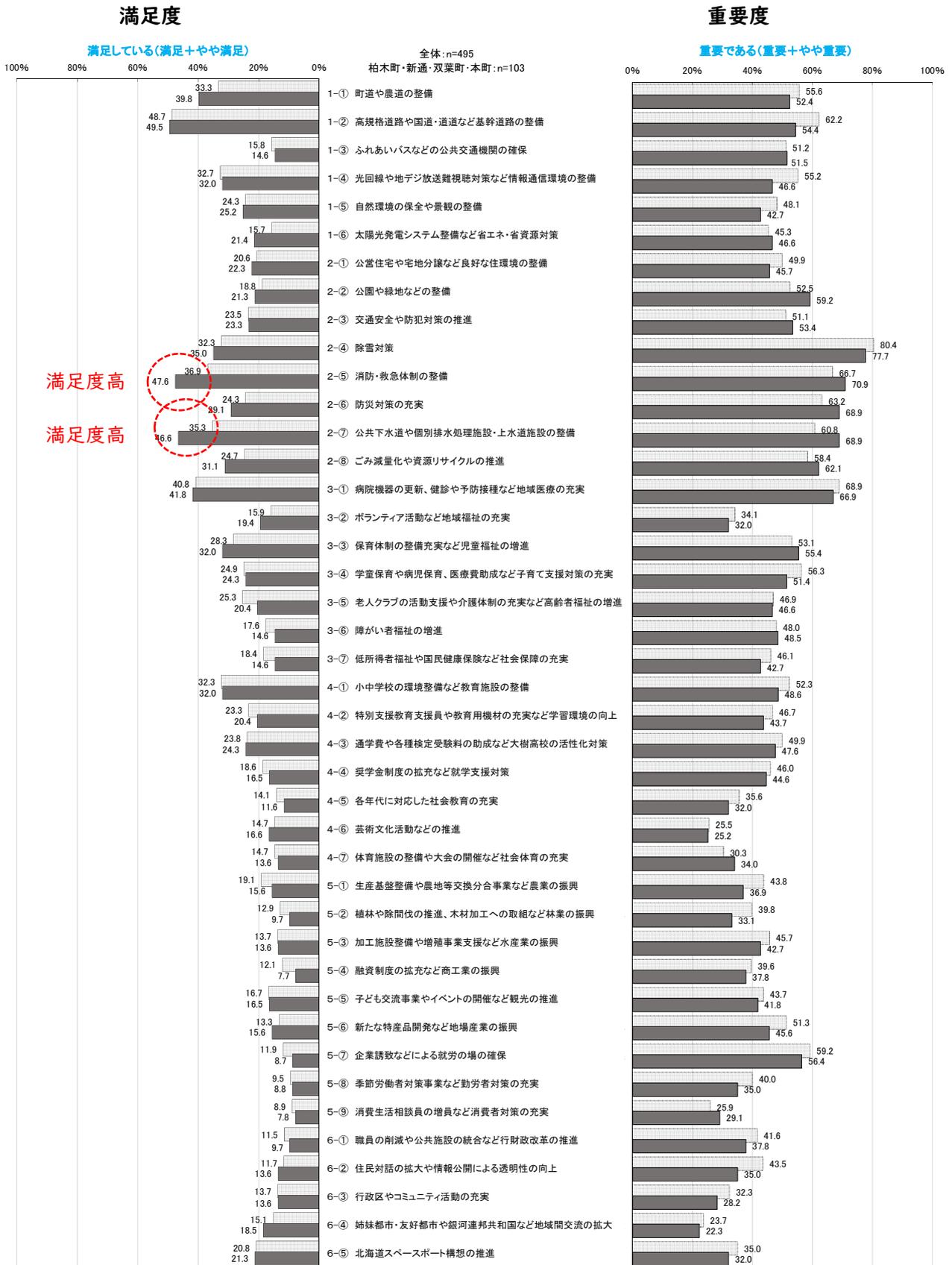
満足度≪『満足』(「満足」+「まあ満足」)≫と重要度≪『重要』(「重要」+「やや重要」)≫対比

○全体



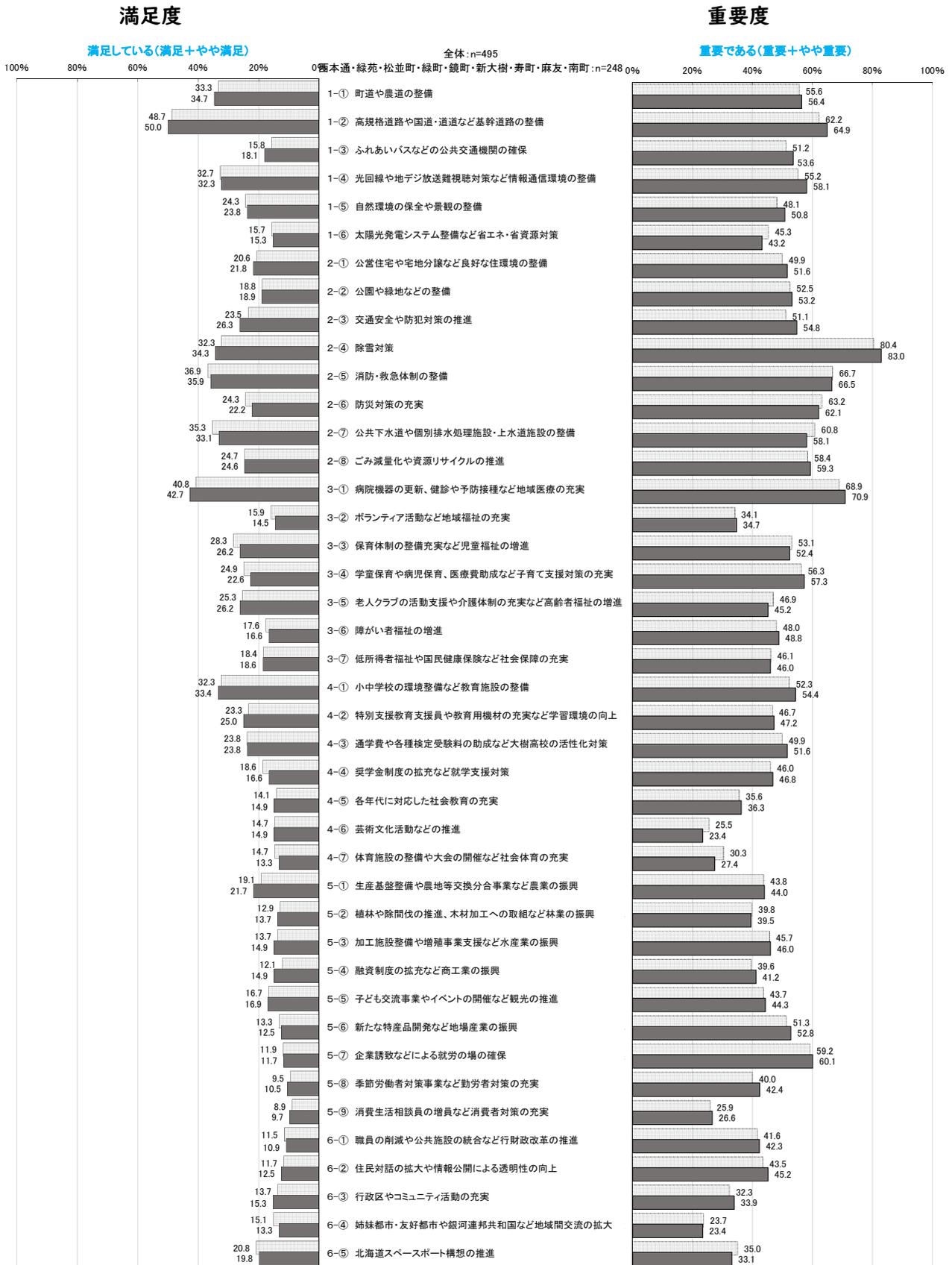
# 行政区別の満足度と重要度対比

○柏木町・新通・双葉町・本町行政区



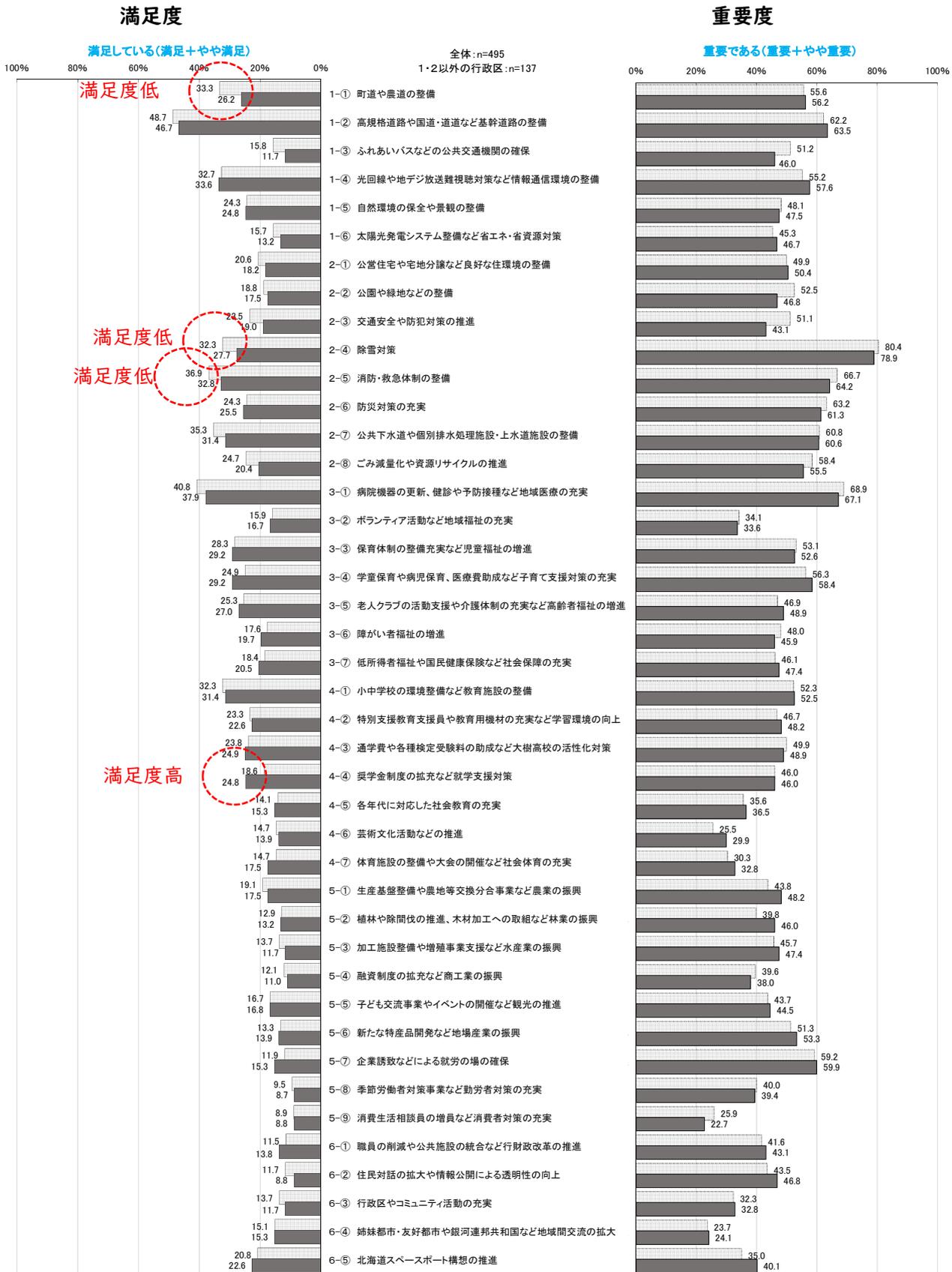
※濃い棒グラフが当該行政区、薄い棒グラフが全体

○西本通・緑苑・松並町・緑町・鏡町・新大樹・寿町・麻友・南町行政区



※濃い棒グラフが当該行政区、薄い棒グラフが全体

〇1・2以外の行政区



※濃い棒グラフが当該行政区、薄い棒グラフが全体

### (3) 満足度と重要度の点数化による分析

※加重平均値の算出方法(重要度も同様)

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \left( \begin{array}{l} \text{「満足」の回答数} \times 2 \text{点} \\ \text{「やや満足」の回答数} \times 1 \text{点} \\ \text{「普通」の回答数} \times 0 \text{点} \\ \text{「やや不満」の回答数} \times -1 \text{点} \\ \text{「不満」の回答数} \times -2 \text{点} \end{array} \right) \div \left( \begin{array}{l} \text{「満足」、「やや満足」、} \\ \text{「普通」、} \\ \text{「やや不満」、「不満」} \\ \text{の回答数の合計} \end{array} \right)$$

満足度と重要度をそれぞれ横軸、縦軸に設定し、分布図を作成しました。また、満足度と重要度それぞれについて42項目の点数の平均点を算出し、グラフ上にラインを引くと4つのエリアに分類されます。ここでは『満足度が低く重要度が高い』項目の左上エリアを中心にみていくこととします。

		満足度	
		低い	高い
重要度	高い	満足度が低く 重要度が高い	満足度が高く 重要度も高い
	低い	満足度が低く 重要度も低く	満足度が高く 重要度が低い

『満足度が低く重要度が高い』について、全体では、5項目あります。

#### 1. 生活環境基盤

1-③ふれあいバスなどの公共交通機関の確保

#### 2. 住民生活

2-②公園や緑地などの整備

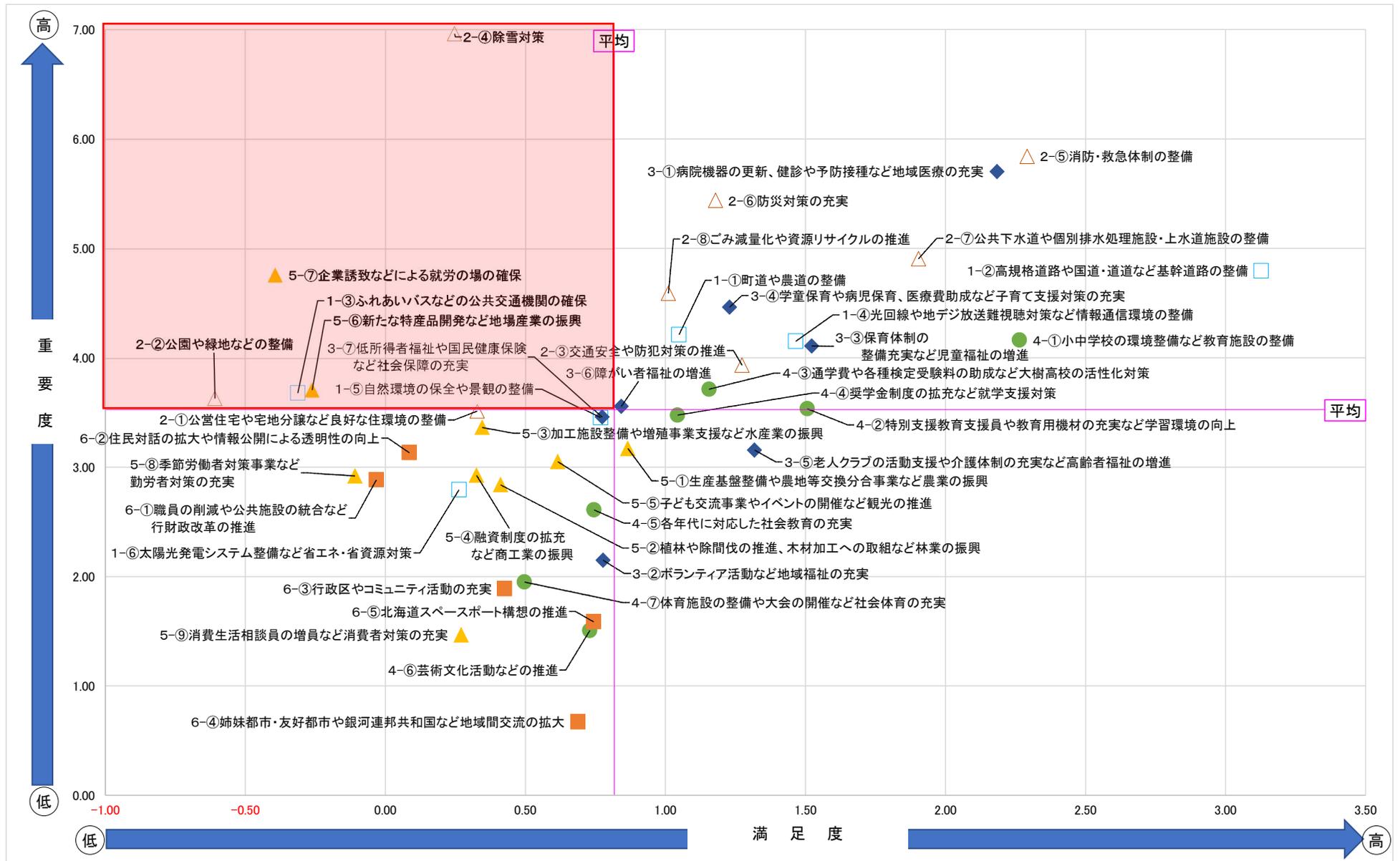
2-④除雪対策

#### 5. 産業・経済・労働

5-⑥新たな特産品開発など地場産業の振興

5-⑦企業誘致などによる就労の場の確保

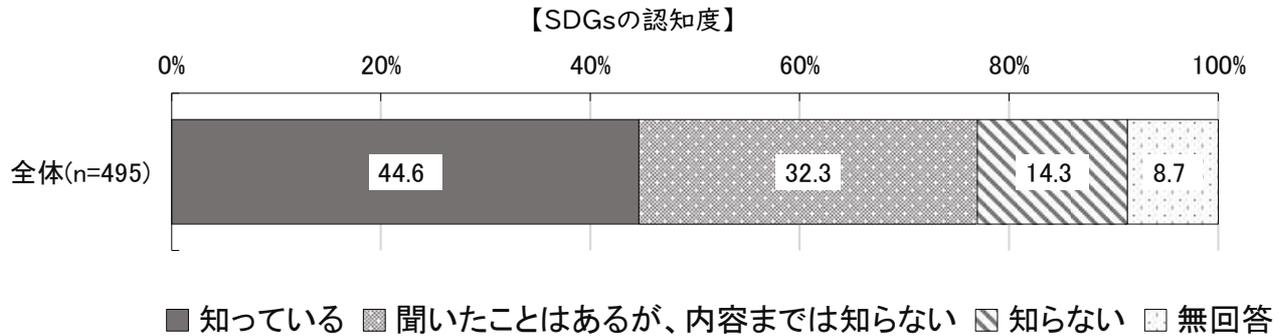
3. 保健・福祉・医療、4. 教育文化、6. 行財政の分野に、該当項目はありませんでした。



## 7 SDGsについて

### 問 18 あなたは、SDGsをご存じですか。〈1つに○印〉

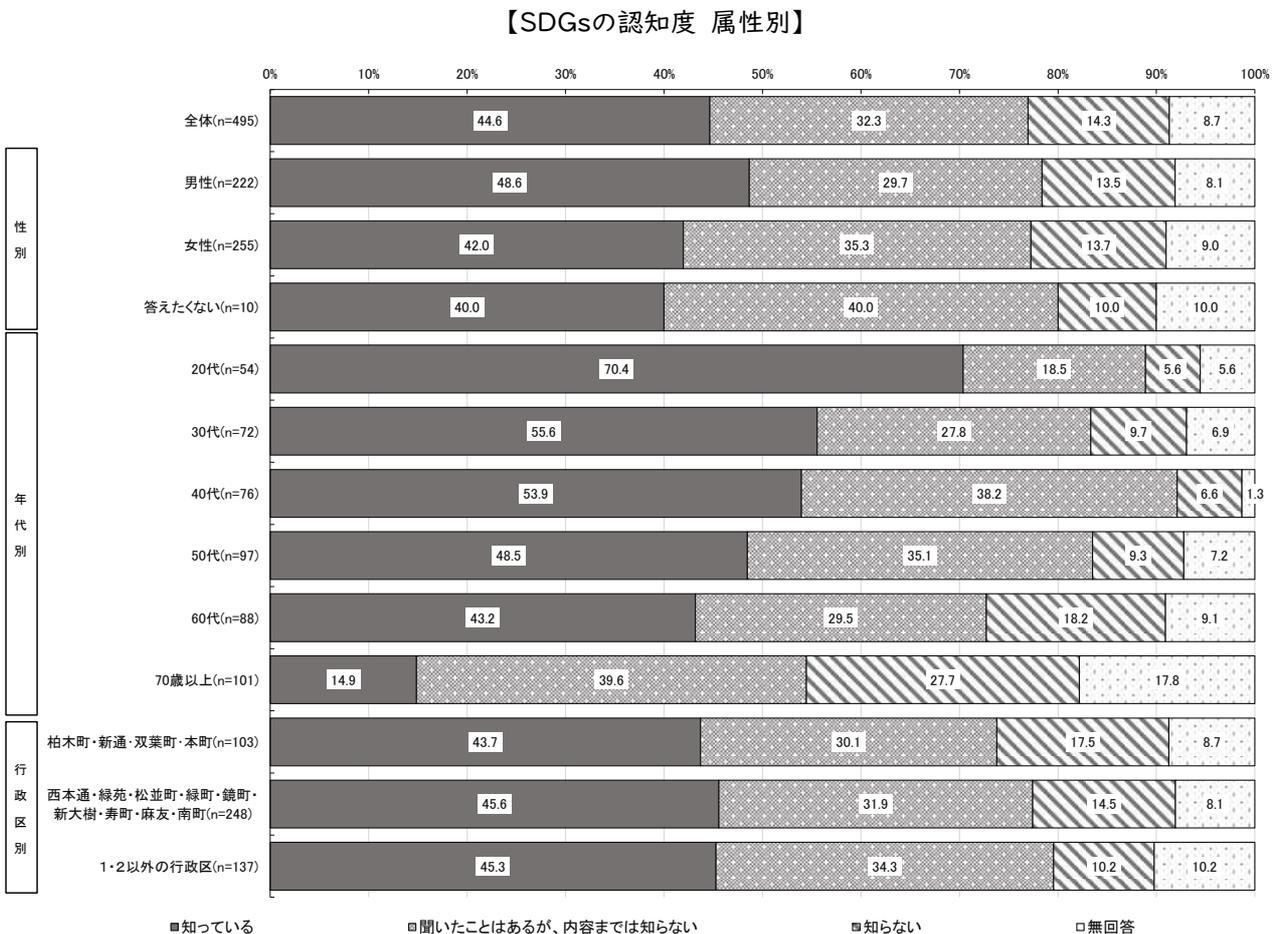
SDGsの認知度については、「知っている」が44.6%と最も高く、次いで、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」(32.3%)、「知らない」(14.3%)の順となっています。



### [属性別]

性別でみると、男性のほうが「知っている」の割合が女性よりやや高くなっています。

年代別でみると、20代では、「知っている」の割合が他の年代と比べると高くなっています。一方で、70歳以上では、「知っている」の割合が他の年代と比べると低くなっています。

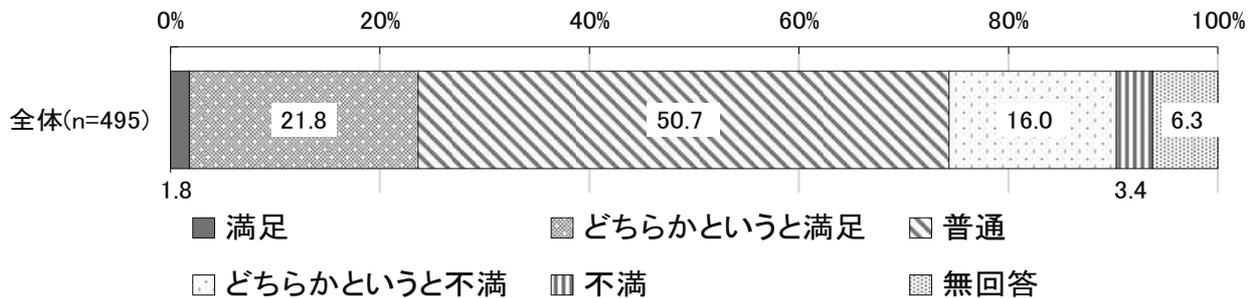


## 8 これからのまちづくりについて

**問 19** あなたは、現在の大樹町のまちづくりについて、総合的にどのように思いますか。〈1つに○印〉

大樹町のまちづくりの取組に対する評価については、「満足」(1.8%)と「どちらかといえば満足」(21.8%)を合わせた『満足』は 23.6%となっています。一方、「どちらかといえば不満」(16.0%)と「不満」(3.4%)を合わせた『不満』は 19.4%となっています。また、「ふつう」は 50.7%となっています。

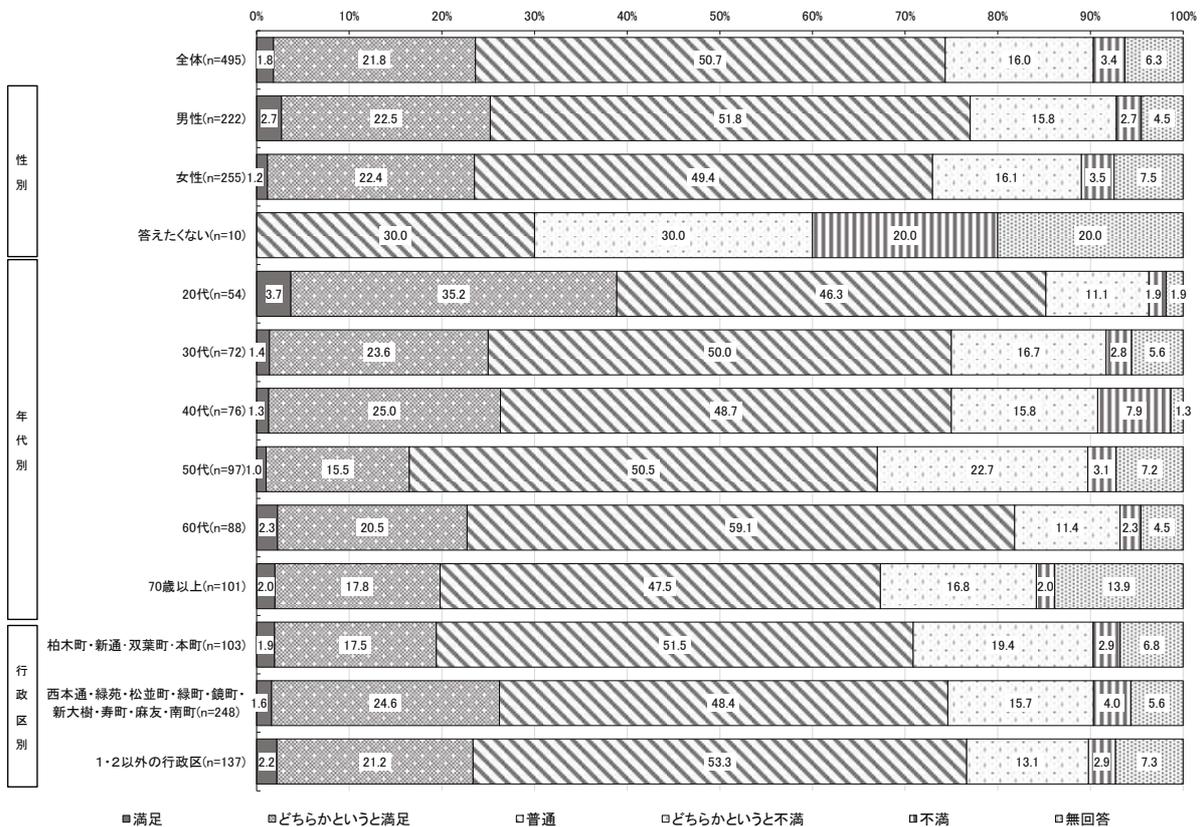
【属性別】 【大樹町のまちづくりの取組に対する評価】



年代別で見ると、年代が高くなるにつれて、『満足』の割合が低くなっています。

居住行政区別で見ると、「西本通・緑苑・松並町・緑町・鏡町・新大樹・寿町・麻友・南町」では、『満足』の割合が高くなっています。

【大樹町のまちづくりの取組に対する評価 属性別】

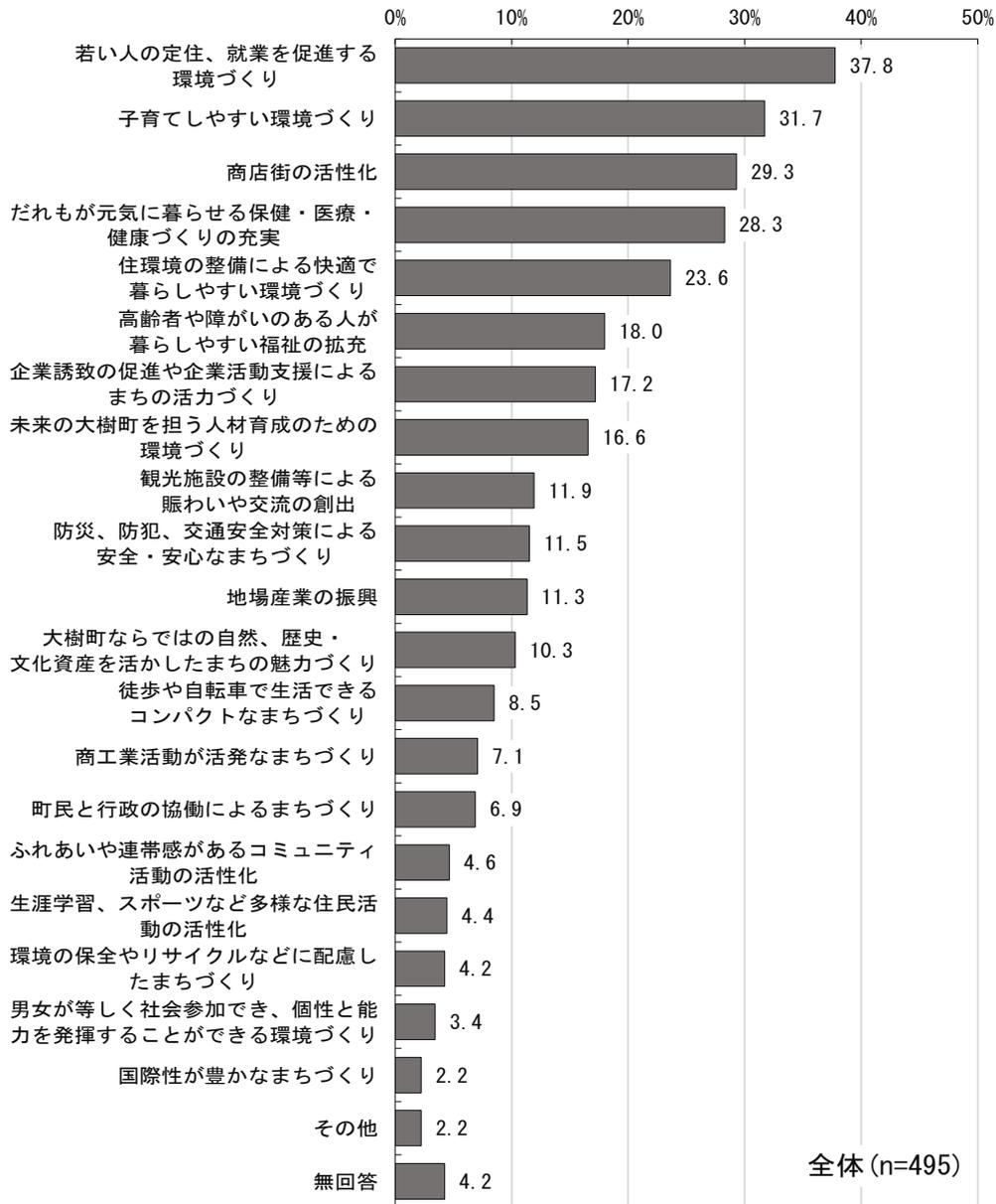


問 20

これからの大樹町が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組は何だと思いますか。＜3つまで○印＞

大樹町が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組については、「若い人の定住、就業を促進する環境づくり」が 37.8%と最も高く、次いで、「子育てしやすい環境づくり」(31.7%)、「商店街の活性化」(29.3%)、「だれもが元気に暮らせる保健・医療・健康づくりの充実」(28.3%)、「住環境の整備による快適で暮らしやすい環境づくり」(23.6%)、「高齢者や障がいのある人が暮らしやすい福祉の拡充」(18.0%)、「企業誘致の促進や企業活動支援によるまちの活力づくり」(17.2%)、「未来の大樹町を担う人材育成のための環境づくり」(16.6%)、「観光施設の整備等による賑わいや交流の創出」(11.9%)、「防災、防犯、交通安全対策による安全・安心なまちづくり」(11.5%)などとなっています。

【住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組】



## 自由意見

今後厳しさを増すことが予想される社会経済情勢の中、あなたは、これからの大樹町のまちづくりを進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。アイデア等がございましたらお聞かせください。

### 【生活・基盤分野】

自由意見
世界的に食糧不足になるので、町単独で大規模な備蓄倉庫を建設。外国、国内から穀物、食品等を確保して地域に安価で供給する(広尾港・帯広空港を活用)。
役場、保育園など施設を一新し、住み良いまちづくりをしていると思います。
以前何かのアンケートで、帯広から大樹町、広尾へのバスの運行について、というのがありました。私は免許がないので帯広へ行くのにバスを使っています。大樹町～帯広までは約2時間かかり、料金も1,500円くらいが片道で往復となると3,000円もかかってしまいます。不便だと思います。一日のバスの本数を減らしてでも帯広～大樹町間高速道路を使い、時間を短縮、運賃の値下げをしてくれたらありがたいです。大樹町民だから使えるクーポン、割引券などの発行があればうれしいです。
宇宙のことがばかりでなく、子育て支援、公園の整備など町民や子供たちが日ごろ利用するような所を先ずきちんとしてほしいです。
高校から帯広へ行くのも仕方がない。若い世代にも魅力的な町にして欲しい。ずっと住みたいと思う町ではない。
これから冬になると積雪がひどくなると思いますが、特に年寄りの家の周りの除雪をお願いしたい。
大樹町に新規に移住する方が他の町村より本当に少ないように思われます。それだけ活力がないのか、魅力がないからだと思います。空き住宅や商店街の空洞化の現状を見ると真剣に考えるべきです。例えば移住者に思い切った援助策や保育園や成人までの医療無償化等特徴のある方策を講じる必要があると考えます。
町の活性化に向け、人を集めるのではなく、集まる町にするそのためには、アイデアを募るのも一考では!!
若い人が住みたいようなまちづくりが必要。
年金生活者や家庭の関係で困っている世帯に、PC、タブレットを貸し付けてみてはどうでしょうか。公営住宅に住んでいる人はだいぶ困っているはずです。
車の免許を持っていても車がないので買い物に行くのが大変なのでカーシェアかバスによる帯広⇄大樹を運用してはどうでしょうか、不便だと町民の数が減るように思えます。
子ども、老人ばかりでなく、30～50代でも生活しやすい環境をつくって欲しい。実際に子どもや高齢者への支援はいろいろあるが中間の年代はない。宇宙開発関係者はばかり優遇せず大樹町民に力を入れて欲しい。

## 自由意見

長く住み続けていると大樹町の良さが当たり前になり、移住されてきた方や訪問された方から改めて気づかされるが多々あります。そういう方々の声を大切にするともっともっと素敵な町になるんでしょうね。シャッターに絵を描いてくれた方とか、とても良いですね。町が明るくなります。高規格道路が完成すると、道すがりの町から道すがりでもない地図上の道すがりになります。寄ってもらえる町になって欲しいです。

アパートの価格が全体的に高いです。

就職等の理由により町を離れていった人(特に退職者)を、またこの町に戻って来て貰えるような環境・支援整備が必要では。子供たちの地元愛を育む事業は行われている。しかし、就労箇所の十分な確保が望めない為、やむなく町を離れていかれている。就労箇所の確保を増やせないならば、出ていってしまわれた人々を呼び戻すことが大切ではないか(老後福祉等の整備)。

もしくは、全く逆の発想で、新しい(若い)人たちに、この町に定住して貰い、子育て支援、就労支援等、言葉は悪いが、新陳代謝の活性を目指しては如何か。

どちらにせよ、限られた予算の中で中途半端なことをすれば、中途半端な結果にしかならない。極端な舵をきり、予算を集中させ未来を切り開いて行って欲しい。

50年後も100年後も大樹町という名前が残るように。頑張ってください。

大樹町は住環境が整備されていなく、来たくても来れない人が多いと感じる。大樹町の物件を検索して0件は有り得ないと思います。又家賃が近郊に比べ高いため、帯広などに逃げるケースを改善すると人口増がより図られると思います。

町の公営住宅に単身者もどんどん入れるべきです。空き家にしておいて傷んでいくのはもったいない。縛りを無くしてほしい。

## 【自然・環境分野】

自由意見
隣町のような立派な公園があってもいいですが…。家畜や雪印のにおいがありますよね!特に町の中は少し低いから集まるんですよ。カムイコタンは素晴らしいキャンプ場です。
人が暮らす、生きる上で豊かな自然は欠かすことのできないことと思います。大樹町が大好きな町民です。農業の大規模化、宇宙産業と様々な要因、考え方がありますが、憂えることの多いこの頃です。貴重な植物の激減(ここ5から6年)。ちょっと立ち止まることも必要だと思います。
小さなことを大事に考えて欲しい。ほんの小さなことが大事だと思います。例えば町民が必要としていることは、実現できればとてもうれしいと思うことで、とても住みよい町と思う。そんなことがこれから大事だと思います。例えば中央公園を手直ししてほしいと思っている町民がたくさんいると思います。
森林が壊され建物が増えていくのは、町の良さを壊してしまい残念です。自然あふれる素晴らしさを人間が壊すことはよく考えるべき。大きな町に発展することは地球環境とどう影響しているか、町行政の方々は意識を幅広く高めて欲しい。海に落ちたロケットはそのまま海底に。海水汚染、異物は魚介類にとって決して良いことでなく、企業への指導を的確にして欲しい。
大樹町の大きな公園である運動公園の整備をもう少しして欲しい(ペンキ塗り、水辺の掃除等)。
大樹町のシンボルの花コスモスが町の中で見当たらない。例えば役場、運動公園、幼稚園等人目につく場所に。
柏林公園の景観の良さ、駐車場の広さ、立地、自然の豊かさ、汽車等とても素敵な公園だと感じます。遊具がもう少し充実したり散歩道を花道にしたり等の工夫が加わるともう少し利用者が増え、その工夫がSNS等で広まり、町内外から大樹町に来る人が増してくるのでは。
コスモスガーデンにもっと花を植えてもいいのでは。
堆肥の臭いが酷いので対策をどうにかしてもらいたい。臭すぎて住環境的にも観光業的にも厳し過ぎる。
酪農の糞尿の臭いがひどいので町外から来た人にはイメージが悪い。難しいかも知れないが対策を考えた方がいい。
大きな公園があるだけで観光と子育て支援が良くなると思います。
町外からも人が訪れる公園があると、遊んだ後にその町で飲食や観光をするのではないかと思います。近隣だと、忠類は道の駅が隣接されていて利用しやすく、更別はキレイで遊具が大きく遊びやすいのでよく利用しています。大樹町の公園は、長年住んでいる人でないと場所がわからず、遊具も小さいものが少しだけある公園が点在していて、運動公園は小さい子どもは遊びにくい遊具です。
更別みたいな公園を作ってほしい。
核家族の影響で墓を守る人が困難になってきています。近年各市町村では合同墓が建立されています。わが町でもぜひ早急にご検討いただきたいです。

自由意見
少子高齢化時代となり、お墓や納骨堂の維持が困難になってきています。終活を迎える高齢者の悩みを解消するためにも、大樹町においても合同墓の設置について検討していただきたい。
公営住宅の連帯保証人制度の廃止、年齢制限の廃止。入居条件が厳しい。大樹町の人口を増やすためにも保証人と年齢制限をなくした方がいい。

### 【安全・安心分野】

自由意見
街灯の設置。夜は寂しい感じで暗い、全町に設置しては？
街並みが暗い。
町の街灯が暗くてセンスが悪い。高位置に電灯を上げた方が光が広がるのでは。
運動公園の池が整備されておらず水が濁っていて汚いです。子どもが間違っ落ちてきたらと思うと…とても心配になります。きれいにするか池をなくして欲しいです。
町内は暗く夜が危険です。住宅も増えていますので街灯をもう少し設置してください。
郊外の街灯をもう少し増やして欲しい。通勤、通学時暗い。
郡部の街灯が少なすぎるので、数本増やすだけでも安心感が違うのではないかと思います。

### 【健康・福祉・子育て分野】

自由意見
子育て世代が住みやすい町、移り住みやすい町。
ウェイトトレーニングができる施設がほしい。プールが新しくなるなら置いてほしいな。若者は今、トレーニング好きな人が多いと思います。しっかりした設備が欲しい。
子どもを安心、安全に育てる住みよい町、若い世代が住みよいと思ってもらえる町、こんな小さなことがいずれば町の発展に。
公園の設置を市街地に！子どもの遊ぶ所がない。
幼い子を育てています。感じることは、町内で遊ばせる所が限られており、遊具も少ない。外遊びに出かけるとしたら、忠類や更別の公園に行きます。もっと外遊びがたくさんできたらいいなと思います。また中礼内のような室内で遊べる場所が欲しいです。

## 自由意見

超高齢化社会に向けた対策と施設の充実。できる限り在宅で長く生活していけるような環境づくり。例えば子ども(学童や保育園)と高齢者が共有できる施設。大樹高校に生徒が集まるような魅力的な活動(部活動の充実、具体的なメリットなど)。70代~80代、90代の方々が活躍できる役割づくり。

今いる高齢者への配慮も大切だが、これから未来を背負っていく子どもたちを大切にしていくことを第一に考えたまちづくりしていかなければ町の活性化には繋がらないと思われる。子育てに関する支援や公園の新設、整備等も検討していただきたい。子育て世帯に対する施策等を行っていけば必然的に若者世帯は集まってくるのでは。

具体アイデアは思いつかないが、子供たちのための医療費の軽減等他町村との比較において優れていることが大事である。出生児に対する思い切った補助等を考えてみたらどうでしょうか。どの町村も財政的に大変苦しい状態ですが、何より人口増を大樹町発展の根幹と考えるべきだと思います。このことは日本全体にも言えることでもありますが、国も地方創生が大事と言っておりますので少子化問題は、国全体よりも地方から積み上げていかなければ結果は出ない。そのためにもボトムアップが大切だと思います。

尾田保育所は残して欲しいです。

保育園も立派に建て直されて素晴らしいです。子どもたちが笑い声をあげて、どんぐりを拾っている姿を見て、とても癒されます。

子育て支援もよろしくお願いします。

昔の大樹町を思い出して欲しい。昔は子どもと老人に優しい福祉の町だった。今はなぜロケットばかりに力を入れているのだろう、もう少し住んでいる人にも住みやすい町にして欲しい。町外の人達に援助したり優しくしたりするのは何か違うような気がする。大樹高校にしても町外からの方にはたくさんの助成金がある。それなりに違う高校でも同じだと思い、出ていくものも当たり前。

子どもが保育園に通っていますが、未満児なので仕事が休みの日は保育園も休むようにと通達がありました。休むのはいいのですが、例えば寒さや雨で外で遊べない日は一日中家の中で遊ぶことになります。一日ならいいのですが数日続くと辛くなります。大樹にも中札内の道の駅のように室内の遊び場が欲しいです。それか”しゅしゅ”は通園している子は行けないので、休みの日は行っても良いようにしてもらえると助かります。

町営のスポーツジムを使用したい。インストラクター付きで、プールにも専属のインストラクターを付ける。福祉の町と言っているが介護保険などのサービスがうまく機能していないのでは？

医療体制(民間活用)の充実。例、広尾町国民健康病院。

給食費等も含めた教育費の無償化等子育て支援をもっと充実させ、過疎の進行を防ぐ為にも移住者も含め、子育て世代にとって魅力ある町にして下さい。上記費用を賄う為には税金を増やす必要がありますが、それに対しては「ふるさと納税」に今以上に力を入れ、税金の増加に努めてください。現状、役所内にふるさと納税専門の部署(課)はありますか?無ければ早急に設置し、税金を増加させ、その資金をもとに他市町村より魅力ある町づくりをお願いします。

自由意見
高齢者が多い町であることから、福祉の充実は必要なことではあるが、これからの未来を担う子供たちに焦点を当てた事業に取り組んでもらいたい。
子供が遊べる公園がない。運動公園が汚くて遊べない⇒大樹町の恥でもある。 学童保育施設はどうなった？スクールバスで移動する学童保育は聞いたことがない。 外面（例えば宇宙開発関係）だけ良くしても実際がこれだと隣の芝生は青く見える状態。
子育て世帯が暮らしやすい町になると、将来が豊かになると思います。
これから大樹を背負ってくれる子どもたちが便利で楽しく、過ごしやすいと思う町作りを期待したい。 小さい子どもが遊べる室内遊技場や設備の整った公園（水遊びができる所）など是非作ってほしい！
屋内遊具施設（例えば北湯沢の「森のソラニワ」等）の建設。親子でたくさん遊んで楽しく暮らしたいし、他の地域からも人が来ると思う。
私は民間企業で働いてきましたが年金を受けています。夫婦二人で食べていけないので今も病気の体で共に働いています。現在80歳を過ぎました。ぼろ家に住んでいます。今後働くことができなくなると生きていくのが大変です。病院代、免許証返納したら病院に行くのに大変。大樹には民間老健と公共の老人ホームがありますが、民間と公共の料金が莫大にかかります。低額の公共老人ホームをつくらせてほしいです。近間に子どもや親類がいないので今後生きていくのが大変です。心配で夜も安心して寝られません。どうか公共老人ホームを建ててください、お願いします。
保育士への手当て、人材確保。
高齢者等通院交通費の助成を町内目的関係なく使えるタクシーチケットにして欲しい。

## 【教育・文化分野】

自由意見
教育と地域振興は密接な繋がりがあると思います。これまでのように小中高で大樹町の歴史などの理解や興味を抱かせ、また深めさせることは大事ですが、大学進学支援や外部交流等によって、未来を担う人材育成に力を入れることも大切だと思います。
町民の外部流出は決して悲観的な話ではなく、大樹町で生まれた人材が一度広い世界を知り、大きな力をつけたうえで故郷のために尽力したいと思ってもらうことが大樹町の成長に繋がると考えます。最近では宇宙産業を中心に教育に結び付けるなど様々な刺激を受ける若者が増えているように思います。そのうえで体験型のプログラムがもう少し充実すると、学びへの興味がわくかなと思います。
大樹高校は近隣の高校と合併を考える時期ではないか？

自由意見
大樹高校だけではなくさないで欲しいと思います。高校がなくなってしまうと、町の若者が寂しくなってしまいます。よろしくお願いします。
テニスコートをもう少し借りやすくして欲しいです。毎年お祭りを楽しみにしています。
もっと大樹高校も小さい学校ならではの何かを見つけるべき。何一つ魅力を感じられない。先生方もとりあえずここへ就職し、もっとその子のやりたいことなど親身になって欲しいし考えて欲しい。自分たちが通っていた頃はそういう学校でした。とにかく何もかも残念になっていて、大樹に戻ってきたことを後悔する。
私は、長年北海道を離れ数年前に大樹町へと戻りました。今現在まだどのような活動をしているのかつかめていません。大樹町に住んでいる人がまちづくりを支える土台になるとは思いますが、町外の人がイベントで大樹町に足を運べるといいと感じています。やりたいことをやれる時代の今、自分のやっていることを発信できる場、作っているものを体験できる場があったら良いなと思います。
料理教室を再開してください。
この街に図書館がないということが全てを物語っている(仮のものはあるが)。文化をおろそかにして役場を新築するとはもってのほか。まずは整った図書館を建てる方が町民の質を上げることに繋がると思う。他がおろそかなのに、役場だ、宇宙だと騒いでいるのは滑稽にさえ見える。
高校は他校からの招致じゃなく、大樹町民が行きたいと思うような魅力的な高校にして欲しい。交通費補助はあるのは他校からは魅力的だが、大樹町民からは何も魅力を感じないために町外の高校に進学してしまう。給食も頼んでる人も少ないため、給食は魅力のうちに入らない。

### 【産業・観光・雇用分野】

自由意見
一次産業(農業、漁業、林業)に付加価値をつけ、ふるさと納税等で宣伝、町外へ販売していく。
業務の休憩中に手軽に行ける飲食店が少ないと考えます。人口が多くないため来づらいのは承知の上ですが、一軒でも増えてくれたらよいと考えます。
コストコを建てる。
観光。ロケットだけでは観光業に繋がらない。道の駅がひどすぎる、配置変えしても人は寄り付かない。もっと大樹町ならではの土産、大樹町の宇宙食をつくる。

## 自由意見

農林水産を観光に活用、例 1. 水産－アメマス(北海道しかない)が釣れる川や湖を有料の管理釣り場にする。例 2. 林業－カラマツを管理して、ラクヨウキノコやハナビラタケ等のキノコ取りツアーを組む。例 3. 農業－狩猟でビジネス。初期投資が少ない自然をいかしてビジネスにする。

晩成温泉、キャンプ場、道の駅、チーズサーモン井…どれをとっても中途半端な気がします。大樹町にお金を落としてくれる工夫を。道の駅は高規格道路の出口近くにつくるべきです。名産品や特産品はお取り寄せできるようにする(全国で)。

晩成温泉の一年以上壊れているシャワー、そういうものを直していくことから始めてはいかがでしょうか？町民のために、目に見える成果が欲しいです。田舎だからその良さを。小さな気遣いのある小さな温かい町であって欲しい。

1. 企業誘致。場所は廃校のグラウンド(中島、尾田、歴舟)、住宅は旧教員住宅。2. 空き店舗の有効活用。季節ごとの野菜・魚の販売(集客は道の駅が多いのだが)。3. 廃校のキャンプ体験

南十勝の市町村と手を取り合って、農林水産業を発展させ、大樹町のまちづくりと交流を深め、意見交換を交わし進め、他の市町村の方々にも宇宙港の見学が容易に来られるようにする。広尾町のクリスマスカード等色々なイベントに皆が参加できるように(他の市町村と)。大樹の漁船の大漁旗にロケットのイラストを描き盛り上げる。ロケットの「コイノボリ」を作り揚げる。

町外の方がたくさん来るような観光や楽しめる場をつくるのが必要だと思う。町内で町民だけでは限度があるのかなと思います。

南十勝の中でも、スーパーやドラッグストアなどがあって買い物の拠点になっているようです。忠類、更別の方々は大樹まで買い物に来るそうです。茅室町のように町外の方も買えるプレミアム付き商品券も良いのではないかと？

大樹町に引っ越しして2か月ほどですが、スーパー、飲食店、ホームセンターもあり、コンビニ、郵便局もあって生活するのに苦ではありませんが衣料品店が少ないように思ったので、衣料品店を増やして欲しいと思います。車で帯広まで行けば何でも揃いますが、ふらっと行ける距離ではないので、近くにあればなと思います。

道の駅の有効活用ができないかと思っています。ロケット事業が進み、人の流れが良くなり、観光客を期待する中でせつかく道の駅に立ち寄ってくださったお客様に少しでもお金を落としていてもらえるために、何かできることがないでしょうか。休憩、トイレ提供だけでなく、ロケットの町＝大樹町をアピールしたお土産品やお菓子の開発とか、軽食がとれるカフェのようなものを併設するとか、人の行動に飲食はつきものだと思います。大樹町ならではの名物的なものを開発してみたら、プラスαになるのでは？と思います。大樹で作られる野菜、肉、乳製品など地産地消できると生産者にもプラスαが望めますが。特別なアイデアは持ち合わせていなくて申し訳ないのですが、よろしく願いいたします。

## 自由意見

道の駅や公園の整備や活性が必要（更別や忠類、中札内は充実しているので他の地域から遊びに来ている）。牛乳やチーズ、バターの消費が進むように、町のお店が活性化することが望まれる。チーズサーモン丼のほかにもつくって欲しい。おいしいものがある所に人は集まると思う。

国道沿いの商店の充実。目立った行きたい場所がないので、休日は帯広に行く。

介護する人、保育士等の給料を上げて（利用者から少し多めにとってでも）大樹町を仕事場に選んでもらえるような町にして欲しい。働く人の負担を減らして働きやすくしてあげて欲しい。

酪農業や畑作もすばらしいので町としてもっと力を入れていいと思う（イベントとかPR）。

「道の駅」が魅力的な町は、それだけ印象が良いです。フードカーなど駐車場で何かやっているのは賑わいを感じて寄りたくなります。今は「道の駅」が目立たないのと中が暗く感じます。レイアウトも少しずつ変わっていますが、店員さんの表情が明るくなかった印象です。毎月一つずつ「今月のウリ!!」として、スポットライトを当てるように宣伝してみたりして何が一番大樹町の「ウリ」になるか改めて調べてみるのはいかがでしょうかと思いました。

道の駅をもっと宣伝して人が気軽に集まりやすい憩いの場になればと思います。

道の駅は、集客するためにいつ行っても明るく活気のある内装やスタッフさんにして欲しい。  
道の駅に魅力がなさすぎるので、食べ物の自販機（うどん、フレンチドッグ、いも団子、フライチキン、ポテト、豚丼など）を置いて観光スポット化してみてもどうか。

宇宙のことで大樹町に興味を持ってきている人が増えているので、元々ある自然が観光スポットとなるような場所づくりなど、行きたいと思える魅力づくりをして発信した方が良いのではないのでしょうか。星空がきれいに見える田舎を売りにし、リーズナブルな価格で利用できるキャンプ場やグランピング施設（自然を売りにするため、熊に襲われない、事故につながらない程度の施設整備）をつくってアウトドア派の方々にアピールするなどの集客やフード自販機や冷凍自販機などドライブに来た人などが時間に関係なく買える場所をつくるのか。

セブン自販機というものもあるみたいなので活用できないですか？コスピーちゃんのSNSアカウントを使って町内の飲食店や商店、大樹町の豊かな自然、観光スポットなどをコスピーちゃんのぬいぐるみをもって巡り、写真とコメントでアピールするのはいかがでしょうか!!せっかくかわいいキャラクターなのでもっと活用してたくさんの人に知ってもらい、いずれはたくさんのグッズ作りをし収益にする。ステッカーやシールなど手頃な物でも記念になると購入する人がいると思います。

道の駅が他の町村に比べて魅力が足りない気がします。スタンプラリーなどでせっかく来てくれている方々にもっと楽しんでもらえる工夫をして、さらに人を呼びたい（リピーターやロコミで広まるなど）。例えばコスピーちゃんやカムイリオンの顔はめボードを置いて、写真映えするスポットがあると宣伝になりやすいと思います。大樹町を訪れた人に大樹町をより楽しんでもらうための観光マップを作成して置いたり、回るルート、順番を季節によって変えたり、特産品を使った大樹町でしか味わえないものが売っている場所の紹介を載せてみたりしてはどうでしょう。

企業誘致

自由意見
道の駅にインパクトが欲しいです。
立ち寄りたくなるような外観、内観の道の駅になると魅力的な町になると思います。 日曜定休日の飲食店が多い感じがします。土日の営業が増えることで、町内外の家族や観光客が増えるのではと思います。
道の駅をもっと活用できたらよいと思う。
まずは早急に「道の駅」の全面リニューアルをお願いします。今の道の駅では、大樹町民として恥ずかし過ぎます。
働く場の拡大 雇用者が安心して暮らせる街づくり
先端の街として、色々なベンチャー企業誘致を積極的に進め、街の活発化を推進してほしい。
チェーン店はいらない。大樹町らしさあふれるオリジナルな飲食店を発展させて欲しいです。
ホテルの増設。「ホテルがいつも埋まっていて大樹町まで遊びに行けない」と知人が言っていた。
宇宙関係の企業誘致に向けた基盤整備の一層の推進。

### 【コミュニティ・行財政分野】

自由意見
町財政の節約に努め、万一のため積立金（自主財源）を確実に増やす。
空ばかり見ていると足元をすくわれますよ。地上もしっかり見て、行政を行ってください。
町民向けの情報発信、町外、全国に向けての情報発信。今回のアンケートのように、意見できる機会が常にもっと気軽にあるといいと思います。
現在の施設整備状況は思い付きのよう見えます。整備計画を立て計画的に（年次を明確にして）進めるべきだと思います。
現在の大樹町の職業構成、人口数、人口構成に合った、思い切った役場の組織変更、予算編成の実施。
広報たいきは必要な家庭だけ配布した方がよい（今はネットで見れる。区長の負担軽減）。

## 自由意見

総合計画の作成に当たり、まちづくり目標（戦略）を表現する文章は、高級な文章の羅列ではなく、一般町民が読んで理解できる、読んでみたくなる、簡単明瞭な文章で表現すること。その目標（戦略）は、やる気になれば計画期間内に実行可能なものを計画する。計画書が出来上がった後は、設定した目標や施策の進捗状況を確認するため、策定委員の中から一定数を選定して、総合計画推進委員会を設置し、毎年度2回（できれば4回）委員会を開催する。当面の「まちづくり」に希望することは、2025年問題と言われる、団塊の世代が後期高齢者になる時代に向けて、高齢者が「安心して」暮らしていける大樹のまちづくりの形を示してもらいたい。高齢者社会は間違えなく来るのだから。町長並びに議員（施政者）と、高齢町民（社会経験者）との会話の場を、できるだけ多く持ってもらいたい。高齢者の実体験のぐち話も、まちづくりを進める参考に。

大樹町のまちづくりとうたっているが、実際のところ実現できるものが、どれほどのものですか？とにかく町政には不満ばかり、口を開けばロケット、ロケット…ロケットがなんぼの物ですか。先にやることあるだろうに、実になるものもないも、まったくどこを向いているのか、私にはさっぱり理解できない。老後がとにかく心配なので、職場の退職を期に町を出る予定です。

いかにまちづくりに関心のない人たちを、どのようにしたら関心を持ち意思表示するようにできるかだと思う。SDGsについて、町民に周知したらよいと思います。まちづくりになると思いました。町民の意識の高まりが必要かと思います。

コロナで人と人の繋がりが希薄になりがちな生活でしたが、町民が気軽に意見を伝え合う場所が必要ではないかと思います。行政区会館で定期的に町民と議員さんや役場の方が出向いて、意見を聞く時間があると思いが伝えやすいと思う。生活物資が値上がり一方で、最低限の生活の不安を持つ町民も多い、今後も水道料金の町負担等の対策を継続してほしい。デジタル化の推進について、何かに協力でき、得意なことがある人材をうまく、また必要とする人に場所を提供できるネットワークがあればと思う。町民同士が助け合う形に、介護、農作業、加工、保育、送迎などをして欲しい時に助け合う人材派遣のようなことが進めばと思う。

他の市町村のように水道代の免除や減額。

困りごとが（重いものを運んでほしい、庭の片付けの手伝い等）あるときに、道の駅や役場に行って相談すると何か解決策を教えてくれると良いと思う。高齢者が多いのだから文面や放送ではなく対面で教えてくれる窓口をつくって欲しい（電話や役場に出向くのではなく）。

役場の若い人の意見をもっと聞いて活性化してほしい。明るいまちづくりをして町全体が元気になって欲しい！宇宙ばかりに目がいって町民のためになっていないのでは？宇宙開発は良いことかもしれないが、町民が置き去りにされているのではないかと思う。他の町が楽しそうに見える。税金も他に比べて高いと聞いている。公営住宅やマンションなどの住宅費が高いと思う。

町内の広報活動にもっと力を入れて欲しいです。いろいろな情報をもっと手軽に手に入れることができる、高齢者にも対応した広報活動をして欲しい。

町のSNSをもっと活用した方が良いと思います。SNSを使い町外の人が大樹町に遊びに来たいと思えるような魅力のアピールをして町の収益を上げる対策になるのではと思います。

自由意見
意見交換ができる機会を設けて町全体が参加しやすい場が増えると良いなと思います。
財政も厳しい中ではあるが、大樹町民の生活を守るためにも優先順位をしっかりと見極めて進めていただきたい。
老朽化した施設を減らし、維持管理経費の削減。
町の将来について議論し、取組を進めるためのプロジェクトチームの立ち上げ。宇宙関連で注目を集めているが、5年後、10年後の街づくりのビジョンが見えない。このままでは若年人口の減少が進み、高齢者のためのコンパクトな町づくりしかできないのではないかと。
SDGsに積極的な取組姿勢を見せてもらい、未来ある大樹町のために持続可能な町づくりをしてもらいたい。
総合計画の策定には、青年層や子育て世代の検討グループをつくる等、若い世代の意見を積極的に取り入れてもらいたいです。
財源が厳しい中、さまざまな工夫と努力で町政を進めておられる職員の皆様に感謝いたします。特に若い職員さんには恐れずアイデアを発信し、町の為に活躍して頂きたいです。そのため町長さんや副町長さんをはじめ、管理職の方にはそのような「環境作り」と「人作り」を希望します。 町民は必要だと思えば、自ら動きますし、町が困っているとわかれば、なんとか協力しようと思います。町の情勢を自分事として感じられるような機会、職員さんとの協働の場や意見交換できる場、住民活動を促す事ができるものなどがもてるといいです。 様々なツール(自販機やCF)を活用して寄付を募ることに賛成ですが、そのほとんどが宇宙やロケットに向いてしまっているのがとても残念です。福祉や子育て中の方への活用もご検討ください。
より多くの税を納めている個人や法人に対してバックすべき。 他の行政では一定期間水道代の無料化を行なっているが大樹町は町民に対する還元がないと感じる。
町とコスピーちゃんのSNSアカウントを作成し町のPRやちょっとしたお知らせなど発信してはいかがでしょうか?ホームページだと自らアクセスしなくてはいけないのに対してSNSだと自然と目に触れる場合もあるのでより効果的に発信できると思います。 昨年EXITが来た時に他の町に比べて発信力が弱いなど感じてしまいました。 せっかくコスピーという可愛いキャラクターがいるのもう少し利用した方がいいと思います。

### 【宇宙分野】

自由意見
ロケット産業を活用して町にお金(補助金等)と人が入るように対応する。

自由意見
都心から直で大樹町に来れたらいいなと思います。宇宙産業と言ったら大樹町と言われるようになりたい。
インターステラに期待しています。
宇宙ビジネスを成功させたいならまず地球を守ることができたうえで取り組むべきでは。
ロケットで一花咲かせたいのは分かるが、町民に最終的に還元されるのか？上だけで盛り上がり、また偏った利益にならないといいが。
北海道唯一のロケット産業、素晴らしいと思います。そのおかげで他の町村より活性化していると思うのでもっと力を入れていいと思う(イベントやPR等)。
宇宙関連で大樹町の認知度が高まっているのはうれしい。ただ「宇宙のまち」と呼ばれるのは好きではない、宇宙以外の仕事をしている人が圧倒的に多い状況で、若い世代のモチベーションを高める必要がある。また変わりゆく町を大樹をつくった先人、先輩方はどう感じているのか。開拓を知る人が少なくなってきたのでそうした先輩方の声を残してもらいたい。
宇宙版シリコンバレーの実現に向けて、町民の理解と参画を進める。
ロケット事業は世界的にも注目されている事業だと思うので、今後もより活性化することを望む。

### 【その他分野】

自由意見
何をしたいのかを考え、必要ないことはしないと無駄がなくなるのでは。
大樹町のシンボルの柏・コスモス・ヒバリの名称は相当以前のもので現在の大樹町にふさわしいのかどうかイメージがわかりません。宇宙を目指している町として何か一つに絞って、町全体に応募させて決めたらどうか(令和6年のスタートまでに)。
コスパをもっと使う旅をさせる。町内を走るバスをコスパやロケットのデザインにする。
交流しやすい環境づくり

